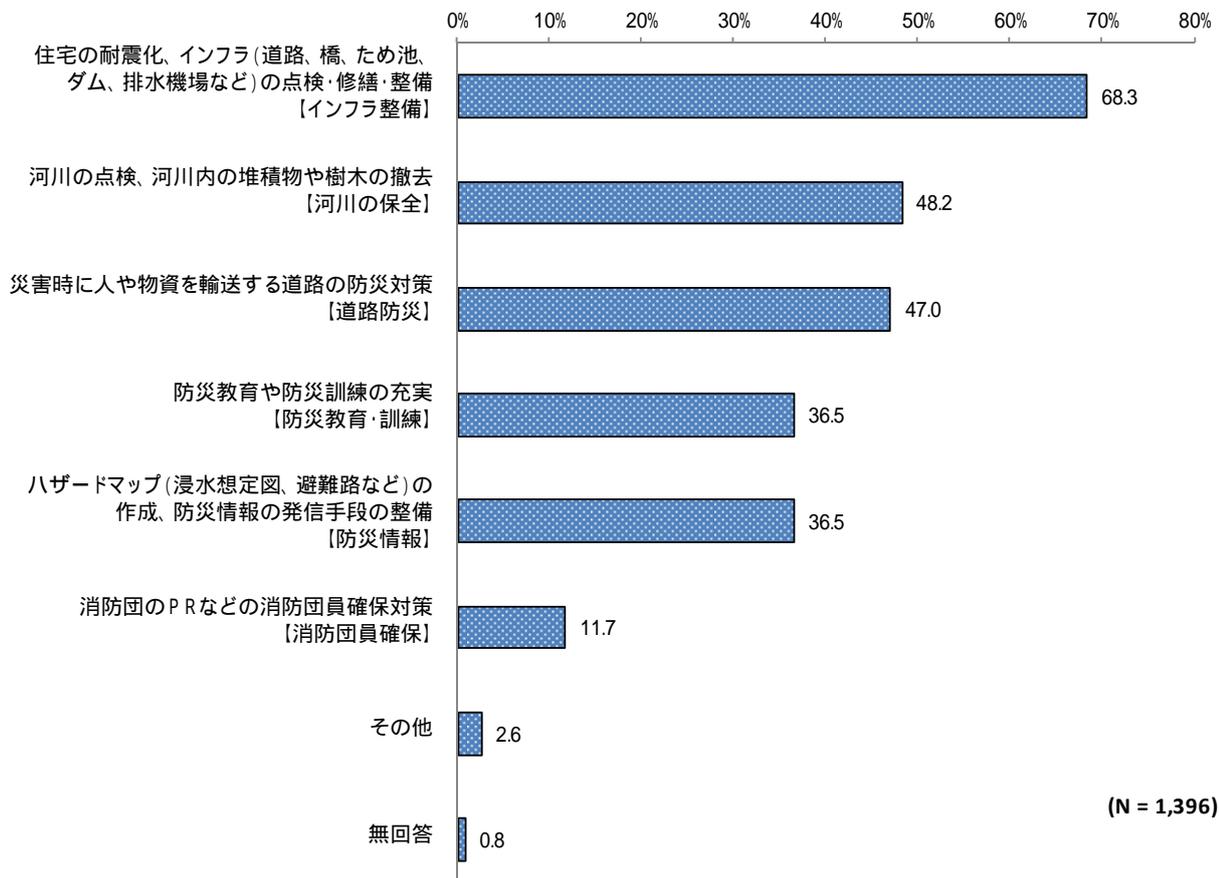


10. 災害対策として必要だと思うこと

問 10 地震や台風などの災害へ備えた安全な県土であるためにあなたが必要だと思うものを教えてください。
(〇は3つまで)



全体では、「インフラ整備」が 68.3%と 7 割弱を占めて最も高く、次いで「河川の保全」が 48.2%、「道路防災」が 47.0%となっている。

【エリア別】

エリア	回答件数(件)	インフラ整備	河川の保全	道路防災	防災教育・訓練	防災情報	消防団員確保	その他	無回答
全体	1,396	68.3%	48.2%	47.0%	36.5%	36.5%	11.7%	2.6%	0.8%
佐賀・小城地区	494	69.4%	53.0%	45.7%	37.2%	33.2%	12.8%	2.2%	0.8%
東・西松浦地区	324	68.5%	42.3%	55.2%	33.6%	35.8%	10.5%	2.2%	1.5%
三養基・神埼地区	297	69.4%	55.2%	41.1%	34.7%	37.7%	9.8%	2.7%	0.0%
杵島・藤津地区	251	64.9%	37.8%	45.4%	41.0%	42.2%	14.3%	4.0%	0.4%

エリア別にみると、すべてのエリアで「インフラ整備」が最も高く、いずれも 6 割半ば～約 7 割を占めている。次いで高い項目は、＜佐賀・小城地区＞＜三養基・神埼地区＞で「河川の保全」、＜東・西松浦地区＞＜杵島・藤津地区＞で「防災道路」となっている。

【性別】

性別	回答件数 (件)	インフラ整備	河川の保全	道路防災	防災教育・訓練	防災情報	消防団員確保	その他	無回答
全体	1,396	68.3%	48.2%	47.0%	36.5%	36.5%	11.7%	2.6%	0.8%
男性	665	67.8%	49.0%	45.4%	36.1%	35.6%	14.4%	3.2%	0.5%
女性	707	69.0%	47.2%	48.5%	36.6%	37.6%	9.2%	2.1%	0.8%

性別にみると、＜男性＞＜女性＞ともに「インフラ整備」が7割弱を占めて最も高く、男女間で大きな差はみられない。

【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	インフラ整備	河川の保全	道路防災	防災教育・訓練	防災情報	消防団員確保	その他	無回答
全体	1,396	68.3%	48.2%	47.0%	36.5%	36.5%	11.7%	2.6%	0.8%
18・19歳	17	70.6%	35.3%	52.9%	11.8%	58.8%	5.9%	0.0%	0.0%
20～29歳	45	80.0%	28.9%	53.3%	42.2%	51.1%	13.3%	4.4%	0.0%
30～39歳	116	69.8%	42.2%	50.9%	39.7%	42.2%	8.6%	3.4%	0.9%
40～49歳	230	66.5%	44.8%	47.8%	32.6%	36.1%	10.4%	2.2%	0.4%
50～59歳	321	70.1%	47.4%	45.8%	32.7%	34.0%	9.0%	4.4%	0.3%
60～69歳	399	67.2%	52.6%	45.6%	38.6%	38.8%	13.0%	1.8%	0.8%
70歳以上	243	67.5%	51.9%	46.5%	40.7%	29.6%	16.0%	1.6%	1.6%

年齢別にみると、すべての年齢層で「インフラ整備」が6割を超えて最も高く、特に＜20～29歳＞では8割を占めている。次いで高い項目は、＜18・19歳＞で「防災情報」、＜20～29歳＞から＜40～49歳＞では「防災道路」、＜50～59歳＞以上の年齢層では「河川の保全」となっている。

【家族構成別】

家族構成	回答件数 (件)	インフラ整備	河川の保全	道路防災	防災教育・訓練	防災情報	消防団員確保	その他	無回答
全体	1,396	68.3%	48.2%	47.0%	36.5%	36.5%	11.7%	2.6%	0.8%
1人世帯	94	67.0%	42.6%	44.7%	33.0%	38.3%	19.1%	3.2%	3.2%
夫婦だけ	308	71.1%	53.6%	47.7%	37.7%	33.1%	11.4%	3.6%	0.3%
2世代	634	68.6%	46.2%	45.9%	37.9%	38.3%	9.0%	2.5%	0.6%
3世代	260	65.0%	46.5%	48.1%	35.0%	37.7%	16.9%	1.2%	0.0%
その他	70	68.6%	55.7%	51.4%	32.9%	28.6%	10.0%	2.9%	2.9%

家族構成別にみると、すべての区分で「インフラ整備」が6割を超えて最も高く、特に＜夫婦だけ＞では7割強を占めている。

【県外居住年数別】

県外居住年数	回答件数 (件)	インフラ整備	河川の保全	道路防災	防災教育・訓練	防災情報	消防団員確保	その他	無回答
全体	1,396	68.3%	48.2%	47.0%	36.5%	36.5%	11.7%	2.6%	0.8%
ずっと佐賀県に住んでいる(0年)	553	65.3%	45.0%	46.3%	38.0%	37.3%	11.6%	2.2%	0.5%
2年未満	94	66.0%	39.4%	51.1%	41.5%	38.3%	20.2%	4.3%	1.1%
2～5年未満	202	70.3%	49.5%	44.6%	42.1%	32.2%	9.9%	1.5%	1.0%
5～10年未満	152	67.8%	48.7%	49.3%	30.3%	38.2%	9.9%	3.9%	1.3%
10年以上	347	73.8%	54.8%	47.8%	31.4%	36.3%	10.7%	2.6%	0.6%

県外居住年数別にみると、すべての区分で「インフラ整備」が6割を超えて最も高く、特に＜10年以上＞では7割半ばを占めている。このほか、＜10年以上＞では「河川の保全」も5割半ばと他に比べて高くなっている。

【現在の満足度（問9①）との関連】

現在の満足度	回答件数 (件)	インフラ整備	河川の保全	道路防災	防災教育・訓練	防災情報	消防団員確保	その他	無回答
全体	1,396	68.3%	48.2%	47.0%	36.5%	36.5%	11.7%	2.6%	0.8%
満足派	342	64.6%	51.5%	45.9%	37.4%	33.6%	16.4%	1.2%	0.3%
どちらともいえない	708	69.6%	46.8%	46.5%	36.4%	36.2%	10.7%	2.5%	0.1%
不満派	330	71.2%	49.1%	50.9%	35.8%	41.5%	9.4%	4.2%	0.3%

現在の満足度との関連をみると、＜満足派＞＜不満派＞ともに「インフラ整備」が最も高く、その割合は＜不満派＞の方が6.6ポイント高い。また、＜不満派＞では「道路防災」、「防災情報」の割合も＜満足派＞に比べてそれぞれ5～8ポイント高くなっている。一方、＜満足派＞では「消防団員確保」の割合が＜不満派＞に比べて7.0ポイント高くなっている。なお、＜どちらともいえない＞においても「インフラ整備」が最も高くなっている。

属性別に分析すると、＜佐賀・小城地区＞＜杵島・藤津地区＞は満足度が比較的高く、＜東・西松浦地区＞＜三養基・神埼地区＞は満足度が比較的低いが、必要だと思う取組みはいずれの地区も「インフラ整備」が最も高く、6割半ば～約7割となっている。また、家族構成別では、＜夫婦だけ＞＜3世代＞では不満派が比較的多いが、必要だと思う取組みは、いずれの区分でも「インフラ整備」、「河川の保全」、「道路防災」が4割半ば～7割強と高い。

【選択肢『その他』に記載された取組み】

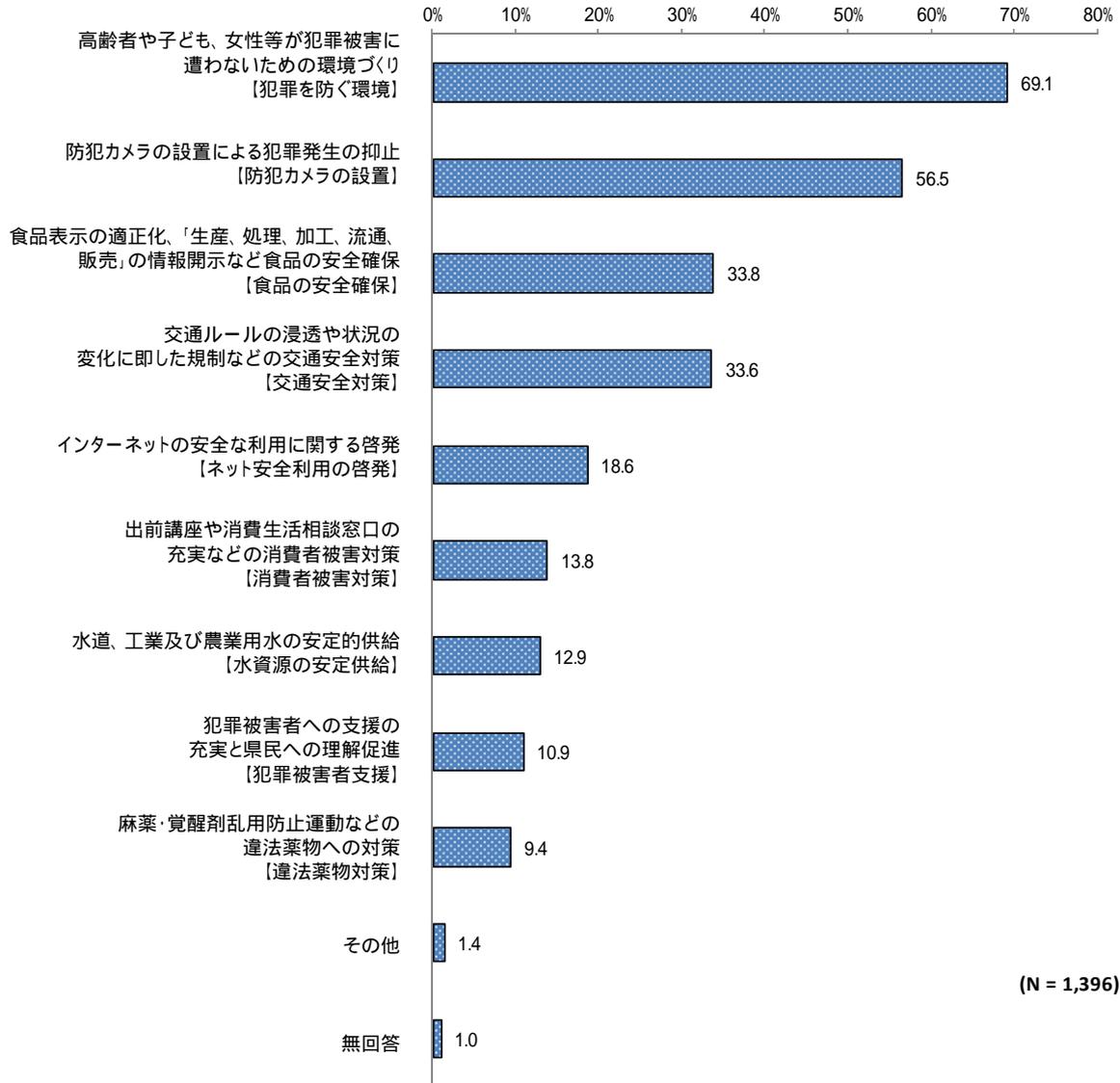
- ・災害時の避難先の衛生面などの安全性（男性、30～39歳、佐賀・小城地区）
- ・災害直後の迅速な対応の統一化とその周知徹底のための活動（女性、30～39歳、杵島・藤津地区）
- ・常備消防の充実（人員、機材不足と聞く）（女性、40～49歳、佐賀・小城地区）
- ・保全に力を入れる（男性、40～49歳、東・西松浦地区）
- ・原子力災害への対応（男性、40～49歳、東・西松浦地区）
- ・空き屋対策（男性、50～59歳、佐賀・小城地区）
- ・市、町、他県との医療連携（男性、50～59歳、佐賀・小城地区）
- ・直下型地震の発生を想定したシミュレーション、佐賀北部に想定されている断層の調査・啓蒙（男性、50～59歳、佐賀・小城地区）
- ・避難所、避難場所の整備、周知（男性、50～59歳、佐賀・小城地区、他3件）
- ・豪雨災害による宅地の浸水対策の徹底を！（男性、50～59歳、佐賀・小城地区、他2件）
- ・原子力発電の廃絶（女性、50～59歳、三養基・神埼地区）
- ・過去の被災地の事例を、地元の人々の生の声を生かす（女性、50～59歳、杵島・藤津地区）
- ・ボランティアの活用・人手の確保で早急な復旧が大事（男性、60～69歳、三養基・神埼地区）
- ・防災の施設の拡充や啓蒙（女性、60～69歳、三養基・神埼地区）
- ・1人1人の安全性（女性、60～69歳、三養基・神埼地区）
- ・浸水想定図ではなく浸水を無くす整備が必要（男性、60～69歳、杵島・藤津地区）
- ・消防職員の増員（男性、60～69歳、杵島・藤津地区）
- ・防災無線は役に立たない、正しい情報伝達（男性、70歳以上、東・西松浦地区）
- ・土砂崩れになりそうな所の点検・修繕・整備（女性、70歳以上、三養基・神埼地区、他2件）

【寄せられた自由意見】

・消防団活動をなくしてほしい。ボランティアとしては、訓練など活動内容がたいへんである。（男性、40～49歳、東・西松浦地区）
・急傾斜地の整備。山は管理されていないと竹林になり、笹の葉や折れた竹が落ちてきて危険なことがあるので迷惑しています。山の所有者が複数人いて誰に言えばいいのかわかりません。土砂崩れや竹に刺さる前に対処してほしいです。（男性、40～49歳、杵島・藤津地区）
・最近では災害が多く、もしも水害などの災害が身近に押し寄せてきた時に、避難情報や避難場所などに不安があります。（女性、50～59歳、東・西松浦地区）
・幹線道路を片側二車線で整備してほしい。災害時の避難や物資輸送にとっても重要であり、佐賀県内の移動が車で快適になるようにしてほしい。西九州自動車道も早く仕上げて、全線開通するようにしてほしい。（男性、60～69歳、東・西松浦地区）
・日々を楽しく暮らしていますが、大雨の時は私の住んでいる地域が浸水することがあり、その対策に力を入れていただきたいと思います。（女性、70歳以上、佐賀・小城地区）

11. 安心して生活するために必要だと思うこと

問 11 防犯、食品の安全、消費者の保護など安心して生活するためにあなたが必要だと思うものを教えてください。
(〇は3つまで)



全体では、「犯罪を防ぐ環境」が 69.1%と最も高く、次いで「防犯カメラの設置」が 56.5%、「食品の安全確保」が 33.8%となっている。

【エリア別】

エリア	回答件数 (件)	犯罪を防ぐ環境	防犯カメラの設置	食品の安全確保	交通安全対策	ネット安全利用の啓発	消費者被害対策	水資源の安定供給	犯罪被害者支援	違法薬物対策	その他	無回答
全体	1,396	69.1%	56.5%	33.8%	33.6%	18.6%	13.8%	12.9%	10.9%	9.4%	1.4%	1.0%
佐賀・小城地区	494	69.0%	56.7%	35.2%	37.9%	17.2%	14.0%	12.1%	9.7%	8.3%	1.8%	1.2%
東・西松浦地区	324	70.4%	52.8%	35.5%	33.3%	17.6%	13.6%	9.9%	13.6%	10.5%	1.2%	1.5%
三養基・神埼地区	297	71.0%	58.6%	37.7%	28.6%	17.8%	12.5%	16.2%	8.1%	10.8%	1.0%	0.3%
杵島・藤津地区	251	66.1%	58.2%	24.3%	29.9%	23.5%	15.5%	14.7%	12.4%	9.6%	1.6%	0.4%

エリア別にみると、すべてのエリアで「犯罪を防ぐ環境」が最も高く、いずれも 6 割半ば～7 割を占めている。また、すべてのエリアで「防犯カメラの設置」が 2 番目に高く、5 割強～6 割弱を占めている。

【性別】

性別	回答件数 (件)	犯罪を防ぐ 環境	防犯カメラ の設置	食品の安全 確保	交通安全 対策	ネット安全 利用の啓発	消費者被害 対策	水資源の 安定供給	犯罪被害者 支援	違法薬物 対策	その他	無回答
全 体	1,396	69.1%	56.5%	33.8%	33.6%	18.6%	13.8%	12.9%	10.9%	9.4%	1.4%	1.0%
男性	665	68.1%	59.8%	30.8%	36.2%	16.1%	14.4%	11.7%	10.8%	9.9%	1.7%	0.9%
女性	707	70.3%	52.9%	36.8%	31.0%	21.2%	13.2%	14.3%	10.9%	9.2%	1.3%	0.8%

性別にみると、<男性> <女性>ともに「犯罪を防ぐ環境」が最も高く、いずれも 7 割前後を占めている。また、<男性> <女性>ともに「防犯カメラの設置」が 2 番目に高くなっている。

【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	犯罪を防ぐ 環境	防犯カメラ の設置	食品の安全 確保	交通安全 対策	ネット安全 利用の啓発	消費者被害 対策	水資源の 安定供給	犯罪被害者 支援	違法薬物 対策	その他	無回答
全 体	1,396	69.1%	56.5%	33.8%	33.6%	18.6%	13.8%	12.9%	10.9%	9.4%	1.4%	1.0%
18・19歳	17	76.5%	17.6%	23.5%	41.2%	29.4%	17.6%	5.9%	11.8%	11.8%	0.0%	0.0%
20～29歳	45	60.0%	51.1%	31.1%	44.4%	20.0%	8.9%	20.0%	24.4%	11.1%	0.0%	0.0%
30～39歳	116	71.6%	56.0%	28.4%	40.5%	16.4%	12.9%	19.0%	12.9%	7.8%	1.7%	0.9%
40～49歳	230	66.1%	53.0%	28.3%	38.3%	22.6%	11.3%	16.5%	9.1%	9.6%	1.7%	0.0%
50～59歳	321	65.1%	56.7%	31.5%	27.1%	20.9%	14.3%	11.8%	10.6%	10.9%	2.8%	0.9%
60～69歳	399	70.7%	56.4%	39.3%	35.6%	17.8%	13.8%	11.3%	10.3%	7.8%	1.0%	1.0%
70歳以上	243	75.7%	62.1%	36.6%	28.4%	13.6%	16.5%	10.3%	9.9%	11.1%	0.4%	2.1%

年齢別にみると、すべての年齢層において「犯罪を防ぐ環境」が最も高く、いずれも 6 割～7 割半ばとなっている。次いで、<18・19 歳>では「交通安全対策」が 4 割強で続き、それ以外の年齢層では「防犯カメラの設置」が 5 割強～6 割強で続いている。

【家族構成別】

家族構成	回答件数 (件)	犯罪を防ぐ 環境	防犯カメラ の設置	食品の安全 確保	交通安全 対策	ネット安全 利用の啓発	消費者被害 対策	水資源の 安定供給	犯罪被害者 支援	違法薬物 対策	その他	無回答
全 体	1,396	69.1%	56.5%	33.8%	33.6%	18.6%	13.8%	12.9%	10.9%	9.4%	1.4%	1.0%
1人世帯	94	71.3%	52.1%	34.0%	35.1%	10.6%	10.6%	16.0%	8.5%	6.4%	0.0%	4.3%
夫婦だけ	308	73.1%	62.3%	41.2%	34.1%	13.0%	13.0%	11.4%	9.1%	10.1%	1.0%	0.3%
2世代	634	67.2%	54.6%	33.3%	33.9%	21.5%	13.9%	12.3%	11.5%	9.1%	1.7%	0.6%
3世代	260	68.5%	53.8%	25.8%	32.3%	23.8%	15.4%	15.8%	13.1%	10.8%	1.5%	0.4%
その他	70	68.6%	64.3%	37.1%	27.1%	12.9%	15.7%	11.4%	7.1%	8.6%	2.9%	4.3%

家族構成別にみると、すべての区分で「犯罪を防ぐ環境」が最も高く、いずれも 7 割弱～7 割半ばとなっている。また、すべての区分において「防犯カメラの設置」が 2 番目に高い。このほか、<2 世代> <3 世代>では「ネット安全利用の啓発」が 2 割を超え、他の区分に比べて高い傾向がみられる。

【県外居住年数別】

県外居住年数	回答件数 (件)	犯罪を防ぐ 環境	防犯カメラ の設置	食品の安全 確保	交通安全 対策	ネット安全 利用の啓発	消費者被害 対策	水資源の 安定供給	犯罪被害者 支援	違法薬物 対策	その他	無回答
全 体	1,396	69.1%	56.5%	33.8%	33.6%	18.6%	13.8%	12.9%	10.9%	9.4%	1.4%	1.0%
ずっと佐賀県に住んでいる(0年)	553	66.5%	54.8%	33.5%	34.0%	19.7%	15.6%	12.3%	9.4%	9.8%	0.9%	0.5%
2年未満	94	70.2%	53.2%	30.9%	39.4%	21.3%	9.6%	10.6%	11.7%	9.6%	4.3%	1.1%
2～5年未満	202	71.8%	62.4%	27.2%	30.7%	20.3%	6.9%	13.9%	14.4%	7.4%	0.5%	1.5%
5～10年未満	152	71.7%	57.9%	31.6%	34.9%	15.8%	15.1%	17.1%	9.2%	9.2%	2.6%	2.0%
10年以上	347	70.0%	55.6%	39.8%	32.6%	16.4%	14.4%	13.0%	11.8%	10.4%	1.7%	0.6%

県外居住年数別にみると、すべての区分で「犯罪を防ぐ環境」が最も高く、いずれも 6 割半ば～7 割強となっている。また、すべての区分において「防犯カメラの設置」が 2 番目に高い。

【現在の満足度（問9②）との関連】

現在の満足度	回答件数 (件)	犯罪を防ぐ 環境	防犯カメラ の設置	食品の安全 確保	交通安全 対策	ネット安全 利用の啓発	消費者被害 対策	水資源の 安定供給	犯罪被害者 支援	違法薬物 対策	その他	無回答
全 体	1,396	69.1%	56.5%	33.8%	33.6%	18.6%	13.8%	12.9%	10.9%	9.4%	1.4%	1.0%
満足派	623	70.6%	56.2%	35.8%	34.0%	20.4%	13.8%	12.5%	12.4%	9.5%	1.3%	0.2%
どちらともいえない	545	68.3%	58.0%	31.2%	35.8%	17.4%	13.4%	11.9%	9.4%	9.2%	1.7%	0.6%
不満派	212	68.9%	56.6%	36.3%	28.8%	17.5%	15.6%	17.0%	10.8%	9.9%	1.4%	0.9%

現在の満足度との関連をみると、<満足派> <不満派>ともに「犯罪を防ぐ環境」が7割前後で最も高くなっている。また、<満足派>では「交通安全対策」の割合が<不満派>に比べて5.2ポイント高く、一方、<不満派>では「水資源の安定供給」の割合が<満足派>に比べて4.5ポイント高くなっている。なお、<どちらともいえない>においても「犯罪を防ぐ環境」が最も高い。

属性別に分析すると、満足度が比較的低い<30～39歳>では「犯罪を防ぐ環境」が7割強と最も高く、次いで「防犯カメラの設置」、「交通安全対策」となっている。また、不満派の割合が県平均を上回る<夫婦だけ>の世帯でも、全体の傾向と同様に「犯罪を防ぐ環境」、「防犯カメラの設置」、「食品の安全確保」の割合が高く、その割合はいずれもそれ以外の区分よりもかなり高くなっている。

【選択肢『その他』に記載された取組み】

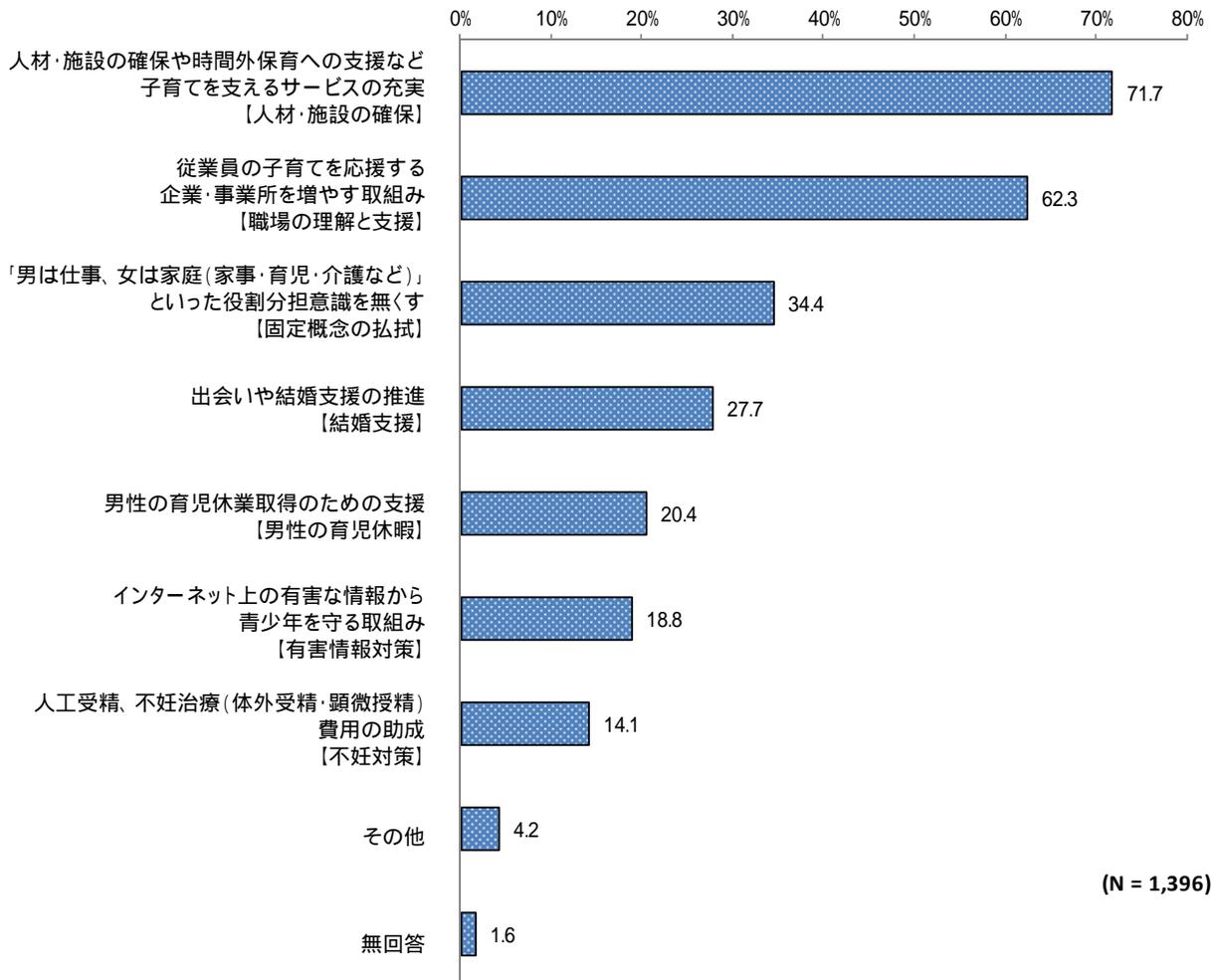
- ・生活自体の安定。貧困と犯罪は表裏一体だと思うので（女性、40～49歳、佐賀・小城地区）
- ・警察のパトロール、自警団をつくる。防犯に力をいれてほしいです（女性、40～49歳、東・西松浦地区、他4件）
- ・水道管の保全（男性、40～49歳、東・西松浦地区）
- ・外灯が少ないと思います。裏道など通学路など、静かですが、暗いのでもう少し外灯があればと感じる事があります（女性、40～49歳、三養基・神埼地区、他3件）
- ・各自治会活動への支援（男性、50～59歳、佐賀・小城地区）
- ・自転車利用者の法令遵守が行き届いていないので、強く対策を望みます（男性、50～59歳、佐賀・小城地区）
- ・教育現場の職員の短期的な異動（1年で終わる事）（女性、50～59歳、三養基・神埼地区）
- ・佐賀県の優れた農産物を私が住んでいる地域でも購入したい（女性、50～59歳、杵島・藤津地区）
- ・不審者情報の住民への情報提供（男性、50～59歳、杵島・藤津地区）
- ・交通弱者（高齢者）への支援（男性、60～69歳、佐賀・小城地区）
- ・本人の意識（女性、60～69歳、佐賀・小城地区）
- ・水道料金が高すぎる（男性、70歳以上、佐賀・小城地区）

【寄せられた自由意見】

・全体的に街灯が少ない。中学生、高校生などが自転車で通学するのに危険！！（男性、20～29歳、佐賀・小城地区）
・空き店舗や空き家が目立つ気がします。駅から徒歩圏内のエリアでさえです。景観もよくないし、夜なんかは人通りもないと怖いです。（女性、20～29歳、佐賀・小城地区）
・空き家を利用した事業の支援を充実して欲しい。（男性、30～39歳、佐賀・小城地区）
・最近運転しているとひやりとすることが多くあります。交通ルールを守らない人が多いと感じています。交通事故ワースト1脱却コンテストは面白い試みだと思いましたが、道路整備による、右折レーン等の色分けなど分かりやすくする対策は取られていると思います。ただ、運転する人の自主性にまかせる部分が多い為か、まだまだ無理な車線変更や、追い越し、携帯電話を使用しながらの運転や、道路への飛び出し等々多く思います。佐賀は車がないと、不便なため利用している人が多く、難しいことだと思いますが、車や自転車を運転する人や歩行者の意識を高める対策を行って欲しいと思います。（女性、30～39歳、佐賀・小城地区）
・児童相談所の体制強化と、専門性、対応能力を向上させ市町を支援してほしい。（女性、40～49歳、佐賀・小城地区）
・県内の交通特性を鑑み、高齢者の自動車事故防止と自転車の法令遵守指導に注力されることを望みます。（男性、50～59歳、佐賀・小城地区）

12. 出産・子育てのために必要だと思うこと

問 12 安心して子どもを産み、子育てができる環境づくりのためにあなたが必要だと思うものを教えてください。
(〇は3つまで)



全体では、「人材・施設の確保」が 71.7%と最も高く、次いで「職場の理解と支援」が 62.3%、「固定概念の払拭」が 34.4%となっている。

【エリア別】

エリア	回答件数 (件)	人材・施設の 確保	職場の理解と 支援	固定概念の 払拭	結婚支援	男性の育児 休暇	有害情報対策	不妊対策	その他	無回答
全体	1,396	71.7%	62.3%	34.4%	27.7%	20.4%	18.8%	14.1%	4.2%	1.6%
佐賀・小城地区	494	70.6%	61.3%	34.2%	26.1%	22.5%	19.6%	14.4%	5.1%	1.6%
東・西松浦地区	324	70.1%	67.6%	31.8%	29.6%	18.2%	19.1%	10.5%	3.1%	3.1%
三養基・神埼地区	297	77.8%	60.6%	38.7%	22.2%	21.2%	17.8%	14.5%	3.4%	0.7%
杵島・藤津地区	251	70.1%	60.2%	33.5%	32.7%	18.7%	17.9%	17.1%	4.4%	0.4%

エリア別にみると、すべてのエリアで「人材・施設の確保」がいずれも7割台を占め、最も高い。次いで、すべてのエリアにおいて、「職場の理解と支援」がそれぞれ6割台と高くなっている。

【性別】

性別	回答件数 (件)	人材・施設の 確保	職場の理解と 支援	固定概念の 払拭	結婚支援	男性の育児 休暇	有害情報対策	不妊対策	その他	無回答
全 体	1,396	71.7%	62.3%	34.4%	27.7%	20.4%	18.8%	14.1%	4.2%	1.6%
男性	665	74.6%	61.8%	27.5%	32.2%	21.4%	18.2%	12.5%	4.7%	1.1%
女性	707	69.4%	62.8%	40.9%	22.9%	19.8%	19.5%	15.6%	3.8%	1.8%

性別にみると、＜男性＞＜女性＞ともに「人材・施設の確保」が最も高く、7割前後となっている。また、＜男性＞＜女性＞ともに「職場の理解と支援」が2番目に高くなっている。

【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	人材・施設の 確保	職場の理解と 支援	固定概念の 払拭	結婚支援	男性の育児 休暇	有害情報対策	不妊対策	その他	無回答
全 体	1,396	71.7%	62.3%	34.4%	27.7%	20.4%	18.8%	14.1%	4.2%	1.6%
18・19歳	17	47.1%	29.4%	41.2%	29.4%	29.4%	23.5%	23.5%	0.0%	5.9%
20～29歳	45	71.1%	71.1%	44.4%	33.3%	31.1%	6.7%	6.7%	4.4%	0.0%
30～39歳	116	69.0%	59.5%	32.8%	20.7%	29.3%	10.3%	26.7%	7.8%	0.9%
40～49歳	230	70.0%	62.6%	37.4%	21.7%	20.0%	17.4%	18.7%	4.3%	0.4%
50～59歳	321	70.1%	59.2%	36.8%	28.3%	19.9%	19.0%	14.6%	5.0%	0.3%
60～69歳	399	77.9%	65.4%	30.6%	27.8%	19.3%	18.8%	11.8%	4.0%	1.5%
70歳以上	243	70.0%	62.6%	32.9%	32.9%	17.3%	25.9%	7.4%	1.6%	4.5%

年齢別にみると、すべての年齢層において「人材・施設の確保」が最も高く、＜18・19歳＞では5割弱にとどまったが、それ以外ではいずれも7割弱～7割半ばを占めている。また、＜20～29歳＞では「職場の理解と支援」も71.1%と同率で最も高い。＜30～39歳＞＜40～49歳＞＜50～59歳＞＜60～69歳＞においても「職場の理解と支援」は6割弱～6割半ばと高い割合を占めている。

【同居家族別】

同居家族	回答件数 (件)	人材・施設の 確保	職場の理解と 支援	固定概念の 払拭	結婚支援	男性の育児 休暇	有害情報対策	不妊対策	その他	無回答
全 体	1,396	71.7%	62.3%	34.4%	27.7%	20.4%	18.8%	14.1%	4.2%	1.6%
0～2歳	59	84.7%	47.5%	23.7%	22.0%	27.1%	18.6%	27.1%	6.8%	0.0%
3歳～小学校入学前	85	83.5%	75.3%	38.8%	15.3%	23.5%	17.6%	20.0%	4.7%	0.0%
小学生	159	73.0%	64.8%	30.2%	23.3%	25.8%	22.0%	17.0%	4.4%	0.6%
中学生	120	68.3%	67.5%	32.5%	20.0%	22.5%	25.0%	14.2%	5.0%	0.0%
高校生・高等専修学校生	126	64.3%	63.5%	46.0%	23.0%	18.3%	18.3%	15.9%	6.3%	0.0%
短大生・大学生・専門学校生	100	66.0%	59.0%	42.0%	41.0%	16.0%	16.0%	13.0%	3.0%	1.0%
未婚の社会人	403	72.5%	63.8%	33.0%	32.8%	23.3%	15.6%	10.2%	3.0%	1.7%
65歳以上の方	556	70.0%	59.9%	35.3%	31.1%	18.5%	18.7%	15.8%	4.3%	0.9%

同居家族別にみると、すべての区分で「人材・施設の確保」が最も高く、いずれも6割を超えている。特に＜0～2歳＞＜3歳～小学校入学前＞では8割半ばと高い割合を占めている。また、すべての区分で「職場の理解と支援」が2番目に高く、特に＜3歳～小学校入学前＞では75.3%と他の区分と比べて高い結果となっている。このほか、＜短大生・大学生・専門学校生＞＜未婚の社会人＞＜65歳以上の方＞では「結婚支援」が3割を超えており、他の区分に比べて高い傾向がみられる。

【県外居住年数別】

県外居住年数	回答件数 (件)	人材・施設の 確保	職場の理解と 支援	固定概念の 払拭	結婚支援	男性の育児 休暇	有害情報対策	不妊対策	その他	無回答
全 体	1,396	71.7%	62.3%	34.4%	27.7%	20.4%	18.8%	14.1%	4.2%	1.6%
ずっと佐賀県に住んでいる(0年)	553	68.7%	59.3%	36.5%	28.2%	20.4%	19.9%	15.6%	2.5%	1.3%
2年未満	94	78.7%	60.6%	31.9%	30.9%	18.1%	17.0%	20.2%	4.3%	0.0%
2～5年未満	202	72.3%	64.9%	35.1%	30.2%	20.8%	23.3%	12.4%	4.0%	1.5%
5～10年未満	152	78.9%	63.8%	27.0%	24.3%	23.0%	17.8%	14.5%	3.9%	2.6%
10年以上	347	71.5%	65.1%	34.0%	25.6%	20.2%	15.9%	11.5%	7.2%	1.7%

県外居住年数別に見ると、すべての区分で「人材・施設の確保」が最も高く、いずれも 7 割弱～8 割弱となった。また、すべての区分において「職場の理解と支援」が約 6 割～6 割半ばで 2 番目に高くなっている。

【現在の満足度（問 9 ③）との関連】

現在の満足度	回答件数 (件)	人材・施設の 確保	職場の理解と 支援	固定概念の 払拭	結婚支援	男性の育児 休暇	有害情報対策	不妊対策	その他	無回答
全 体	1,396	71.7%	62.3%	34.4%	27.7%	20.4%	18.8%	14.1%	4.2%	1.6%
満足派	640	74.1%	64.8%	36.6%	27.8%	18.3%	20.5%	13.9%	3.0%	0.3%
どちらともいえない	510	70.4%	60.6%	33.1%	30.0%	21.6%	18.0%	14.1%	4.5%	0.8%
不満派	205	75.1%	62.9%	35.1%	23.9%	26.3%	15.6%	15.1%	8.3%	0.0%

現在の満足度との関連をみると、＜満足派＞＜不満派＞ともに「人材・施設の確保」が 7 割半ばで最も高くなっている。また、＜満足派＞では「有害情報対策」の割合が＜不満派＞に比べて 4.9 ポイント高く、一方、＜不満派＞では「男性の育児休暇」の割合が＜満足派＞に比べて 8.0 ポイント高くなっている。なお、＜どちらともいえない＞においても「人材・施設の確保」が約 7 割と最も高い。

属性別に分析すると、すべてのエリアで「人材・施設の確保」がいずれも 7 割台で最も高く、次いで同様に「職場の理解と支援」が 6 割台、「固定概念の払拭」が 3 割台で続いている。満足度が最も低い＜東・西松浦地区＞と満足度が最も高い＜三養基・神埼地区＞とを比較しても大きな違いはない。同居家族別に見ると、満足派が最も多く、かつ不満派も比較的多い＜3 歳～小学校入学前＞をもつ人では「人材・施設の確保」が 8 割半ばを占めて最も高く、次いで「職場の理解と支援」も 7 割半ばとなってそれぞれ県平均を 10 ポイント以上上回っている。また、満足派の割合は比較的少ないながらも、同様に不満派が比較的多い＜中学生＞をもつ人でも「人材・施設の確保」および「職場の理解と支援」がともに 7 割弱となっている。

【選択肢『その他』に記載された取組み】

- ・就業時間削減による、子どもと“関わる”時間の増大（男性、20～29 歳、杵島・藤津地区、他 4 件）
- ・子育てにかかる費用を下げたり、子どもの手当での延長（高校まで）（女性、30～39 歳、東・西松浦地区、他 8 件）
- ・子育て世代への社会的支援（男性、30～39 歳、東・西松浦地区）
- ・公園の遊具の充実、子育て支援センターの充実（男性、30～39 歳、三養基・神埼地区）
- ・根本的に、子供は母親が育てるのが一番だと思う。社会進出も大切だが、家庭も大切。働きすぎる男性の勤務形態に女性があわせること自体おかしい。働き方の根本的見直しが必要だと思う（女性、40～49 歳、佐賀・小城地区）
- ・働く場の多様化、誘致（男性、40～49 歳、佐賀・小城地区）
- ・学力向上、人材教育（男性、40～49 歳、東・西松浦地区）
- ・社会人の正規雇用（女性、40～49 歳、東・西松浦地区）
- ・保育士の処遇改善（女性、40～49 歳、杵島・藤津地区）
- ・雇用確保につながる地域経済の活性化（男性、40～49 歳、杵島・藤津地区）
- ・公的な子作り、子育て支援の充実（男性、50～59 歳、佐賀・小城地区）
- ・老人ホームと保育所をセットにした施設の増設（男性、50～59 歳、佐賀・小城地区）
- ・小児医療の充実（男性、50～59 歳、佐賀・小城地区）

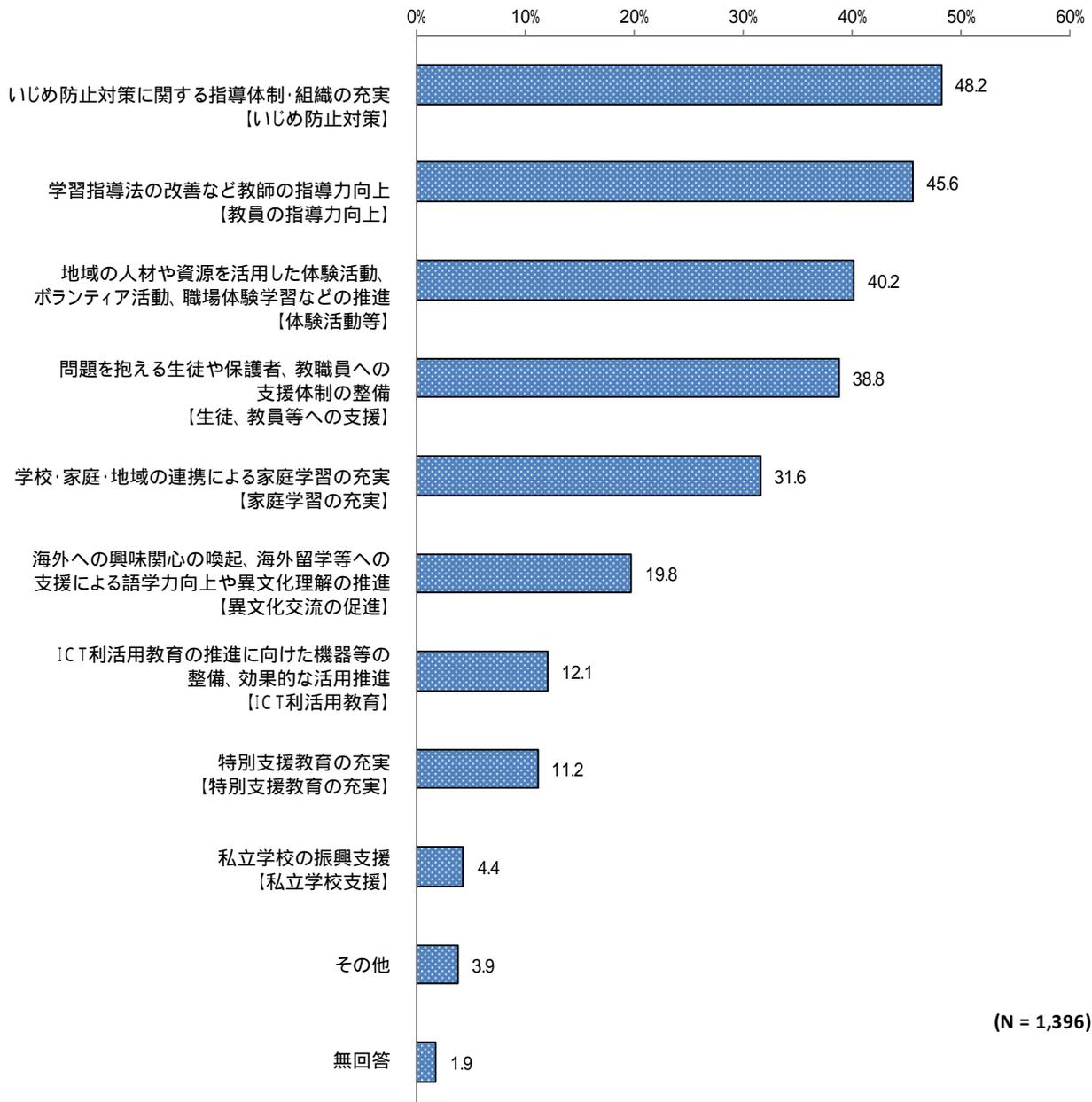
- ・子どもの夜間等の発熱、急病に対する電話相談窓口の充実（男性、50～59歳、佐賀・小城地区）
- ・税金の負担減（男性、50～59歳、佐賀・小城地区）
- ・子育て支援、教育費の補助の拡充（男性、50～59歳、佐賀・小城地区）
- ・画一的に進めるのではなく、各家庭で役割分担等を決めて取り組みばいい（男性、50～59歳、佐賀・小城地区）
- ・産科が少ない（女性、50～59歳、東・西松浦地区）
- ・中学校までの授業料、医療費の無料化（男性、50～59歳、三養基・神埼地区、他3件）
- ・若い人達への支援（お金に代わる体制、整備）、安定した収入も必要（男性、50～59歳、三養基・神埼地区）
- ・待機児童対策（女性、50～59歳、杵島・藤津地区）
- ・放課後子供クラブの先生が人員不足で苦労されているとのこと。賃金も地域差があって安い（女性、50～59歳、杵島・藤津地区）
- ・すぐに相談できる信頼できる人が近くにいる（女性、60～69歳、佐賀・小城地区）
- ・企業・親への子育ての資金面の支援（男性、60～69歳、佐賀・小城地区）
- ・行政が先頭に立って下さい（男性、60～69歳、東・西松浦地区）
- ・地方行政のレベル向上（男性、60～69歳、三養基・神埼地区）
- ・女性が家庭に入って、3才くらいまで子育て出来る（働かなくても生活できる）環境、0才児からの入園があたり前になっていることがおかしい（女性、60～69歳、三養基・神埼地区）
- ・学童保育に教育をプラスしていく対策（女性、60～69歳、三養基・神埼地区）
- ・両親揃っているが低所得の家庭の子どもにも、教育の平等（塾、スイミング等）のサービスはできないか（女性、60～69歳、杵島・藤津地区）
- ・男は仕事、女は家庭。育児は夫婦で共に分担（女性、70歳以上、東・西松浦地区）
- ・子育てしやすい安くて十分な住宅の供給（女性、70歳以上、東・西松浦地区）
- ・若い人の生活基盤を確立する（女性、70歳以上、東・西松浦地区）

【寄せられた自由意見】

・放課後児童クラブを増やしてほしい。（女性、20～29歳、佐賀・小城地区）
・子育て世帯に対する支援・援助、また、安心して子育てが出来るような取り組みをもっと充実させてほしい。（男性、30～39歳、佐賀・小城地区）
・不妊の方への支援をもっと頑張してほしい。授けられない方が最近まわりに増えてきています。「子どものために」「もっと子どもを！」と子持ち家庭を誘致されるのも良いと思いますが、佐賀県に住んでいる不妊で悩んでいる方にも、もう少し手を差し伸べていただけたら幸いです。（女性、30～39歳、三養基・神埼地区）
・一人親世帯や低所得者への助成等は推進されているが、共働き世帯に関しては夫婦共々頑張っているにもかかわらず税金の払いは嵩むばかりで何の補助もなく、保育料も高いばかりです。一人親世帯に限って逆に不自由なくのびのびと生活されている方を見ると、不満を抱くばかりです。もっと保育環境等を一律にされていくものではないでしょうか。（女性、30～39歳、三養基・神埼地区）
・子育て中の母親が働きやすい職場がほしいです（時間帯が短い、子供たちが帰ってくるまでに家に帰れる。休みが取りやすいなど）。子育て支援に積極的な企業を表彰するなど（メディアを使って取り組み状況取材する）、企業にも積極的に働きかけて欲しいです。また、そういう取り組みをしている企業を誘致してほしいです。（男性、30～39歳、杵島・藤津地区）
・地域で子どもたちに力を入れている所との差があるので同じように力を入れてほしいと思う。（女性、30～39歳、杵島・藤津地区）
・短期里親や週末里親など広く県民の方たちにアピールして欲しい。悲しい思いをしている子どもたちを増やさないで！困ったら“だれかに助けてもらえる”と感じる事のできる佐賀県になって欲しいです。それは外国の方も移住の方も同じです。（女性、50～59歳、三養基・神埼地区）
・一人親の家庭や親世帯と別の暮らしで子供の貧困が問題になっているが、三世帯同居に特典がある制度を作ってもらいたい。親が働いている間は祖父母が子供の面倒をみて、家庭で道徳教育や躾けをしてもらい、子供たちに本当の意味での教育を感じてもらえる県にもらいたい。（女性、50～59歳、三養基・神埼地区）
・若者の結婚、出産が少なくなっています。若者が安心して結婚、子育てをできるように職場環境、育児休暇など安心して働けるよう力を入れてほしいです。（女性、60～69歳、東・西松浦地区）

13. 子どもたちの教育のために必要だと思うこと

問13 子どもたちに「知（確かな学力）」、「徳（豊かな心）」、「体（健やかな体）」の調和のとれた教育を行うためにあなたが必要だと思うものを教えてください。（〇は3つまで）



全体では、「いじめ防止対策」が 48.2%と最も高く、次いで「教員の指導力向上」が 45.6%、「体験活動等」が 40.2%となっている。

【エリア別】

エリア	回答件数 (件)	いじめ防止 対策	教員の指導 力向上	体験活動等	生徒、教員 等への支援	家庭学習の 充実	異文化交流 の促進	ICT利活用 教育	特別支援 教育の充実	私立学校 支援	その他	無回答
全 体	1,396	48.2%	45.6%	40.2%	38.8%	31.6%	19.8%	12.1%	11.2%	4.4%	3.9%	1.9%
佐賀・小城地区	494	46.6%	44.7%	38.3%	38.3%	33.2%	21.3%	12.1%	9.7%	5.1%	4.3%	2.2%
東・西松浦地区	324	53.4%	44.4%	38.9%	43.5%	36.1%	17.0%	10.8%	11.1%	3.1%	2.8%	1.5%
三養基・神埼地区	297	46.1%	46.5%	41.8%	38.0%	26.9%	22.9%	13.1%	13.1%	4.7%	3.4%	2.4%
杵島・藤津地区	251	47.4%	47.4%	42.6%	36.3%	28.7%	17.1%	12.7%	12.4%	4.4%	5.2%	0.8%

エリア別にみると、<佐賀・小城地区><東・西松浦地区>においては、「いじめ防止対策」が最も高く、4 割半ば～5 割半ばとなっている。2 番目に高いのは、「教員の指導力向上」であり、ともに4 割半ばとなっている。また、<三養基・神埼地区>では「教員の指導力向上」が 46.5%と最も高く、次いで「いじめ防止対策」が 46.1%となっている。なお、<杵島・藤津地区>は「いじめ防止対策」および「教員の指導力向上」がともに 47.4%と、同率で最も高くなっている。

【性別】

性別	回答件数 (件)	いじめ防止 対策	教員の指導 力向上	体験活動等	生徒、教員 等への支援	家庭学習の 充実	異文化交流 の促進	ICT利活用 教育	特別支援 教育の充実	私立学校 支援	その他	無回答
全 体	1,396	48.2%	45.6%	40.2%	38.8%	31.6%	19.8%	12.1%	11.2%	4.4%	3.9%	1.9%
男性	665	48.6%	45.4%	41.8%	37.6%	30.2%	20.8%	14.3%	10.4%	3.2%	4.8%	1.1%
女性	707	48.1%	45.8%	38.6%	40.3%	33.5%	19.1%	10.2%	12.0%	5.4%	3.1%	2.3%

性別にみると、<男性><女性>ともに「いじめ防止対策」が最も高く、ともに5 割弱となっている。次いで、<男性><女性>ともに「教員の指導力向上」となっている。

【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	いじめ防止 対策	教員の指導 力向上	体験活動等	生徒、教員 等への支援	家庭学習の 充実	異文化交流 の促進	ICT利活用 教育	特別支援 教育の充実	私立学校 支援	その他	無回答
全 体	1,396	48.2%	45.6%	40.2%	38.8%	31.6%	19.8%	12.1%	11.2%	4.4%	3.9%	1.9%
18・19歳	17	35.3%	23.5%	35.3%	35.3%	23.5%	29.4%	11.8%	11.8%	5.9%	0.0%	5.9%
20～29歳	45	46.7%	37.8%	48.9%	37.8%	22.2%	33.3%	26.7%	8.9%	4.4%	4.4%	0.0%
30～39歳	116	43.1%	44.0%	40.5%	42.2%	27.6%	23.3%	16.4%	13.8%	5.2%	3.4%	0.9%
40～49歳	230	37.0%	49.1%	39.6%	40.9%	27.4%	22.2%	13.0%	11.3%	7.4%	5.7%	1.3%
50～59歳	321	46.7%	42.4%	41.1%	41.4%	34.3%	16.5%	10.6%	13.4%	3.1%	4.4%	1.6%
60～69歳	399	54.4%	46.6%	42.9%	38.6%	33.3%	19.3%	9.3%	9.5%	3.5%	3.5%	1.5%
70歳以上	243	53.9%	48.1%	34.2%	33.3%	35.4%	18.9%	13.2%	10.3%	3.7%	2.5%	3.3%

年齢別にみると、<18・19 歳>では「いじめ防止対策」、「体験活動等」および「生徒や教員等への支援」がいずれも 35.3%となり、同率で最も高い。<20～29 歳>では「体験活動等」が 48.9%と最も高く、<30～39 歳><40～49 歳>では「教員の指導力向上」がともに4 割半ばを超えて最も高い。<50～59 歳><60～69 歳><70 歳以上>では「いじめ防止対策」が最も高く、4 割半ば～5 割半ばを占めている。

【同居家族別】

同居家族	回答件数 (件)	いじめ防止 対策	教員の指導 力向上	体験活動等	生徒、教員 等への支援	家庭学習の 充実	異文化交流 の促進	ICT利活用 教育	特別支援 教育の充実	私立学校 支援	その他	無回答
全 体	1,396	48.2%	45.6%	40.2%	38.8%	31.6%	19.8%	12.1%	11.2%	4.4%	3.9%	1.9%
0～2歳	59	61.0%	50.8%	42.4%	35.6%	18.6%	16.9%	11.9%	11.9%	1.7%	6.8%	0.0%
3歳～小学校入学前	85	48.2%	38.8%	47.1%	37.6%	32.9%	22.4%	9.4%	15.3%	9.4%	4.7%	0.0%
小学生	159	42.1%	45.3%	40.9%	41.5%	32.1%	23.9%	15.1%	15.7%	8.8%	3.1%	1.9%
中学生	120	38.3%	47.5%	35.0%	39.2%	33.3%	27.5%	11.7%	11.7%	9.2%	7.5%	1.7%
高校生・高等専修学校生	126	35.7%	50.8%	45.2%	35.7%	27.8%	19.0%	12.7%	14.3%	9.5%	7.9%	0.8%
短大生・大学生・専門学校生	100	50.0%	43.0%	41.0%	33.0%	39.0%	11.0%	16.0%	11.0%	7.0%	4.0%	2.0%
未婚の社会人	403	50.4%	45.2%	41.4%	41.9%	31.8%	16.9%	13.2%	12.2%	3.2%	3.0%	2.2%
65歳以上の方	556	46.9%	43.5%	42.1%	39.0%	33.1%	22.3%	11.7%	11.5%	4.0%	4.1%	0.9%

同居家族別にみると、<小学生><中学生><高校生・高等専修学校生>では「教員の指導力向上」が最も高く、いずれも4割半ば～5割強となっている。それ以外の区分では、「いじめ防止対策」が最も高く、4割半ば～6割強を占めている。

【県外居住年数別】

県外居住年数	回答件数 (件)	いじめ防止 対策	教員の指導 力向上	体験活動等	生徒、教員 等への支援	家庭学習の 充実	異文化交流 の促進	ICT利活用 教育	特別支援 教育の充実	私立学校 支援	その他	無回答
全 体	1,396	48.2%	45.6%	40.2%	38.8%	31.6%	19.8%	12.1%	11.2%	4.4%	3.9%	1.9%
ずっと佐賀県に住んでいる(0年)	553	49.9%	44.8%	38.0%	36.5%	34.9%	16.5%	11.8%	11.0%	4.3%	2.7%	1.6%
2年未満	94	43.6%	42.6%	38.3%	36.2%	33.0%	23.4%	16.0%	6.4%	5.3%	4.3%	1.1%
2～5年未満	202	46.0%	46.5%	39.6%	43.1%	31.7%	21.3%	12.4%	14.4%	4.0%	4.5%	2.5%
5～10年未満	152	41.4%	45.4%	48.0%	38.8%	28.3%	20.4%	14.5%	12.5%	3.3%	4.6%	2.0%
10年以上	347	50.4%	48.4%	42.1%	41.2%	26.2%	23.6%	11.8%	9.2%	4.9%	5.5%	1.7%

県外居住年数別にみると、<2～5年未満>では「教員の指導力向上」が46.5%と最も高く、<5～10年未満>では「体験活動等」が48.0%と最も高い。それ以外の区分では、「いじめ防止対策」がいずれも最も高く、4割半ば～約5割となっている。

【現在の満足度（問9④）との関連】

現在の満足度	回答件数 (件)	いじめ防止 対策	教員の指導 力向上	体験活動等	生徒、教員 等への支援	家庭学習の 充実	異文化交流 の促進	ICT利活用 教育	特別支援 教育の充実	私立学校 支援	その他	無回答
全 体	1,396	48.2%	45.6%	40.2%	38.8%	31.6%	19.8%	12.1%	11.2%	4.4%	3.9%	1.9%
満足派	519	47.8%	43.5%	43.7%	36.8%	34.9%	21.2%	13.5%	10.0%	5.2%	2.9%	1.3%
どちらともいえない	614	52.0%	46.9%	38.9%	39.3%	29.0%	18.6%	11.6%	10.6%	4.1%	3.1%	1.6%
不満派	228	41.7%	49.6%	36.4%	41.2%	32.0%	20.2%	11.0%	15.8%	4.4%	8.8%	0.9%

現在の満足度との関連をみると、<満足派>では「いじめ防止対策」が5割弱を占めて最も高く、<不満派>に比べて6.1ポイント高くなっている。また、<満足派>では「体験活動等」の割合も<不満派>に比べて7.3ポイント高くなっている。一方、<不満派>では「教員の指導力向上」が約5割を占めて最も高く、<満足派>に比べて6.1ポイント高くなっている。また、「特別支援教育の充実」の割合も<満足派>に比べて5.8ポイント高くなっている。なお、<どちらともいえない>においては「いじめ防止対策」が5割強と最も高い。

属性別に分析すると、<小学生><中学生><高校生・高等専修学校生>の同居家族をもつ人では不満派が県平均を上回っているが、これらの区分では「教員の指導力向上」が最も高く、いずれも4割半ば～5割強となっている。

また、県外居住年数についてみると、満足派の割合が比較的低い<5～10年未満>の区分では「体験活動等」が5割弱と最も高く、次いで「教員の指導力向上」、「いじめ防止対策」と続いており、他の区分とは異なる傾向がみられる。

【選択肢『その他』に記載された取組み】

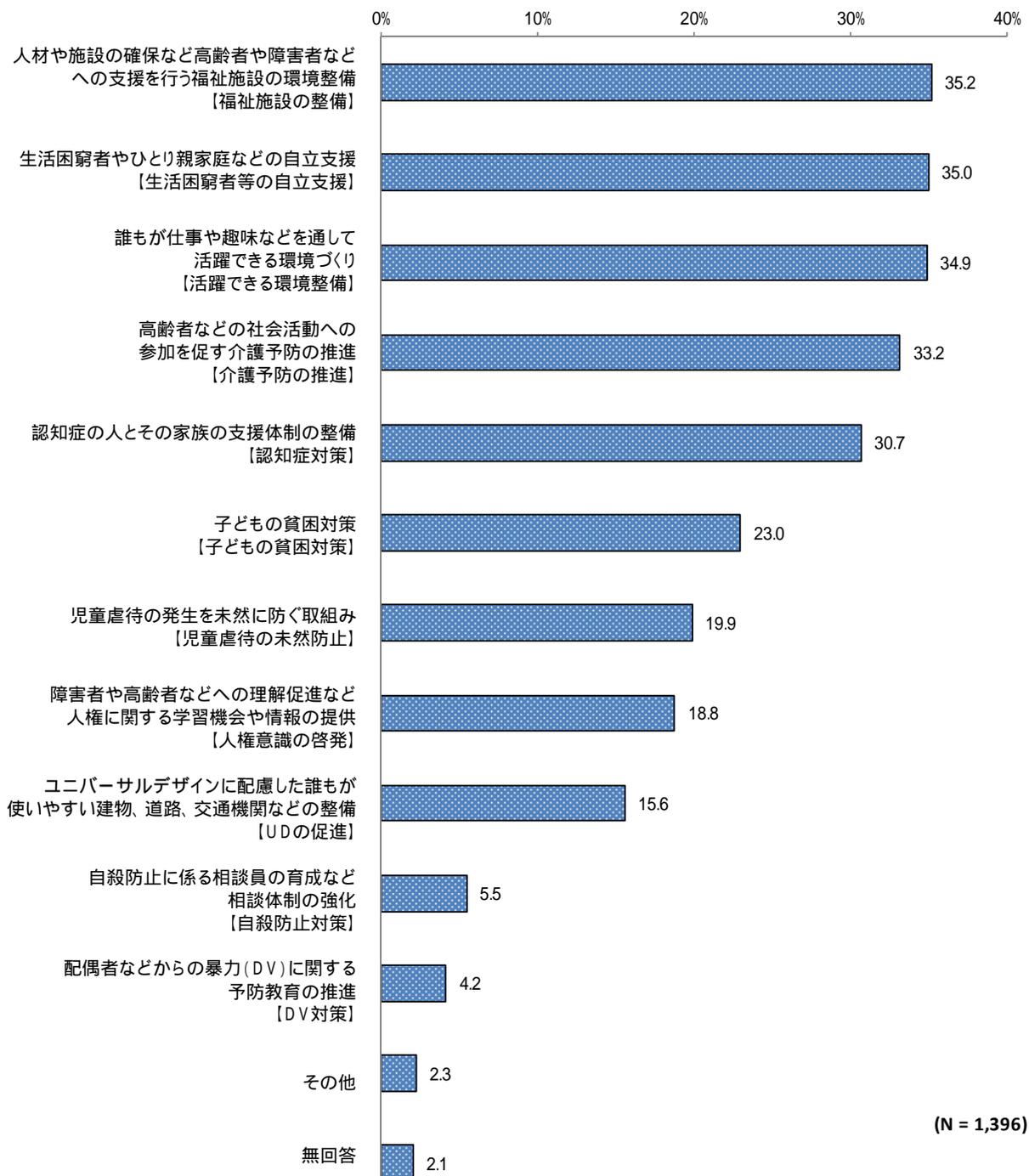
- ・指導法以外も含めた教師の質の向上（男性、30～39歳、佐賀・小城地区、他7件）
- ・もっとレベルの高い進学校を設立する（男性、30～39歳、佐賀・小城地区）
- ・教師の指導力に左右されないように、一流の講師によるネットでの授業配信（男性、30～39歳、三養基・神埼地区）
- ・それぞれの子に合った教育。机上のものがすべてでなく、したい子にはハイレベル、したくない子にはその子に合ったものを見出す。塾にしても都市部に比べてレベルが落ちている。全国区で通用する上位層を育て、他は基礎定着させいろいろな層の子が自信をもてる教育（女性、40～49歳、佐賀・小城地区）
- ・部活動の時間を全員同じ時間にして欲しい。部活の時間が長く勉強時間が確保できない（女性、40～49歳、佐賀・小城地区）
- ・小・中・高での発達障害児生に対する課題の認識（女性、40～49歳、佐賀・小城地区）
- ・子供の生活の余裕。忙しい子供が多すぎる（女性、40～49歳、佐賀・小城地区）
- ・道徳（男性、40～49歳、佐賀・小城地区）
- ・1学年に10人以下という学校（特に小学校）を合併する（女性、40～49歳、東・西松浦地区）
- ・外部コーチなど、部活動の活性化（男性、40～49歳、東・西松浦地区）
- ・少年野球、サッカー、等のスポーツの促進（男性、40～49歳、三養基・神埼地区）
- ・家庭での生活の充実（女性、40～49歳、杵島・藤津地区）
- ・家庭での子育て環境の改善に向けた意識改革、学校の行事精選と教科指導以外の業務軽減（男性、40～49歳、杵島・藤津地区）
- ・佐賀出身者による講演や授業、佐賀出身偉人の発掘（男性、50～59歳、佐賀・小城地区）
- ・スポーツ系活動、文科系活動において、地域の経験者へボランティアによる指導を呼びかける（男性、50～59歳、佐賀・小城地区）
- ・頑張っている人に対する経済的負担の軽減（男性、50～59歳、佐賀・小城地区）
- ・問題を持つ生徒・保護者に限らずすべての生徒・保護者・教職員への更なる支援体制の整備（女性、50～59歳、佐賀・小城地区）
- ・生活に密着した自然科学の体験によって生きるための知恵や工夫を身につけさせる事（女性、50～59歳、東・西松浦地区）
- ・昔のように外で遊ぶ事への取組み（女性、50～59歳、東・西松浦地区）
- ・相対的貧困家庭の子供への教育的な支援（男性、50～59歳、東・西松浦地区）
- ・各家族の協力がもっとも大事（男性、50～59歳、三養基・神埼地区）
- ・両親・子供がお互い助け合える人が近くにいる事（女性、60～69歳、佐賀・小城地区）
- ・教育内容の洗い直し（男性、60～69歳、三養基・神埼地区）
- ・生きて行く力を養う教育（女性、60～69歳、三養基・神埼地区）
- ・多目的な子供の表彰の場（女性、60～69歳、三養基・神埼地区）
- ・書店、図書館など、多くの分野の学問の面白さを知る教師や学生、天才教育と道徳教育（男性、60～69歳、三養基・神埼地区）
- ・国立工業高等専門学校設立（男性、60～69歳、杵島・藤津地区）
- ・学力だけでなく現在の状況に常に疑問や問題点を探る意識を持てる人間の育成（女性、60～69歳、杵島・藤津地区）
- ・家庭教育を基盤にした徳育の柱の設定（男性、60～69歳、杵島・藤津地区）
- ・ボーイスカウト活動の支援（男性、60～69歳、杵島・藤津地区）
- ・親への指導、教育の充実、強化（男性、70歳以上、佐賀・小城地区）
- ・教職員が教育に専念できるよう、他の仕事・負担の軽減（男性、70歳以上、佐賀・小城地区、他5件）
- ・スポーツ部会での組織教育の向上（男性、70歳以上、東・西松浦地区）
- ・リスクマネジメントの充実、取組み（女性、佐賀・小城地区）

【寄せられた自由意見】

<p>・高校の教科書代免除。(女性、18・19歳、佐賀・小城地区)</p>
<p>・県内に大学をもっと作ってほしい。(男性、18・19歳、三養基・神埼地区)</p>
<p>・ICT利活用教育のタブレット端末は利用する価値があるのか改めて考えてほしいと思っています。年に数回しか使用しなかったため5万円の価値があったとは思えません。学校の各クラスに設置してある電子黒板は有効活用されていて、大変良いと思っています。(女性、40～49歳、佐賀・小城地区)</p>
<p>・人材育成に力を入れてほしい。「何処に住むかより誰と住むか」。佐賀県人としての誇りを取り戻すため、宜しくお願いいたします。(男性、40～49歳、東・西松浦地区)</p>
<p>・大学生の奨学金制度を作してほしい。地元の大学へ通い、卒業後は県内に就職をして5年程働いたならば返還不要や一定額免除等・・・子どもたちの進学に経済的な不安があり、このような制度があれば助かります。(女性、40～49歳、東・西松浦地区)</p>
<p>・ひとり親で3人の子供を抱えています。大学進学に関して、国立、公立大学以外の助成をもっと充実させてほしいです。(女性、40～49歳、三養基・神埼地区)</p>
<p>・学校の先生達の過度な仕事量を軽減するために、法律や防犯、IT等の専門職の各学校への配置をお願いしたい。また、部活動の専門分野に大学生ボランティア等を活用できないのか？(男性、50～59歳、佐賀・小城地区)</p>
<p>・工業の技術力向上や研究職の人材育成のために、高等教育機関である国立高専を設置してほしい。(男性、60～69歳、杵島・藤津地区)</p>
<p>・産業育成、活性化、観光資源、特産品等々について力を入れても、これ以上は余り期待できないので田舎のイメージは払拭できない。それらの事も大事だが、それらと並行して真に誇れるものを作り上げて欲しい。それは学力No.1、体力No.1の県を目指して欲しい。佐賀は田舎だけど学力も佐賀はNo.1県、体力も佐賀はNo.1県となれば、「さすが佐賀県」といわれ、佐賀県民全員が誇れ、自信も沸く。それによって佐賀は更に開け、産業面、観光面等、あらゆる面で活性化が図れると思う。教育が一番！！(男性、70歳以上、佐賀・小城地区)</p>
<p>・義務教育に力を入れてほしい。特に、中学生のマナーや意識を向上させてほしい。学力だけが全てではないことを知らせてあげたいです。子ども達が笑顔を忘れないような佐賀県にしてほしいです。(女性、70歳以上、東・西松浦地区)</p>
<p>・小・中学生のカラオケ店の入店が親が同伴していても禁止されているのはなぜでしょうか。確かに子どもたちだけでは事件に巻き込まれたりするかもしれませんが、昼間に親が同伴していてもだめというのは厳しすぎませんか？(属性無回答)</p>

14. 暮らしやすい社会のために必要だと思うこと

問14 すべての人が暮らしやすい社会のためにあなたが必要だと思うものを教えてください。(〇は3つまで)



全体では、「福祉施設の整備」が 35.2%と最も高く、次いで「生活困窮者等の自立支援」が 35.0%、「活躍できる環境整備」が 34.9%となっている。

【エリア別】

エリア	回答件数 (件)	福祉施設 の整備	生活困窮 者等の 自立支援	活躍でき る環境 整備	介護予防 の推進	認知症 対策	子どもの 貧困対策	児童虐待 の未然 防止	人権意識 の啓発	UDの 促進	自殺防止 対策	DV対策	その他	無回答
全 体	1,396	35.2%	35.0%	34.9%	33.2%	30.7%	23.0%	19.9%	18.8%	15.6%	5.5%	4.2%	2.3%	2.1%
佐賀・小城地区	494	38.9%	35.4%	32.2%	34.6%	32.2%	20.9%	19.4%	18.2%	15.6%	5.9%	3.2%	2.4%	2.4%
東・西松浦地区	324	30.2%	35.2%	33.3%	35.5%	30.2%	26.9%	21.9%	20.1%	12.7%	6.8%	4.3%	1.5%	2.2%
三養基・神埼地区	297	31.6%	36.4%	38.4%	31.3%	31.6%	25.9%	17.8%	20.9%	19.5%	2.7%	3.7%	2.0%	2.0%
杵島・藤津地区	251	39.4%	33.1%	36.7%	28.7%	27.9%	19.5%	19.9%	15.5%	14.3%	7.2%	6.4%	3.2%	1.2%

エリア別にみると、<佐賀・小城地区><杵島・藤津地区>では、「福祉施設の整備」がともに 4 割弱を占め、最も高くなっている。<東・西松浦地区>では、「介護予防の推進」が 35.5%と最も高く、<三養基・神埼地区>では「活躍できる環境整備」が 38.4%と最も高い。

【性別】

性別	回答件数 (件)	福祉施設 の整備	生活困窮 者等の 自立支援	活躍でき る環境 整備	介護予防 の推進	認知症 対策	子どもの 貧困対策	児童虐待 の未然 防止	人権意識 の啓発	UDの 促進	自殺防止 対策	DV対策	その他	無回答
全 体	1,396	35.2%	35.0%	34.9%	33.2%	30.7%	23.0%	19.9%	18.8%	15.6%	5.5%	4.2%	2.3%	2.1%
男性	665	36.5%	34.4%	35.8%	32.5%	29.2%	26.3%	17.7%	20.9%	14.4%	7.1%	3.5%	2.0%	1.5%
女性	707	33.7%	36.2%	33.7%	33.7%	32.2%	20.4%	21.9%	16.5%	16.7%	4.2%	4.8%	2.7%	2.4%

性別にみると、<男性>では「福祉施設の整備」が、<女性>では「生活困窮者等の自立支援」が最も高く、ともに 3 割半ばとなっている。

【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	福祉施設 の整備	生活困窮 者等の 自立支援	活躍でき る環境 整備	介護予防 の推進	認知症 対策	子どもの 貧困対策	児童虐待 の未然 防止	人権意識 の啓発	UDの 促進	自殺防止 対策	DV対策	その他	無回答
全 体	1,396	35.2%	35.0%	34.9%	33.2%	30.7%	23.0%	19.9%	18.8%	15.6%	5.5%	4.2%	2.3%	2.1%
18・19歳	17	23.5%	47.1%	29.4%	23.5%	11.8%	23.5%	5.9%	5.9%	17.6%	5.9%	17.6%	5.9%	5.9%
20～29歳	45	31.1%	37.8%	42.2%	28.9%	24.4%	31.1%	17.8%	13.3%	31.1%	13.3%	6.7%	2.2%	0.0%
30～39歳	116	25.0%	25.9%	32.8%	28.4%	26.7%	38.8%	29.3%	20.7%	20.7%	6.9%	6.0%	0.9%	1.7%
40～49歳	230	33.9%	33.5%	29.1%	26.5%	28.3%	26.5%	20.4%	14.8%	19.6%	5.2%	4.8%	4.3%	0.9%
50～59歳	321	36.8%	36.1%	35.2%	34.9%	29.9%	21.5%	19.0%	15.0%	15.3%	5.6%	3.4%	2.5%	2.2%
60～69歳	399	34.8%	37.6%	35.8%	34.6%	33.6%	21.3%	21.6%	20.1%	13.3%	4.5%	4.0%	2.0%	2.5%
70歳以上	243	40.7%	35.8%	37.0%	37.9%	34.6%	16.5%	14.8%	25.5%	11.1%	5.8%	2.1%	0.8%	2.5%

年齢別にみると、<18・19 歳><60～69 歳>では「生活困窮者等の自立支援」、<20～29 歳>では「活躍できる環境整備」、<30～39 歳>では「子どもの貧困対策」がそれぞれ最も高く、いずれも 4 割弱～5 割弱を占めている。それ以外の区分では「福祉施設の整備」がいずれも 3 割半ば～約 4 割となり、最も高い割合を占めている。

【家族構成別】

家族構成	回答件数 (件)	福祉施設 の整備	生活困窮 者等の 自立支援	活躍でき る環境 整備	介護予防 の推進	認知症 対策	子どもの 貧困対策	児童虐待 の未然 防止	人権意識 の啓発	UDの 促進	自殺防止 対策	DV対策	その他	無回答
全 体	1,396	35.2%	35.0%	34.9%	33.2%	30.7%	23.0%	19.9%	18.8%	15.6%	5.5%	4.2%	2.3%	2.1%
1人世帯	94	37.2%	37.2%	26.6%	24.5%	31.9%	23.4%	21.3%	16.0%	13.8%	8.5%	6.4%	3.2%	4.3%
夫婦だけ	308	43.5%	37.0%	36.4%	37.0%	30.5%	23.4%	16.9%	19.2%	14.9%	3.9%	3.2%	1.0%	1.3%
2世代	634	32.8%	33.8%	33.9%	32.6%	31.4%	22.7%	21.5%	19.4%	18.3%	5.5%	4.6%	2.2%	2.4%
3世代	260	31.2%	36.9%	36.5%	30.4%	28.8%	26.9%	20.4%	16.5%	11.9%	7.7%	3.5%	2.3%	1.2%
その他	70	30.0%	35.7%	40.0%	45.7%	30.0%	14.3%	17.1%	20.0%	11.4%	1.4%	4.3%	5.7%	1.4%

家族構成別にみると、<1 人世帯>では「福祉施設の整備」、「生活困窮者等の自立支援」がともに 37.2%となり、同率で最も高い。また、<夫婦だけ>では「福祉施設の整備」、<2 世代>では「活躍できる環境整備」、<3 世代>では「生活困窮者等の自立支援」、<その他>では「介護予防の推進」がそれぞれ最も高くなっている。

【県外居住年数別】

県外居住年数	回答件数 (件)	福祉施設 の整備	生活困窮 者等の 自立支援	活躍でき る環境 整備	介護予防 の推進	認知症 対策	子どもの 貧困対策	児童虐待 の未然 防止	人権意識 の啓発	UDの 促進	自殺防止 対策	DV対策	その他	無回答
全 体	1,396	35.2%	35.0%	34.9%	33.2%	30.7%	23.0%	19.9%	18.8%	15.6%	5.5%	4.2%	2.3%	2.1%
ずっと佐賀県に住んでいる(0年)	553	34.9%	34.2%	33.5%	32.2%	34.9%	18.3%	19.0%	16.6%	15.4%	5.4%	5.4%	1.3%	2.0%
2年未満	94	38.3%	37.2%	31.9%	30.9%	19.1%	21.3%	24.5%	11.7%	14.9%	8.5%	6.4%	5.3%	2.1%
2～5年未満	202	34.2%	34.7%	32.7%	33.7%	31.7%	26.2%	20.8%	20.8%	14.9%	4.0%	2.0%	1.0%	2.5%
5～10年未満	152	38.8%	38.2%	37.5%	40.8%	30.9%	28.9%	17.1%	19.7%	12.5%	5.3%	1.3%	2.6%	0.7%
10年以上	347	34.0%	34.9%	37.8%	30.5%	27.7%	28.0%	20.5%	21.3%	18.2%	6.3%	4.3%	3.7%	2.3%

県外居住年数別に見ると、<ずっと佐賀県に住んでいる(0年)>では「福祉施設の整備」および「認知症対策」がともに34.9%となり、同率で最も高い。<2年未満>では「福祉施設の整備」、<2～5年未満>では「生活困窮者等の自立支援」、<5～10年未満>では「介護予防の推進」、<10年以上>では「活躍できる環境整備」がそれぞれ最も高く、いずれも3割半ば～約4割となっている。

【現在の満足度(問9⑤)との関連】

現在の満足度	回答件数 (件)	福祉施設 の整備	生活困窮 者等の 自立支援	活躍でき る環境 整備	介護予防 の推進	認知症 対策	子どもの 貧困対策	児童虐待 の未然 防止	人権意識 の啓発	UDの 促進	自殺防止 対策	DV対策	その他	無回答
全 体	1,396	35.2%	35.0%	34.9%	33.2%	30.7%	23.0%	19.9%	18.8%	15.6%	5.5%	4.2%	2.3%	2.1%
満足派	374	36.4%	34.0%	38.8%	35.6%	31.0%	21.1%	20.1%	18.7%	14.7%	6.4%	4.5%	1.3%	1.1%
どちらともいえない	581	31.5%	36.0%	34.1%	32.9%	30.8%	24.1%	20.5%	17.0%	15.1%	6.0%	3.4%	2.1%	2.9%
不満派	421	40.4%	34.2%	33.3%	32.1%	30.4%	23.3%	19.2%	21.6%	17.6%	3.8%	4.8%	3.6%	1.0%

現在の満足度との関連をみると、<満足派>では「活躍できる環境整備」の割合が最も高く、<不満派>に比べて5.5ポイント高くなっている。一方、<不満派>では「福祉施設の整備」の割合が最も高く、<満足派>に比べて4.0ポイント高くなっている。なお、<どちらともいえない>では「生活困窮者等の自立支援」が3割半ばを占めて最も高い。

属性別に分析すると、不満派が県平均を上回る<20～29歳>では「活躍できる環境整備」が4割強を占めて最も高く、他の年齢層よりも高い傾向がみられる。また、<50～59歳>でも不満派が県平均を上回っているが、必要だと思う取組みとしては「福祉施設の整備」、「生活困窮者等の自立支援」、「活躍できる環境整備」および「介護予防の推進」の3項目がいずれも3割半ばとなって回答がわかれている。家族構成についてみると、<夫婦だけ><2世代>の世帯で満足度が低いが、<夫婦だけ>では「福祉施設の整備」が4割強と最も高く、その割合は県平均を8.3ポイント上回るのに対し、<2世代>では「活躍できる環境整備」、「生活困窮者等の支援」、「福祉施設の整備」、「介護予防の推進」および「認知症対策」の5項目がいずれも3割強となって回答がわかれている。

【選択肢『その他』に記載された取組み】

- ・まちのカフェや老若男女がくつろげるフリースペース(男性、18・19歳、三養基・神埼地区)
- ・福祉は人材確保の為に介護士や保育士など従事者の待遇改善が必要だと感じます(女性、20～29歳、佐賀・小城地区)
- ・インフラの低価格化、基本的な生活に必要なものの金額が高すぎる(女性、40～49歳、佐賀・小城地区)
- ・食料品含めた生活必需品が購入しやすい環境(男性、40～49歳、佐賀・小城地区)
- ・一人暮らしの老人に声かけ(女性、40～49歳、東・西松浦地区)
- ・親の金銭的、時間的なゆとりが必要(男性、40～49歳、東・西松浦地区)
- ・教育(女性、40～49歳、三養基・神埼地区)
- ・ワーク・ライフ・バランスの促進(女性、40～49歳、杵島・藤津地区)
- ・生活の安定(女性、40～49歳、杵島・藤津地区)
- ・介護力、マンパワーの救済並びに充実(男性、50～59歳、佐賀・小城地区)
- ・高齢でも一人で生きていける環境(男性、50～59歳、佐賀・小城地区)
- ・特定の人への支援ではなく、全体レベルの底上げ(女性、50～59歳、佐賀・小城地区)
- ・過度な障害者支援による中小零細者いじめをやめる(男性、50～59歳、佐賀・小城地区)

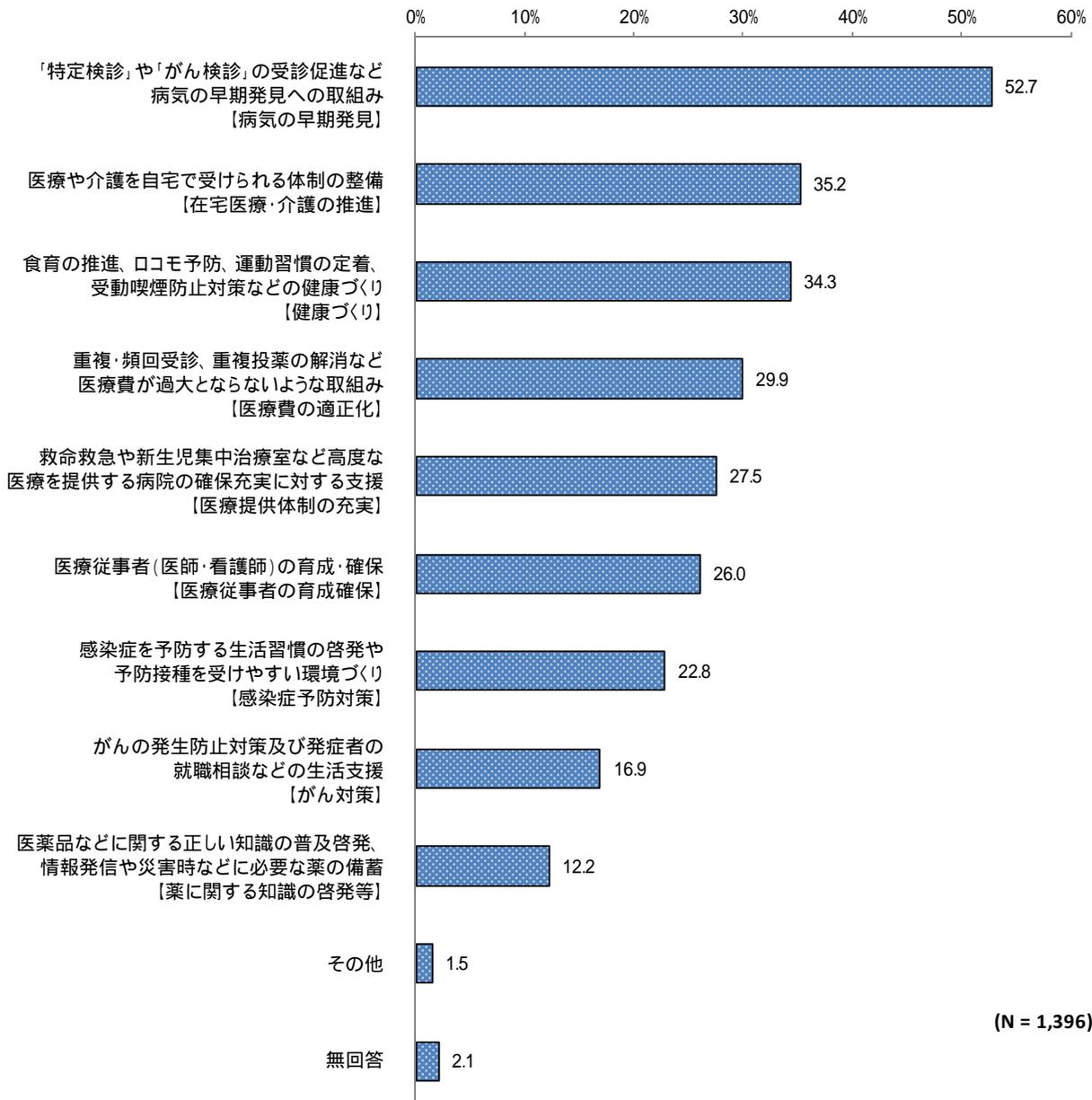
- ・子育て世代と高齢者のみが優遇されている、中間層の救済（女性、50～59歳、杵島・藤津地区）
- ・貧困家庭からの脱却（男性、60～69歳、佐賀・小城地区）
- ・高齢者の自宅自立支援（食事や買い物）（女性、60～69歳、三養基・神埼地区）
- ・サークル、スポーツを楽しめる場（女性、60～69歳、三養基・神埼地区）
- ・無期雇用の確立（男性、60～69歳、杵島・藤津地区）
- ・高齢者が車なしでも暮らしやすいコミュニティの整備、移動販売車や戸別ゴミ収集等（女性、60～69歳、杵島・藤津地区）
- ・すべての年齢層に健康増進に関する学習の機会をつくる（女性、70歳以上、東・西松浦地区）
- ・低所得者が生活しやすい環境整備（女性、70歳以上、三養基・神埼地区）

【寄せられた自由意見】

<p>・佐賀県は全国でも癌の患者が多いにも関わらず、癌の治療中の方々が働いていける所が少ないと思います。また、相談窓口が少ない。治療費の事など、もっと声を聞いていただける環境を作ってほしい。他の病気でも、久留米などは家族に対するケアまで、必要な手続き等も行っていきます。佐賀は良い所です。他県からも移り住む、住みやすい佐賀にしていきたいものです。（女性、40～49歳、佐賀・小城地区）</p>
<p>・精神障害者は見た目は普通の人とはあまり変わらないけど、会話をすると「なんか変な人・・・」みたいにとられていて、本人も家族もイヤな思いをすることが多々あります。障害者に対する理解をすすめて、障害者も暮らしやすい町になってくれたら、ずっと住みたいと思う様になるかもしれません。また、障害者の雇用の場をもう少し増やして頂いて、自立した生活ができる様な町であってほしいです。（女性、40～49歳、東・西松浦地区）</p>
<p>・私は両親の介護がもうちょっとしたら我が身に降りかかってきそうです。正直、不安です。そんな人は周りにはたくさんいます。是非、「佐賀県に住んだらそんな悩みは不要ですよ」と言うような対策があったらうれしいです。高齢化社会はもう目の前です。急いでー。（女性、40～49歳、三養基・神埼地区）</p>
<p>・一人暮らしの高齢者が利用できる宅配スーパーや、見守りが充実してくるといいと思います。また、子どもの孤食を防ぐこと。子どもクラブ活動も少なくなりました。活き活きと子どもの遊ぶ声が聞こえる、良好なコミュニティができればいいと思います。（女性、50～59歳、東・西松浦地区）</p>
<p>・低所得者への支援はもちろん必要であるが、所得に余裕のある世帯が定住し、何世代にもわたって住み続けるような施策を進めた方が、長い目でみて佐賀の活性化・発展につながると思う。（男性、50～59歳、三養基・神埼地区）</p>
<p>・佐賀は住みやすいところだと思います。以前に比べるといろんな取り組みがされており変わってきたと感じています。私は発達障害の子どもを持つ母親です。まだまだこの子供達の理解が進んでいません。今、中学生ですが、高校、社会人になる時にはもっと理解が進み、支援がいき届いている社会になっていればと思います。（女性、50～59歳、三養基・神埼地区）</p>
<p>・60才以上の就職先をふやす。働く所がない。子供の貧困対策だけでなく、高齢者の貧困対策も考えてほしい（女性、60～69歳、東・西松浦地区）</p>
<p>・裕福でなくても安心して暮らしたい。（女性、60～69歳、杵島・藤津地区）</p>
<p>・福祉関係について、ボランティアの力が大きいと思います。トップの方々が高齢化して、先細りの感じです。行政の方で指導していただくと、もっともって皆様が活動しやすいのではないのでしょうか。私自身緊急システムや災害時支援を依頼されていますが、実際に何人もの方々をお手伝いできるだろうか、不安がいつもあります。書類上だけでなく、動けるシステム作りが欲しいですね。（女性、70歳以上、佐賀・小城地区）</p>
<p>・高齢者が益々増加する中で認知症の問題は大切で早急に対応するべきだと痛感いたします。皆がその意識を持つことが大切だと思います。（男性、70歳以上、東・西松浦地区）</p>
<p>・児童虐待の発生を未然に防ぐ取組みを望みます。（男性、60～69歳、三養基・神埼地区）</p>
<p>・介護をしている家族などが話（交流）を出来る所があってもいいのでは。（女性、70歳以上、杵島・藤津地区）</p>

15. 健康的な生活をおくるために必要だと思うこと

問15 健康な生活をおくるためにあなたが必要だと思うことを教えてください。(〇は3つまで)



全体では、「病気の早期発見」が 52.7%と最も高く、次いで「在宅医療・介護の推進」が 35.2%、「健康づくり」が 34.3%となっている。

【エリア別】

エリア	回答件数 (件)	病気の早期 発見	在宅医療・ 介護の推進	健康づくり	医療費の 適正化	医療提供 体制の充実	医療従事者 の育成確保	感染症予防 対策	がん対策	薬に関する 知識の 啓発等	その他	無回答
全 体	1,396	52.7%	35.2%	34.3%	29.9%	27.5%	26.0%	22.8%	16.9%	12.2%	1.5%	2.1%
佐賀・小城地区	494	52.6%	35.2%	31.8%	30.4%	25.1%	26.9%	23.1%	19.0%	14.4%	1.6%	2.0%
東・西松浦地区	324	51.5%	36.4%	32.7%	29.6%	34.9%	25.3%	20.4%	16.4%	10.5%	1.2%	2.2%
三養基・神埼地区	297	57.2%	31.6%	37.4%	31.0%	26.3%	21.5%	26.3%	14.8%	13.1%	1.3%	2.7%
杵島・藤津地区	251	48.6%	37.8%	37.1%	29.5%	25.5%	29.9%	20.3%	15.5%	9.6%	2.0%	1.2%

エリア別にみると、すべてのエリアで「病気の早期発見」が最も高く、5 割弱～6 割弱を占めている。2 番目に高い項目は、<佐賀・小城地区><東・西松浦地区><杵島・藤津地区>では「在宅医療・介護の推進」、<三養基・神埼地区>では「健康づくり」となっている。

【性別】

性別	回答件数 (件)	病気の早期 発見	在宅医療・ 介護の推進	健康づくり	医療費の 適正化	医療提供 体制の充実	医療従事者 の育成確保	感染症予防 対策	がん対策	薬に関する 知識の 啓発等	その他	無回答
全 体	1,396	52.7%	35.2%	34.3%	29.9%	27.5%	26.0%	22.8%	16.9%	12.2%	1.5%	2.1%
男性	665	54.9%	34.9%	31.9%	27.2%	31.0%	29.3%	22.0%	15.5%	12.2%	2.0%	1.4%
女性	707	50.6%	35.6%	36.6%	33.1%	24.8%	22.8%	23.9%	18.0%	12.4%	1.1%	2.3%

性別にみると、<男性><女性>ともに「病気の早期発見」が最も高く、5 割を超えている。また、2 番目に高い項目は、<男性>では「在宅医療・介護の推進」、<女性>では「健康づくり」となっている。

【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	病気の早期 発見	在宅医療・ 介護の推進	健康づくり	医療費の 適正化	医療提供 体制の充実	医療従事者 の育成確保	感染症予防 対策	がん対策	薬に関する 知識の 啓発等	その他	無回答
全 体	1,396	52.7%	35.2%	34.3%	29.9%	27.5%	26.0%	22.8%	16.9%	12.2%	1.5%	2.1%
18～19歳	17	64.7%	11.8%	41.2%	23.5%	17.6%	23.5%	17.6%	23.5%	17.6%	0.0%	5.9%
20～29歳	45	53.3%	24.4%	37.8%	22.2%	42.2%	28.9%	22.2%	15.6%	22.2%	0.0%	0.0%
30～39歳	116	56.0%	31.0%	31.0%	30.2%	35.3%	29.3%	22.4%	12.9%	12.1%	0.9%	2.6%
40～49歳	230	53.5%	27.4%	34.8%	27.8%	30.9%	29.1%	18.7%	21.3%	8.7%	1.7%	0.4%
50～59歳	321	50.2%	31.5%	35.2%	31.5%	24.9%	30.2%	22.4%	21.5%	9.3%	2.5%	1.6%
60～69歳	399	53.6%	39.8%	34.6%	33.8%	26.6%	21.6%	25.3%	14.3%	12.0%	1.3%	2.0%
70歳以上	243	51.4%	46.1%	32.5%	25.9%	24.7%	22.2%	24.3%	12.3%	17.7%	1.2%	3.3%

年齢別にみると、すべての年齢層で「病気の早期発見」が 5 割を超えており、いずれにおいても最も高い。また、<18～19 歳><40～49 歳><50～59 歳>では、「健康づくり」が 2 番目に高く、<20～29 歳><30～39 歳>では「医療提供体制の充実」が、<60～69 歳><70 歳以上>では「在宅医療・介護の推進」が次点となっている。

【家族構成別】

家族構成	回答件数 (件)	病気の早期 発見	在宅医療・ 介護の推進	健康づくり	医療費の 適正化	医療提供 体制の充実	医療従事者 の育成確保	感染症予防 対策	がん対策	薬に関する 知識の 啓発等	その他	無回答
全 体	1,396	52.7%	35.2%	34.3%	29.9%	27.5%	26.0%	22.8%	16.9%	12.2%	1.5%	2.1%
1人世帯	94	54.3%	29.8%	30.9%	27.7%	22.3%	22.3%	26.6%	20.2%	10.6%	0.0%	4.3%
夫婦だけ	308	53.6%	39.9%	34.1%	33.1%	24.0%	24.4%	25.3%	14.9%	13.6%	1.9%	2.3%
2世代	634	52.7%	35.2%	35.3%	28.1%	30.3%	25.9%	22.6%	16.9%	11.4%	1.7%	1.6%
3世代	260	51.5%	32.3%	32.3%	30.0%	28.5%	29.6%	22.7%	18.8%	13.1%	0.8%	0.8%
その他	70	47.1%	38.6%	38.6%	41.4%	21.4%	24.3%	14.3%	11.4%	12.9%	1.4%	5.7%

家族構成別にみると、すべての区分で「病気の早期発見」が 5 割弱～5 割半ばと最も高い。また、<1 人世帯><2 世代>では、「健康づくり」、<夫婦だけ>では、「在宅医療・介護の推進」が 2 番目に高い。<3 世代>では「在宅医療・介護の推進」および「健康づくり」が同率で 2 番目に高くなっている。

【県外居住年数別】

県外居住年数	回答件数 (件)	病気の早期 発見	在宅医療・ 介護の推進	健康づくり	医療費の 適正化	医療提供 体制の充実	医療従事者 の育成確保	感染症予防 対策	がん対策	薬に関する 知識の 啓発等	その他	無回答
全 体	1,396	52.7%	35.2%	34.3%	29.9%	27.5%	26.0%	22.8%	16.9%	12.2%	1.5%	2.1%
ずっと佐賀県に住んでいる(0年)	553	54.2%	36.3%	32.2%	30.7%	26.8%	25.7%	21.3%	17.7%	10.3%	1.4%	1.4%
2年未満	94	50.0%	33.0%	33.0%	37.2%	24.5%	29.8%	18.1%	19.1%	13.8%	2.1%	2.1%
2～5年未満	202	52.0%	31.7%	35.6%	27.7%	32.7%	25.7%	23.3%	22.3%	11.4%	1.0%	3.0%
5～10年未満	152	49.3%	34.9%	35.5%	28.3%	26.3%	27.0%	26.3%	11.8%	17.8%	0.7%	1.3%
10年以上	347	52.2%	35.4%	36.0%	29.1%	29.1%	25.6%	25.4%	14.1%	12.7%	2.0%	2.6%

県外居住年数別にみると、すべての区分で「病気の早期発見」が約 5 割～5 割半ばを占めて最も高い。また、2 番目に高い項目は、<ずっと佐賀県に住んでいる(0年)>では「在宅医療・介護の推進」、<2年未満>では「医療費の適正化」、<2～5年未満><5～10年未満><10年以上>では「健康づくり」となっている。

【現在の満足度(問9⑥)との関連】

現在の満足度	回答件数 (件)	病気の早期 発見	在宅医療・ 介護の推進	健康づくり	医療費の 適正化	医療提供 体制の充実	医療従事者 の育成確保	感染症予防 対策	がん対策	薬に関する 知識の 啓発等	その他	無回答
全 体	1,396	52.7%	35.2%	34.3%	29.9%	27.5%	26.0%	22.8%	16.9%	12.2%	1.5%	2.1%
満足派	666	55.7%	33.9%	37.4%	31.2%	25.4%	26.6%	25.5%	17.1%	13.1%	0.9%	1.2%
どちらともいえない	442	52.0%	35.5%	32.8%	28.1%	25.8%	23.5%	23.3%	16.3%	11.1%	2.0%	2.3%
不満派	266	47.7%	38.7%	30.5%	29.7%	36.1%	30.8%	16.5%	17.3%	10.9%	2.3%	1.9%

現在の満足度との関連をみると、<満足派><不満派>ともに「病気の早期発見」が最も高いが、その割合は<満足派>が<不満派>に比べて 8.0 ポイント高い。また、<満足派>では「健康づくり」、「感染症予防対策」の割合も<不満派>に比べて約 7～9 ポイント高くなっている。一方、<不満派>では「医療提供体制の充実」の割合が<満足派>に比べて 10.7 ポイント高くなっている。なお、<どちらともいえない>においては、「病気の早期発見」が 5 割強を占めて最も高い。

属性別に分析すると、不満派が最も多い<50～59歳>では、他の年齢層と同様に「病気の早期発見」が約 5 割を占めて最も高く、次いで「健康づくり」が 3 割半ばと続いているが、他の年齢層に比べると「医療従事者の育成確保」が唯一 3 割を超えて比較的高くなっている。また、不満派が県平均を上回る<3世代>の世帯においても、他の区分と同様に「病気の早期発見」が 5 割強で最も高く、次いで「在宅医療・介護の推進」および「健康づくり」がともに 3 割強と同率で続いているが、他の区分に比べると「医療従事者の育成確保」も約 3 割と比較的高くなっている。

【選択肢『その他』に記載された取組み】

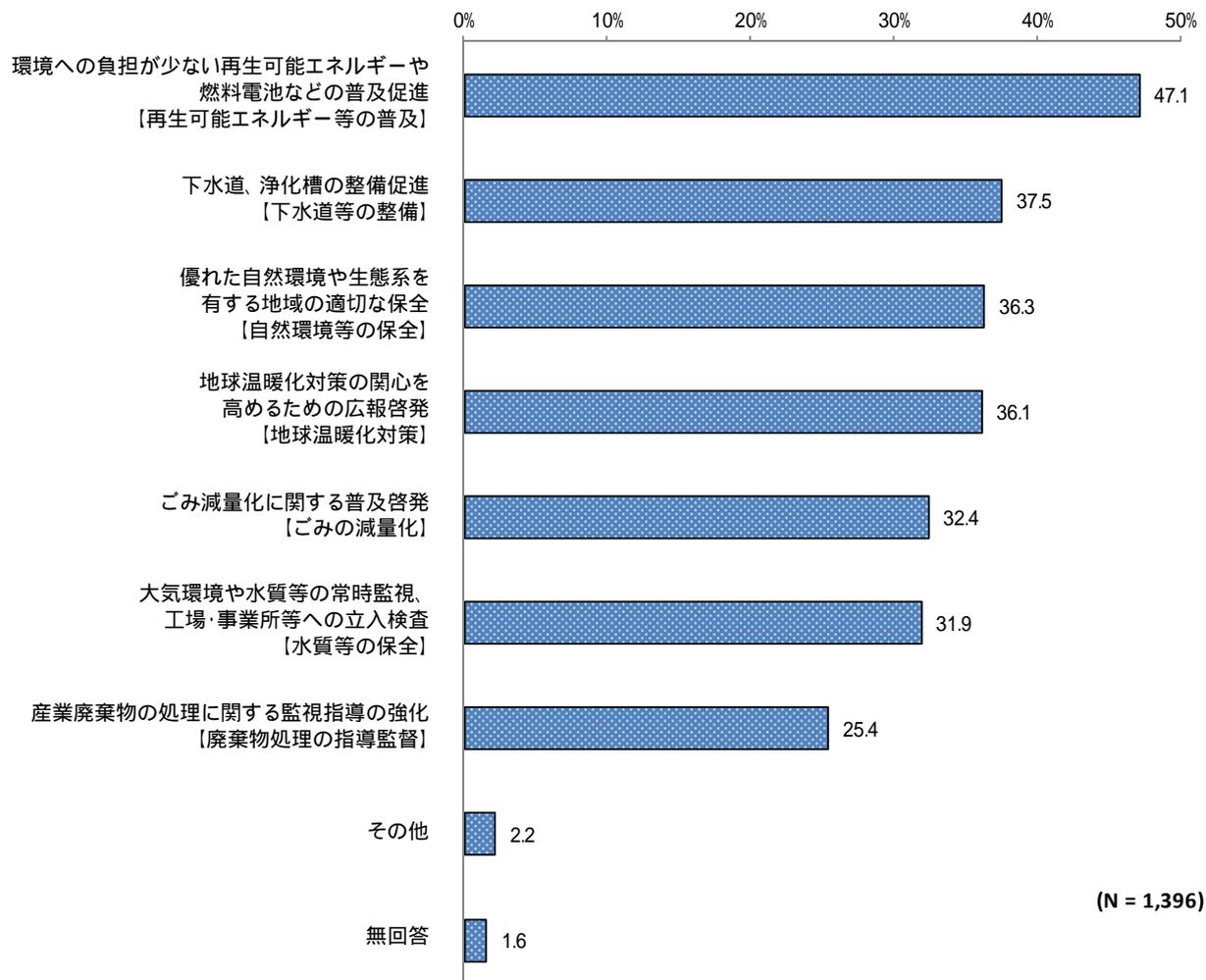
- ・気軽に健康について相談できる場や未病対策できる場(女性、30～39歳、佐賀・小城地区)
- ・近くの医療機関の診察時間を延ばしてもらいたい(女性、40～49歳、杵島・藤津地区)
- ・体だけでなく、心の健康も考えないといけない(女性、40～49歳、三養基・神埼地区、他2件)
- ・ウォーキングや簡単、手軽に運動できる施設を増やす(男性、50～59歳、佐賀・小城地区、他1件)
- ・災害発生時等に住民が自発的に参加できる施設整備等(男性、50～59歳、佐賀・小城地区)
- ・癌などの発症で就労差別が起きないように指導を。またはそうした方々を積極的に雇用するような意識づくり(男性、50～59歳、佐賀・小城地区)
- ・佐賀には退院から自宅へ戻るための支援や中間施設がない(女性、50～59歳、三養基・神埼地区)
- ・若い世代の女性への乳がん検診の助成または無償化(女性、50～59歳、三養基・神埼地区)
- ・医療費の補助(女性、50～59歳、杵島・藤津地区)
- ・外出(女性、60～69歳、佐賀・小城地区)
- ・各署の救急車の増隊(男性、60～69歳、杵島・藤津地区)
- ・タバコ、飲酒、暴食への心得(男性、70歳以上、東・西松浦地区)
- ・個人で行う、健康維持活動の支援(男性、70歳以上、東・西松浦地区)
- ・儲け主義に走らない医療機関の充実(男性、70歳以上、杵島・藤津地区)

【寄せられた自由意見】

<p>・佐賀市内が活気があるのは理解できるが、それ以外は過疎化が目立ちます。伊万里市では休日診療所は3歳未満は診てもらえませんので、唐津市の病院を受診するしかないのですが具合の悪い小さな子供を1時間近く車で移動させるのはとても苦痛です。(女性、30～39歳、東・西松浦地区)</p>
<p>・他県より子ども医療費が高いので、見直すことができれば。高齢者が増え、在宅でのサポートが国として進められている割には、まだまだ体制が整っていない気がする。訪問看護、訪問リハや認知症予防、介護予防など、高齢者自身が抵抗なく参加できるような体制と雰囲気づくりが一部だけではなく、大々的に必要なのではないか。(女性、30～39歳、杵島・藤津地区)</p>
<p>・がん検診、人間ドックなどを誰でも受けやすいようにしてほしい。(女性、40～49歳、東・西松浦地区)</p>
<p>・高齢者などの介護施設や福祉施設の充実・拡大をお願いします。(女性、50～59歳、佐賀・小城地区)</p>
<p>・より健康寿命をのばすための運動、食物、などのサークルを増やして欲しい。(男性、60～69歳、佐賀・小城地区)</p>
<p>・自宅介護の方への福祉のサービス向上。(女性、60～69歳、佐賀・小城地区)</p>
<p>・仕事のみでスポーツもしたことがないので、体力低下が心配です。簡単な体力維持できるスポーツでもあればいいですね。子供だったら、おためし参加もありますが、老人向けにもあったらいいなと思います。まだ、孫の育児も少しは手伝いたいし、不定期でも参加できるスポーツのおためし参加も広報でお知らせがあるといいですね。(女性、60～69歳、佐賀・小城地区)</p>
<p>・地域で行われる子宮ガン、乳ガン検診は2年に1度しか受けることができません。毎年受けないと手遅れになるのではと心配でなりません。子宮ガンは産婦人科で受けることもできるのですが、乳ガン検診をされている病院は近くにはありません。佐賀県民が全員毎年子宮ガン検診と乳ガン検診を受けることができる取組みを切に願います。(女性、60～69歳、三養基・神埼地区)</p>
<p>・生活しやすい環境は大事だとは思いますが、超高齢化社会となり、医療費や介護保険が上がるのは予測されることであるが、職業上薬剤の飲み残しや薬剤の廃棄が多いのにびっくりするのが現状です。佐賀県だけではない現状ですが、土台をかえていかないといいと思います。(女性、60～69歳)</p>
<p>・高齢者福祉に力を入れてほしい。地域巡回バスで買い物や受診等を利用しやすく、元気な高齢者を活用するシステム作り。(女性、70歳以上、佐賀・小城地区)</p>

16 . 環境保全のために必要だと思うこと

問 16 環境（地球、自然、生活など）を守っていくためにあなたが必要だと思うことを教えてください。



全体では、「再生可能エネルギー等の普及」が 47.1%と最も高く、次いで「下水道等の整備」が 37.5%、「自然環境等の保全」が 36.3%となっている。

【エリア別】

エリア	回答件数 (件)	再生可能エネルギー等の普及	下水道等の整備	自然環境等の保全	地球温暖化対策	ごみの減量化	水質等の保全	廃棄物処理の指導監督	その他	無回答
全体	1,396	47.1%	37.5%	36.3%	36.1%	32.4%	31.9%	25.4%	2.2%	1.6%
佐賀・小城地区	494	41.1%	39.1%	38.5%	34.4%	32.0%	35.8%	24.1%	2.0%	2.0%
東・西松浦地区	324	52.5%	32.7%	36.4%	35.8%	33.3%	32.4%	29.0%	2.2%	1.2%
三養基・神埼地区	297	48.8%	35.4%	31.3%	39.7%	35.0%	30.6%	27.3%	3.4%	1.3%
杵島・藤津地区	251	49.4%	42.6%	36.3%	34.7%	30.7%	26.3%	20.3%	1.6%	1.2%

エリア別にみると、すべてのエリアで「再生可能エネルギー等の普及」が 4 割強～5 割強となり、最も高い。また、<佐賀・小城地区><杵島・藤津地区>では「下水道等の整備」が、<東・西松浦地区>では「自然環境等の保全」が、<三養基・神埼地区>では「地球温暖化対策」がそれぞれ 2 番目に高くなっている。

【性別】

性別	回答件数 (件)	再生可能エネルギー等の普及	下水道等の整備	自然環境等の保全	地球温暖化対策	ごみの減量化	水質等の保全	廃棄物処理の指導監督	その他	無回答
全体	1,396	47.1%	37.5%	36.3%	36.1%	32.4%	31.9%	25.4%	2.2%	1.6%
男性	665	47.5%	36.5%	38.0%	32.8%	29.0%	34.9%	28.3%	2.6%	1.1%
女性	707	47.0%	37.6%	35.1%	39.3%	36.1%	29.3%	22.8%	2.0%	1.7%

性別にみると、<男性> <女性>ともに「再生可能エネルギー等の普及」が 5 割弱となり、最も高い。次いで、<男性>では「自然環境等の保全」が 38.0%、<女性>では「地球温暖化対策」が 39.3%となっている。

【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	再生可能エネルギー等の普及	下水道等の整備	自然環境等の保全	地球温暖化対策	ごみの減量化	水質等の保全	廃棄物処理の指導監督	その他	無回答
全体	1,396	47.1%	37.5%	36.3%	36.1%	32.4%	31.9%	25.4%	2.2%	1.6%
18・19歳	17	47.1%	35.3%	41.2%	17.6%	41.2%	17.6%	5.9%	0.0%	5.9%
20～29歳	45	51.1%	35.6%	42.2%	24.4%	42.2%	35.6%	15.6%	2.2%	0.0%
30～39歳	116	50.0%	46.6%	31.9%	25.9%	31.9%	32.8%	20.7%	3.4%	1.7%
40～49歳	230	47.4%	38.3%	33.0%	31.7%	27.4%	32.2%	22.6%	3.5%	0.4%
50～59歳	321	51.1%	36.8%	43.6%	32.4%	29.6%	30.5%	24.0%	2.2%	1.2%
60～69歳	399	46.9%	33.3%	34.6%	40.4%	37.6%	32.3%	27.8%	1.8%	1.5%
70歳以上	243	39.9%	38.7%	34.2%	46.5%	31.3%	32.9%	31.7%	1.6%	2.5%

年齢別にみると、<70 歳以上>では「地球温暖化対策」が 46.5%と最も高い。それ以外の年齢層では、「再生可能エネルギー等の普及」がいずれも 5 割前後を占めて、最も高くなっている。

【県外居住年数別】

県外居住年数	回答件数 (件)	再生可能エネルギー等の普及	下水道等の整備	自然環境等の保全	地球温暖化対策	ごみの減量化	水質等の保全	廃棄物処理の指導監督	その他	無回答
全体	1,396	47.1%	37.5%	36.3%	36.1%	32.4%	31.9%	25.4%	2.2%	1.6%
ずっと佐賀県に住んでいる(0年)	553	44.3%	36.7%	34.4%	37.4%	32.5%	31.1%	25.1%	1.3%	1.6%
2年未満	94	45.7%	33.0%	42.6%	42.6%	36.2%	27.7%	25.5%	2.1%	0.0%
2～5年未満	202	52.0%	34.2%	40.6%	32.2%	33.7%	31.7%	21.8%	2.0%	2.0%
5～10年未満	152	51.3%	42.8%	36.2%	29.6%	31.6%	28.9%	27.0%	3.9%	0.7%
10年以上	347	48.7%	38.9%	36.6%	36.6%	30.0%	37.2%	27.1%	2.9%	2.0%

県外居住年数別にみると、いずれの区分でも「再生可能エネルギー等の普及」が 4 割半ば～5 割強となり、最も高い。また、2 番目に高い項目は、<ずっと佐賀県に住んでいる(0年)>で「地球温暖化対策」、<2年未満>で「自然環境等の保全」および「地球温暖化対策」が同率で続き、<2～5年未満>では「自然環境等の保全」、<5～10年未満><10年以上>では「下水道等の整備」がそれぞれ続いている。

【現在の満足度(問9⑦)との関連】

現在の満足度	回答件数 (件)	再生可能エネルギー等の普及	下水道等の整備	自然環境等の保全	地球温暖化対策	ごみの減量化	水質等の保全	廃棄物処理の指導監督	その他	無回答
全体	1,396	47.1%	37.5%	36.3%	36.1%	32.4%	31.9%	25.4%	2.2%	1.6%
満足派	432	47.2%	38.7%	36.6%	37.3%	33.1%	32.9%	25.7%	0.7%	1.2%
どちらともいえない	686	47.5%	36.4%	35.9%	37.0%	33.5%	31.0%	24.2%	1.9%	1.0%
不満派	256	47.3%	39.1%	37.9%	33.2%	29.3%	34.0%	29.3%	5.9%	1.2%

現在の満足度との関連をみると、<満足派> <不満派>ともに「再生可能エネルギー等の普及」が 5 割近くを占めて最も高い。また、<満足派>では「地球温暖化対策」、「ごみの減量化」の割合が<不満派>に比べて約 4 ポイント高く、一方、<不満派>では「産廃物処理の指導監督」の割合が<満足派>に比べて 3.6 ポイント高くなっている。なお、<どちらともいえない>においても、「再生可能エネルギー等の普及」が 5 割近くを占めて最も高くなっている。

属性別に分析すると、満足度が比較的低い<東・西松浦地区>では「再生可能エネルギー等の普及」が最も高く、他のエリアと比べても唯一 5 割を超えて特に高くなっている。また、年齢別にみると、不満派が最も多い<50～59 歳>では必要だと思う取組みとしては、「再生可能エネルギーの普及」が他の年齢層に比べても高い 5 割強を占め、次いで「自然環境等の保全」も同様に高い 4 割強となっており、これらの割合は県平均を約 4～7 ポイント上回っている。

【選択肢『その他』に記載された取組み】

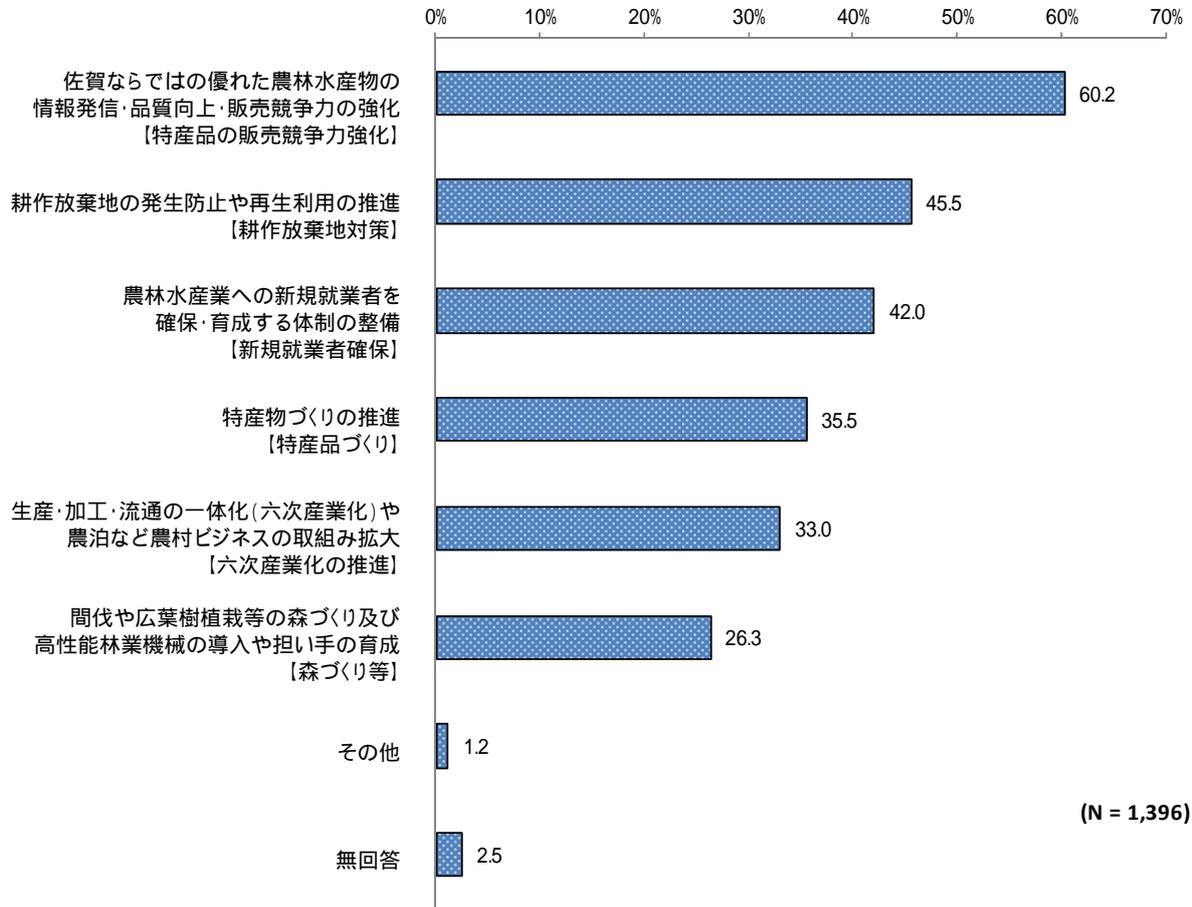
- ・原発の早期再稼働（男性、20～29 歳、三養基・神埼地区）
- ・弁当等のプラスチック等、店舗等でのリサイクルできる素材を増やす（女性、30～39 歳、佐賀・小城地区）
- ・空いている土地への緑化活動、街路樹の増加（女性、30～39 歳、佐賀・小城地区）
- ・リサイクル企業を増やし、徹底した分別を行う（女性、30～39 歳、東・西松浦地区）
- ・ゴミとなるモノを作り出す企業への規制（男性、30～39 歳、三養基・神埼地区）
- ・野焼きを中止すべき（男性、40～49 歳、佐賀・小城地区）
- ・ゴミ焼きをする家庭を減らす取組み（女性、40～49 歳、佐賀・小城地区）
- ・不法投棄等の厳罰化（男性、40～49 歳、東・西松浦地区）
- ・教育（女性、40～49 歳、三養基・神埼地区）
- ・電磁波対策（女性、40～49 歳、三養基・神埼地区）
- ・自分が住む地域がどうなっているのかを知ること（男性、40～49 歳、三養基・神埼地区）
- ・原子力発電所の廃止（女性、40～49 歳、三養基・神埼地区）
- ・地球温暖化に対する地球規模での取組み（男性、50～59 歳、佐賀・小城地区）
- ・緑化運動の推進と商業施設の削減（女性、50～59 歳、東・西松浦地区）
- ・農業の多面的価値をもっと重要視する。農業や林業が環境を育んでいる事を忘れないでほしい（男性、50～59 歳、杵島・藤津地区）
- ・森林伐採の即停止（男性、50～59 歳、杵島・藤津地区）
- ・道徳心（男性、50～59 歳、杵島・藤津地区）
- ・ポイ捨てによる河川へのゴミ流入、河川から海へのゴミ（プラスチック等）の流れ込みを食い止めるべき。魚や鳥が誤飲し生体への悪影響が懸念される（男性、60～69 歳、三養基・神埼地区）
- ・ディスプレイ型プラスチック類を紙へ移行（男性、60～69 歳、杵島・藤津地区）
- ・原発を出来るだけ早く無しにする（女性、70 歳以上、東・西松浦地区）
- ・ほごり、ゴミの焼却を自宅でしない（女性、70 歳以上、三養基・神埼地区）

【寄せられた自由意見】

・工場から出される有害物質の抜き打ち検査及び工場への指導。（男性、30～39 歳、杵島・藤津地区）
・町をきれいに。犬、ネコ、殺処分ゼロをめざしますアピール。子供、動物、老人が住みやすければ若い夫婦が移住してくれるかも。（女性、40～49 歳、東・西松浦地区）
・麦刈りの後、田に火を付けてもやすのは禁じられていると思いますが、未だに煙で前が見えないくらい行われています。臭いや、息苦しさのため窓もあけられないので困っています。（女性、50～59 歳、佐賀・小城地区）
・多数のクレークがあるが、ゴミの放置、浮遊。牛蛙や鯉が住み付き、鳴き声や、水草等を食べる音がかなりうるさい。カメや雷魚やヘビなども見られる。農家が使用していると思うが、住宅地が多くなり、管理が悪い。県下一斉美化で掃除するのは私達近所の住民。どうにかしてほしい。（女性、50～59 歳、杵島・藤津地区）
・景観について。植栽や花壇にせっかく税金を使い美化をしようとする中で、色合いのセンスがあまりにも醜悪すぎる。県庁前の植栽のライトアップの色等は嫌悪感すら憶える。また、植栽や花壇等の維持管理にも予算をつけて、植っ放しにならない様、成長後の充実した美しさを想定して欲しい。町並みにある色は小さい子供等の情操教育にきつと役立つ筈。目立つ、目を引く事にばかり力を注がず、真の美しさが人々の心を打つ街並みこそ佐賀の誇りになると思う。（女性、70 歳以上、佐賀・小城地区）

17. 農林水産業の振興のために必要だと思うこと

問 17 農林水産業の振興のためにあなたが必要だと思うことを教えてください。(〇は3つまで)



全体では、「特産品の販売競争力強化」が 60.2%と最も高く、次いで「耕作放棄地対策」が 45.5%、「新規就業者確保」が 42.0%となっている。

【エリア別】

エリア	回答件数 (件)	特産品の販売競争力強化	耕作放棄地対策	新規就業者確保	特産品づくり	六次産業化の推進	森づくり等	その他	無回答
全体	1,396	60.2%	45.5%	42.0%	35.5%	33.0%	26.3%	1.2%	2.5%
佐賀・小城地区	494	62.3%	45.3%	43.1%	34.6%	32.4%	25.7%	0.6%	2.8%
東・西松浦地区	324	59.6%	46.3%	40.4%	34.6%	32.7%	29.3%	1.9%	2.5%
三養基・神埼地区	297	58.6%	45.8%	40.4%	36.4%	32.0%	26.6%	1.0%	2.7%
杵島・藤津地区	251	60.2%	45.0%	41.8%	37.8%	35.1%	21.9%	2.0%	1.2%

エリア別にみると、すべてのエリアにおいて「特産品の販売競争力強化」が 6 割前後と最も高い。また、すべてのエリアで「耕作放棄地対策」が 4 割半ばと 2 番目に高く、エリアによる大きな差はみられない。

【性別】

性別	回答件数 (件)	特産品の販売 競争力強化	耕作放棄地 対策	新規就業者 確保	特産品づくり	六次産業化の 推進	森づくり等	その他	無回答
全 体	1,396	60.2%	45.5%	42.0%	35.5%	33.0%	26.3%	1.2%	2.5%
男性	665	60.6%	49.8%	41.7%	34.0%	36.7%	24.8%	1.8%	2.0%
女性	707	60.5%	41.7%	42.0%	37.2%	29.3%	27.3%	0.7%	2.5%

性別にみると、<男性> <女性>ともに「特産品の販売競争力強化」が約 6 割と最も高い。また、<男性>では「耕作放棄地対策」が 49.8%、<女性>では「新規就業者確保」が 42.0%で 2 番目に高い。

【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	特産品の販売 競争力強化	耕作放棄地 対策	新規就業者 確保	特産品づくり	六次産業化の 推進	森づくり等	その他	無回答
全 体	1,396	60.2%	45.5%	42.0%	35.5%	33.0%	26.3%	1.2%	2.5%
18・19歳	17	47.1%	17.6%	41.2%	58.8%	29.4%	11.8%	0.0%	5.9%
20～29歳	45	71.1%	28.9%	40.0%	51.1%	46.7%	22.2%	0.0%	0.0%
30～39歳	116	73.3%	40.5%	33.6%	40.5%	30.2%	20.7%	0.9%	0.9%
40～49歳	230	60.9%	40.0%	45.7%	35.7%	35.2%	22.6%	0.9%	1.3%
50～59歳	321	59.8%	44.2%	41.7%	36.1%	33.3%	26.2%	0.9%	1.9%
60～69歳	399	57.9%	53.4%	40.9%	32.6%	34.8%	25.6%	1.5%	2.0%
70歳以上	243	58.4%	46.9%	44.0%	32.9%	26.3%	34.2%	2.1%	5.3%

年齢別にみると、<18・19 歳>を除く年齢層では「特産品の販売競争力強化」が 6 割弱～7 割強と最も高くなっている。

【県外居住年数別】

県外居住年数	回答件数 (件)	特産品の販売 競争力強化	耕作放棄地 対策	新規就業者 確保	特産品づくり	六次産業化の 推進	森づくり等	その他	無回答
全 体	1,396	60.2%	45.5%	42.0%	35.5%	33.0%	26.3%	1.2%	2.5%
ずっと佐賀県に住んでいる(0年)	553	59.0%	46.5%	41.0%	36.0%	30.0%	22.8%	1.1%	2.2%
2年未満	94	54.3%	44.7%	55.3%	34.0%	30.9%	28.7%	0.0%	0.0%
2～5年未満	202	61.9%	45.5%	36.1%	34.2%	36.6%	27.7%	2.5%	3.5%
5～10年未満	152	63.8%	48.0%	44.1%	38.8%	38.8%	25.0%	1.3%	2.0%
10年以上	347	62.5%	44.7%	41.8%	34.9%	32.9%	30.8%	0.9%	2.6%

県外居住年数別にみると、<2 年未満>では「新規就業者確保」が 55.3%と最も高い。それ以外の区分では「特産品の販売競争力強化」がいずれも 6 割前後と最も高くなっている。

【職業別】

職業	回答件数 (件)	特産品の販売 競争力強化	耕作放棄地 対策	新規就業者 確保	特産品づくり	六次産業化の 推進	森づくり等	その他	無回答
全 体	1,396	60.2%	45.5%	42.0%	35.5%	33.0%	26.3%	1.2%	2.5%
農林漁業	80	67.5%	43.8%	55.0%	37.5%	38.8%	11.3%	2.5%	1.3%
商工・サービス業	131	48.1%	45.0%	46.6%	42.7%	33.6%	28.2%	2.3%	2.3%
自由業	57	77.2%	36.8%	31.6%	36.8%	33.3%	31.6%	0.0%	1.8%
会社の正社員	355	62.3%	47.3%	40.8%	34.9%	32.4%	22.5%	0.0%	2.0%
会社の非正規社員	177	57.6%	46.9%	41.2%	35.6%	37.3%	24.3%	2.3%	0.6%
官公庁の正規職員	73	61.6%	38.4%	43.8%	27.4%	42.5%	35.6%	2.7%	1.4%
官公庁の非正規職員	24	75.0%	33.3%	37.5%	33.3%	33.3%	20.8%	0.0%	4.2%
学生	25	48.0%	20.0%	52.0%	48.0%	44.0%	16.0%	0.0%	4.0%
専業主婦、主夫	212	60.8%	47.2%	40.6%	38.2%	24.1%	28.8%	0.9%	3.8%
その他の無職	208	61.5%	48.6%	38.0%	32.2%	31.7%	32.7%	1.4%	3.4%

職業別にみると、<学生>以外の区分では「特産品の販売競争力強化」が 5 割弱～7 割半ばと最も高くなっている。

【現在の満足度（問9⑧）との関連】

現在の満足度	回答件数 (件)	特産品の販売 競争力強化	耕作放棄地 対策	新規就業者 確保	特産品づくり	六次産業化の 推進	森づくり等	その他	無回答
全体	1,396	60.2%	45.5%	42.0%	35.5%	33.0%	26.3%	1.2%	2.5%
満足派	357	66.4%	42.6%	43.1%	36.1%	37.3%	23.2%	0.8%	2.2%
どちらともいえない	667	61.0%	43.8%	41.1%	37.0%	30.3%	26.2%	1.0%	2.2%
不満派	350	54.0%	52.9%	43.1%	32.9%	34.9%	30.3%	2.0%	0.9%

現在の満足度との関連をみると、<満足派> <不満派>ともに「特産品の販売競争力強化」が最も高いが、その割合は<満足派>が<不満派>に比べて12.4ポイント高くなっている。一方、<不満派>では「耕作放棄地対策」、「森づくり等」の割合が<満足派>に比べて約7～10ポイント高くなっている。なお、<どちらともいえない>においても、「特産品の販売競争力強化」が6割強と最も高くなっている。

属性別に分析すると、<東・西松浦地区>では唯一不満派が3割を超えるなど、満足度が低いが、他のエリアと同様に「特産品の販売競争力強化」が約6割と最も高く、次いで「耕作放棄地対策」、「新規就業者確保」が約4割～4割半ばで続いており、割合的にも全体と大きな差はみられない。職業別にみると、<農林漁業>では不満派が唯一4割強を占めており、他の職業に比べて不満派が多いが、必要だと思う取組みとしては他の職業と同様に「特産品の販売競争力強化」が最も高く、7割弱となっている。このほか、「新規就業者確保」の5割半ばや「六次産業化の推進」の4割弱も他の職業に比べて比較的高い。

【選択肢『その他』に記載された取組み】

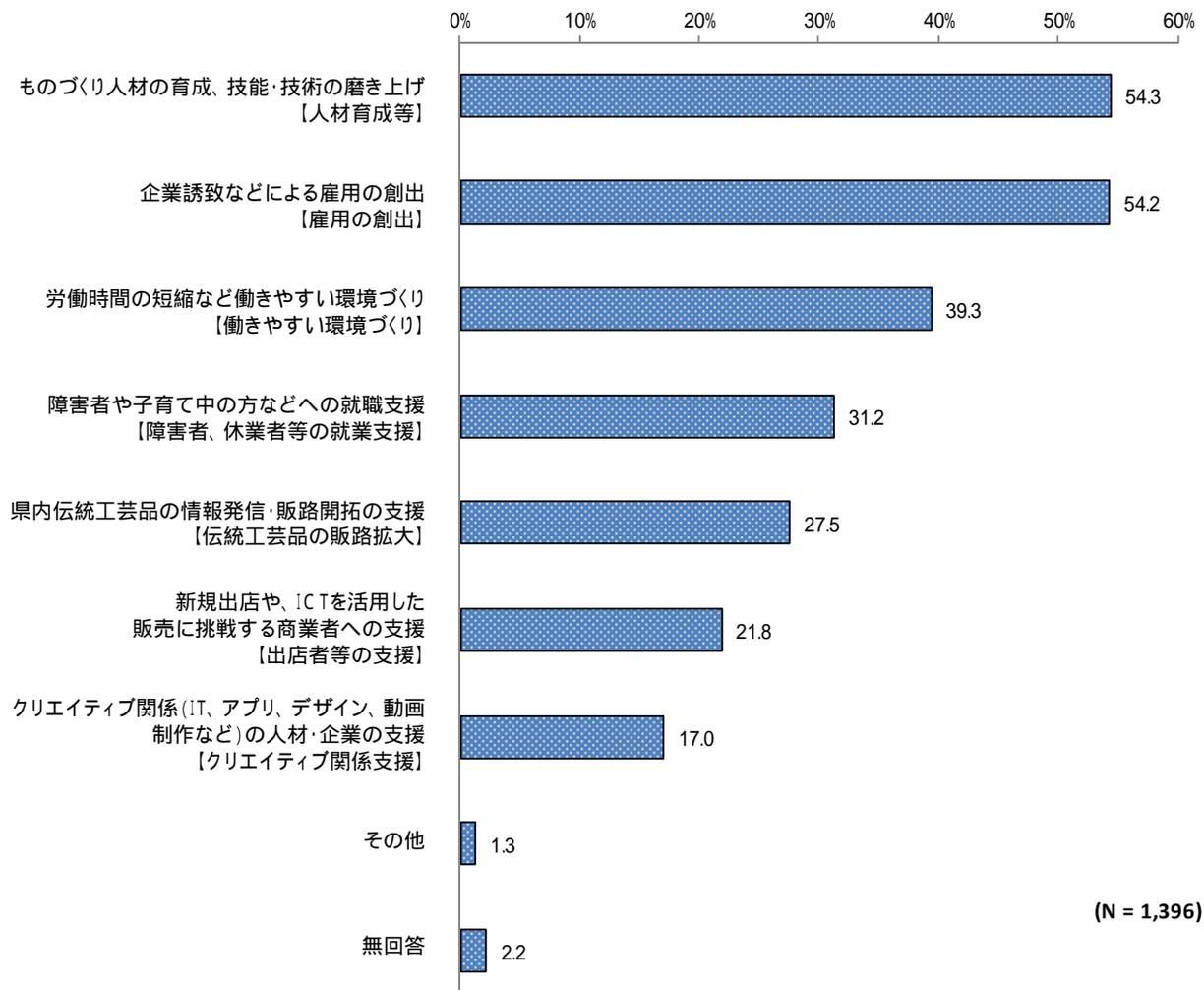
- ・若者の関心（女性、30～39歳、東・西松浦地区）
- ・PR力（女性、40～49歳、三養基・神埼地区）
- ・減反政策の見直し（男性、40～49歳、杵島・藤津地区）
- ・研究費（品種改良）増額（男性、50～59歳、佐賀・小城地区）
- ・新品種の開発（男性、50～59歳、東・西松浦地区）
- ・いわゆる「3K」だけでもわかる農業を発信し、農業のイメージを変える（男性、50～59歳、杵島・藤津地区）
- ・公共施設用地買収後の周りの土地管理を所有者に促して欲しい（女性、60～69歳、東・西松浦地区）
- ・地主がいなく管理が出来ていないので、期限を決め、市や県が売却出来るような法改正を望む（男性、60～69歳、東・西松浦地区）
- ・イノシシ被害を少なくする（男性、70歳以上、佐賀・小城地区）
- ・収益が出るまで長くかかるので長期資金の支えが必要（男性、70歳以上、三養基・神埼地区）
- ・非農地、森林所有者でも農林業に簡単に取組める環境づくり、専業農家の強化（男性、70歳以上、杵島・藤津地区）

【寄せられた自由意見】

・耕作放棄地を有効活用してほしい。放棄された茶畑をエネルギー再利用のため、ソーラーパネルを誘致して欲しい。（女性、40～49歳、東・西松浦地区）
・祖父達が戦後植林した杉、檜が売れる事なく、4世代目に引き渡されようとしているのが現状です。販売出来る様に国に働きかけをお願いします。（男性、50～59歳、東・西松浦地区）
・農業が働きがいのある仕事になってほしい！（男性、60～69歳、佐賀・小城地区）
・林業の仕事をしております。もっともっと林業に関する情報等、力を入れていただきたい。農業、漁業の様に！！（男性、60～69歳、三養基・神埼地区）
・子供や孫たちが進んで農業を継いで行ける様な農業が魅力的であり、楽しい事を知り、学習出来る様な県政を目指してほしい。（男性、70歳以上、杵島・藤津地区）

18. 商工業・サービス業の振興のために必要だと思うこと

問 18 商工業・サービス業の振興のためにあなたが必要だと思うことを教えてください。（〇は3つまで）



全体では、「人材育成等」が 54.3%と最も高く、次いで「雇用の創出」が 54.2%、「働きやすい環境づくり」が 39.3%となっている。

【エリア別】

エリア	回答件数 (件)	人材育成等	雇用の創出	働きやすい環境づくり	障害者、休業者等の就業支援	伝統工芸品の販路拡大	出店者等の支援	クリエイティブ関係支援	その他	無回答
全体	1,396	54.3%	54.2%	39.3%	31.2%	27.5%	21.8%	17.0%	1.3%	2.2%
佐賀・小城地区	494	52.6%	54.0%	39.7%	28.1%	28.3%	23.1%	16.2%	1.6%	1.8%
東・西松浦地区	324	55.2%	57.1%	36.1%	33.3%	29.3%	21.0%	16.4%	0.6%	2.2%
三養基・神埼地区	297	56.9%	52.2%	39.7%	37.4%	23.9%	19.9%	16.2%	1.7%	3.0%
杵島・藤津地区	251	51.0%	53.0%	42.6%	28.3%	27.1%	22.3%	20.7%	1.2%	1.2%

エリア別にみると、<三養基・神埼地区>では、「人材育成等」が 56.9%と最も高い。それ以外のエリアでは「雇用の創出」が最も高く 5割半ばを占めている。すべてのエリアにおいて、「人材育成等」および「雇用の創出」がともに5割を超えている。

【性別】

性別	回答件数 (件)	人材育成等	雇用の創出	働きやすい環境づくり	障害者、休業者等の就業支援	伝統工芸品の販路拡大	出店者等の支援	クリエイティブ関係支援	その他	無回答
全体	1,396	54.3%	54.2%	39.3%	31.2%	27.5%	21.8%	17.0%	1.3%	2.2%
男性	665	56.4%	57.4%	37.0%	26.2%	25.6%	26.6%	20.2%	1.5%	1.2%
女性	707	52.3%	51.2%	41.7%	35.9%	29.6%	17.1%	14.3%	1.1%	2.5%

性別にみると、<男性>では「雇用の創出」が 57.4%と最も高く、<女性>では「人材育成等」が 52.3%と最も高くなっている。<男性> <女性>ともに、「雇用の創出」および「人材育成等」が 5 割を超えている。また、<女性>では「障害者、休業者等の就業支援」が 35.9%と<男性>を約 10 ポイント上回っている。

【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	人材育成等	雇用の創出	働きやすい環境づくり	障害者、休業者等の就業支援	伝統工芸品の販路拡大	出店者等の支援	クリエイティブ関係支援	その他	無回答
全体	1,396	54.3%	54.2%	39.3%	31.2%	27.5%	21.8%	17.0%	1.3%	2.2%
18・19歳	17	35.3%	35.3%	41.2%	52.9%	5.9%	23.5%	29.4%	0.0%	5.9%
20～29歳	45	60.0%	44.4%	57.8%	22.2%	33.3%	26.7%	28.9%	0.0%	0.0%
30～39歳	116	48.3%	43.1%	49.1%	41.4%	20.7%	29.3%	19.8%	1.7%	0.9%
40～49歳	230	54.3%	53.0%	41.7%	27.4%	22.6%	20.4%	25.2%	1.3%	0.9%
50～59歳	321	52.0%	53.9%	42.4%	29.0%	25.2%	23.7%	15.6%	1.2%	1.2%
60～69歳	399	57.4%	59.9%	36.6%	29.6%	30.3%	18.3%	13.5%	1.5%	2.0%
70歳以上	243	55.1%	54.7%	29.6%	35.4%	34.2%	21.0%	13.6%	1.2%	4.5%

年齢別にみると、<18・19 歳>では「障害者や、休業者等の就職支援」が 52.9%と最も高く、<20～29 歳> <40～49 歳> <70 歳以上>では「人材育成等」がいずれも 5 割を超えており、最も高い。<50～59 歳> <60～69 歳>では「雇用の創出」が 5 割半ば～約 6 割と最も高くなっている。また、<30～39 歳>では「働きやすい環境づくり」が約 5 割と最も高くなっている。

【県外居住年数別】

県外居住年数	回答件数 (件)	人材育成等	雇用の創出	働きやすい環境づくり	障害者、休業者等の就業支援	伝統工芸品の販路拡大	出店者等の支援	クリエイティブ関係支援	その他	無回答
全体	1,396	54.3%	54.2%	39.3%	31.2%	27.5%	21.8%	17.0%	1.3%	2.2%
ずっと佐賀県に住んでいる(0年)	553	53.5%	55.3%	42.9%	32.2%	25.0%	17.2%	14.1%	1.1%	1.6%
2年未満	94	57.4%	50.0%	43.6%	29.8%	33.0%	23.4%	18.1%	0.0%	0.0%
2～5年未満	202	50.5%	56.4%	37.6%	27.7%	30.7%	22.8%	22.3%	0.0%	4.0%
5～10年未満	152	54.6%	55.3%	34.2%	25.0%	27.6%	33.6%	22.4%	1.3%	1.3%
10年以上	347	57.3%	52.7%	35.4%	33.1%	29.1%	22.2%	17.3%	2.6%	2.3%

県外居住年数別にみると、<ずっと佐賀県に住んでいる(0年)> <2～5年未満> <5～10年未満>では「雇用の創出」が最も高く、<2年未満> <10年以上>では「人材育成等」が最も高い。また、すべての区分において、「雇用の創出」および「人材育成等」がともに 5 割を超えている。

【職業別】

職業	回答件数 (件)	人材育成等	雇用の創出	働きやすい環 境づくり	障害者、休業 者等の就業 支援	伝統工芸品の 販路拡大	出店者等の 支援	クリエイティブ 関係支援	その他	無回答
全 体	1,396	54.3%	54.2%	39.3%	31.2%	27.5%	21.8%	17.0%	1.3%	2.2%
農林漁業	80	52.5%	58.8%	36.3%	28.8%	31.3%	18.8%	13.8%	2.5%	1.3%
商工・サービス業	131	55.7%	50.4%	33.6%	27.5%	38.2%	32.8%	17.6%	1.5%	1.5%
自由業	57	70.2%	38.6%	28.1%	33.3%	24.6%	28.1%	35.1%	1.8%	1.8%
会社の正社員	355	52.4%	55.5%	44.8%	28.7%	22.3%	22.5%	17.5%	0.6%	1.4%
会社の非正規社員	177	54.8%	55.9%	49.2%	32.8%	23.7%	14.7%	19.2%	0.6%	1.1%
官公庁の正規職員	73	64.4%	56.2%	39.7%	21.9%	21.9%	26.0%	24.7%	5.5%	1.4%
官公庁の非正規職員	24	58.3%	62.5%	33.3%	25.0%	25.0%	16.7%	12.5%	4.2%	4.2%
学生	25	36.0%	44.0%	44.0%	40.0%	16.0%	24.0%	36.0%	0.0%	4.0%
専業主婦、主夫	212	50.5%	50.9%	40.6%	39.2%	30.2%	18.4%	9.0%	0.9%	3.3%
その他の無職	208	55.3%	57.2%	28.4%	31.3%	36.1%	20.2%	15.9%	1.4%	2.9%

職業別にみると、＜商工・サービス業＞＜自由業＞＜官公庁の正規職員＞では「人材育成等」が 5 割半ば～約 7 割と最も高くなっている。＜学生＞では「雇用の創出」および「働きやすい環境づくり」がともに 44.0%と同率で最も高く、＜官公庁の非正規職員＞＜農林漁業＞等のそれ以外の区分では、「雇用の創出」がいずれも 5 割を超えて、最も高くなっている。

【現在の満足度（問 9 ⑨）との関連】

現在の満足度	回答件数 (件)	人材育成等	雇用の創出	働きやすい環 境づくり	障害者、休業 者等の就業 支援	伝統工芸品の 販路拡大	出店者等の 支援	クリエイティブ 関係支援	その他	無回答
全 体	1,396	54.3%	54.2%	39.3%	31.2%	27.5%	21.8%	17.0%	1.3%	2.2%
満足派	159	53.5%	49.7%	47.8%	39.0%	24.5%	20.8%	16.4%	1.9%	1.3%
どちらともいえない	641	57.3%	52.3%	40.7%	30.9%	27.9%	20.7%	16.2%	0.6%	2.0%
不満派	578	52.2%	58.5%	35.8%	29.8%	27.9%	23.7%	18.5%	1.9%	1.6%

現在の満足度との関連をみると、＜満足派＞＜不満派＞ともに「人材育成等」が 5 割強を占めているが、＜満足派＞ではこの項目が最も高いのに対し、＜不満派＞では「雇用の創出」が 6 割弱となって最も高く、その割合は＜満足派＞よりも 8.8 ポイント高くなっている。このほか、＜満足派＞では「働きやすい環境づくり」、「障害者や休業者等への就職支援」の割合が＜不満派＞よりも約 9～12 ポイント高い。なお、＜どちらともいえない＞においては、「人材育成等」が 6 割弱と高い割合を占めて最も高い。

属性別に分析すると、他のエリアに比べて比較的満足度の低い＜東・西松浦地区＞では、「雇用の創出」および「人材育成等」がともに 5 割半ばと高い割合を占めている。また、職業についてみると、満足度が著しく低い＜官公庁の非正規職員＞では「雇用の創出」が唯一 6 割を超えている。さらに、不満派が約 5 割を占める＜商工・サービス業＞では「人材育成等」および「雇用の創出」がともに 5 割を超え、他の職業と同様に高い割合を占めるほか、「伝統工芸品の販路拡大」（38.2%）、「出店者等の支援」（32.8%）が他の職業に比べて高い傾向がみられる。

【その他の意見】

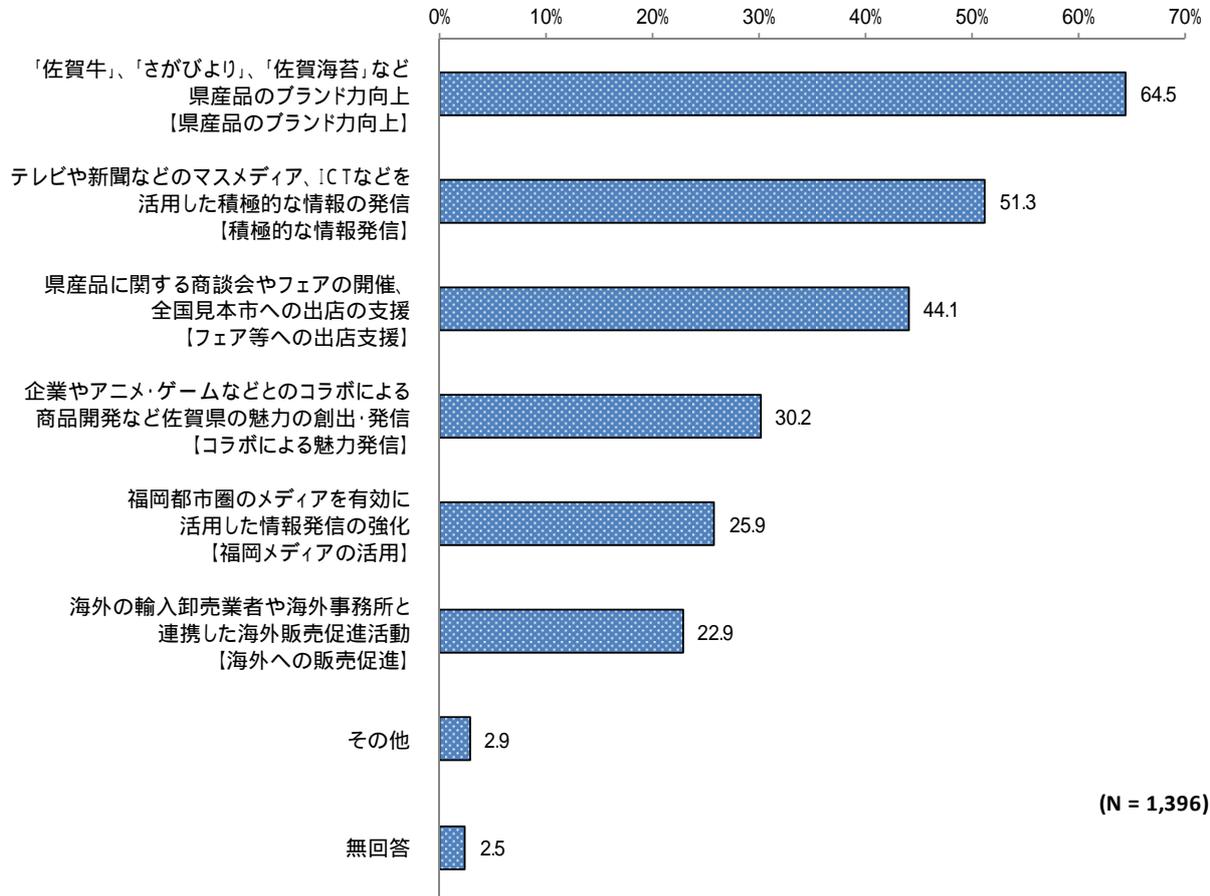
- ・既に実績を挙げている企業に補助金を増やす（男性、30～39歳、佐賀・小城地区）
- ・県内取引の拡大（男性、30～39歳、三養基・神埼地区）
- ・ヒト、モノ、が集まり流れる場づくり（女性、40～49歳、佐賀・小城地区）
- ・その場しのぎにコラボして注目を集めるより、地道に地元発信でコンテンツを作ることに注力することを望みます。当然当たり外れはあるでしょうが、捨て銭するより本当の筋力が地元に着するはず。それが地域づくりだと考えます（男性、50～59歳、佐賀・小城地区）
- ・特産品団地の創生（女性、50～59歳、佐賀・小城地区）
- ・インターネット（スマートフォン）を利用した商業、サービス業の情報発信。A Iも活用して国内外の人も佐賀に集客する（男性、50～59歳、杵島・藤津地区）
- ・子供の時から物づくりの大切さ、すごさを教育の一環とする（女性、60～69歳、佐賀・小城地区）
- ・地道に本物を育てる（女性、60～69歳、三養基・神埼地区）
- ・賃金の見直し（女性、60～69歳、佐賀・小城地区）
- ・商工会議所、商工会の指導力強化（男性、60～69歳、杵島・藤津地区）
- ・道の駅の経営者育成（男性、60～69歳、杵島・藤津地区）
- ・既存工業のてこ入れ（男性、70歳以上、東・西松浦地区）
- ・車がない人でも、買物しやすく（女性、70歳以上、三養基・神埼地区）

【寄せられた自由意見】

<p>・新規ブランド創出や新規事業、ベンチャー支援などをして成果が出るかどうか分からないので、現時点で既にそれなりの業績を挙げている企業に対して、もっと補助金を増やして経営効率を上げられるようにすれば雇用も増えるし、県への納税額も増えると思います。（男性、30～39歳、佐賀・小城地区）</p>
<p>・佐賀駅前の再開発を検討してほしい。佐賀の玄関口に大きな閉店した商業地がそのままになっていることは異常事態だと思います。（男性、40～49歳、佐賀・小城地区）</p>
<p>・一流スポーツ選手になる可能性のある子供、または働き口がなくて県外に子供がある時期になると流出している。良い企業等の誘致が広がっていけば、人口の増加につながり、よりよい佐賀県になるのではないかと。（男性、50～59歳、佐賀・小城地区）</p>
<p>・企業誘致に力を入れて地元の雇用促進。子育てし易い県を目指すため、職場に託児所等を支援してもらって、安心して仕事に従事できる環境作り。（女性、50～59歳、東・西松浦地区）</p>
<p>・健康である限り働きたいと思っているシニア世代の働く場（企業）が少ない。就職支援や働きやすい環境づくり等、雇用の創出をしていただきたいです。（女性、50～59歳、東・西松浦地区）</p>
<p>・グループホーム、病院、保育園などで働く人の働きがいがあるように力を入れてほしい。もっと簡単に、もっと安く入院できるようにしてほしい。（女性、60～69歳、佐賀・小城地区）</p>
<p>・佐賀県の最低賃金が安い。年金は65才に引き上げられているのに仕事延長の職がない。もっと60才以上の職域の確保に努めてほしい。（男性、60～69歳、三養基・神埼地区）</p>
<p>・街中に憩いの場というか遊び心が全く無いと前から思っています。先日、10年ぶりに、昔働いていた中心商店街を見物しに行きましたが、人気が無いのにビックリ。昔はあんなに賑やかだったのに、空洞化なんだろうが、こういう場所とかに遊び心のある憩いの場を造れないのでしょうか。（男性、60～69歳、杵島・藤津地区）</p>
<p>・地方は、少子高齢化の影響をまともに受け人口減少の一途をたどり地域の消滅の危機を目前にしている。地域から若者の流出、残された者は高齢者のみ、20年もすれば空家ばかりとなって地域の活性化は高齢者が負わなければならない。真に地域全体が老々介護の状態になりつつある。地域でイベントを行うにしても60才以下の人員が極めて少なく、また、現役世代は仕事を抱えており地域行事に参加するものが少ない。（男性、70歳以上、杵島・藤津地区）</p>
<p>・高齢者の再雇用（ボランティアでも可）。現職時の仕事なら多少は応援できると思われる。高齢者にはシルバー人材センターがあると云われるかも知れないが、草刈り、障子張りなど誰もができる訳ではない。少子高齢化の時代、昔の職業応援活動は自身のプライドも保てるし、ストレス解消にもなるかも。会社でも官公庁でも同じではないだろうか。高齢者の活用を。（男性、70歳以上、杵島・藤津地区）</p>

19. 佐賀県のイメージアップに必要なだと思うこと

問19 佐賀県が国内外の人に良いイメージで広く知られるためにあなたが必要だと思うことを教えてください。
(〇は3つまで)



全体では、「県産品のブランド力向上」が 64.5%と最も高く、次いで「積極的な情報発信」が 51.3%、「フェア等への出店支援」が 44.1%となっている。

【エリア別】

エリア	回答件数 (件)	県産品のブラン ド力向上	積極的な情報 発信	フェア等への 出店支援	コラボによる 魅力発信	福岡メディアの 活用	海外への販売 促進	その他	無回答
全 体	1,396	64.5%	51.3%	44.1%	30.2%	25.9%	22.9%	2.9%	2.5%
佐賀・小城地区	494	66.4%	51.6%	44.7%	27.3%	20.2%	24.1%	3.0%	2.6%
東・西松浦地区	324	61.7%	49.4%	47.5%	32.1%	29.0%	20.7%	2.2%	3.1%
三養基・神埼地区	297	68.4%	49.5%	42.4%	30.3%	33.0%	24.6%	2.7%	1.0%
杵島・藤津地区	251	61.8%	55.0%	39.8%	33.9%	24.3%	20.7%	3.6%	2.4%

エリア別にみると、すべてのエリアで「県産品のブランド力向上」がいずれも 6 割を超えて最も高く、次いで「積極的な情報発信」が概ね 5 割と 2 番目に高い。

【性別】

性別	回答件数 (件)	県産品のブランド力向上	積極的な情報発信	フェア等への出店支援	コラボによる魅力発信	福岡メディアの活用	海外への販売促進	その他	無回答
全体	1,396	64.5%	51.3%	44.1%	30.2%	25.9%	22.9%	2.9%	2.5%
男性	665	61.7%	50.8%	40.9%	27.7%	30.4%	25.0%	3.5%	2.4%
女性	707	67.8%	52.1%	46.7%	32.5%	21.8%	20.7%	2.4%	2.1%

性別にみると、＜男性＞＜女性＞ともに「県産品のブランド力向上」が 6 割を超えて最も高く、次いで「積極的な情報発信」が 5 割強となっている。

【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	県産品のブランド力向上	積極的な情報発信	フェア等への出店支援	コラボによる魅力発信	福岡メディアの活用	海外への販売促進	その他	無回答
全体	1,396	64.5%	51.3%	44.1%	30.2%	25.9%	22.9%	2.9%	2.5%
18・19歳	17	70.6%	35.3%	23.5%	64.7%	29.4%	17.6%	0.0%	0.0%
20～29歳	45	57.8%	55.6%	31.1%	55.6%	26.7%	24.4%	4.4%	2.2%
30～39歳	116	62.1%	55.2%	43.1%	41.4%	20.7%	16.4%	4.3%	0.9%
40～49歳	230	64.3%	44.8%	40.0%	38.7%	17.0%	27.8%	4.3%	0.4%
50～59歳	321	61.4%	51.4%	42.4%	31.8%	26.8%	24.0%	1.9%	2.2%
60～69歳	399	65.7%	54.1%	43.4%	25.8%	32.8%	20.3%	2.5%	2.5%
70歳以上	243	69.5%	52.3%	53.9%	15.2%	24.3%	23.5%	2.5%	4.9%

年齢別にみると、すべての年齢層で「県産品のブランド力向上」が最も高く、特に＜18・19 歳＞では約 7 割と高い割合を占めている。また、＜18・19 歳＞＜20～29 歳＞では「コラボによる魅力発信」がそれぞれ 6 割半ば、5 割半ばを占めて 2 番目に高く、このほか＜20～29 歳＞では「積極的な情報発信」も 5 割半ばで 2 番目に高い。このほか、＜70 歳以上＞では「フェア等への出店支援」が 2 番目に高く、それ以外の年齢層では「積極的な情報発信」が 2 番目に高くなっている。

【県外居住年数別】

県外居住年数	回答件数 (件)	県産品のブランド力向上	積極的な情報発信	フェア等への出店支援	コラボによる魅力発信	福岡メディアの活用	海外への販売促進	その他	無回答
全体	1,396	64.5%	51.3%	44.1%	30.2%	25.9%	22.9%	2.9%	2.5%
ずっと佐賀県に住んでいる(0年)	553	66.4%	51.0%	43.6%	28.9%	21.2%	21.2%	2.0%	2.7%
2年未満	94	59.6%	56.4%	47.9%	34.0%	31.9%	22.3%	2.1%	1.1%
2～5年未満	202	61.9%	55.0%	44.6%	29.7%	27.2%	26.2%	2.5%	2.0%
5～10年未満	152	61.8%	48.7%	46.1%	36.8%	29.6%	22.4%	3.3%	2.6%
10年以上	347	66.9%	50.1%	42.4%	29.1%	29.1%	23.6%	4.6%	2.3%

県外居住年数別にみると、すべての区分において「県産品のブランド力向上」が約 6 割～6 割半ばと最も高い。また、いずれの区分においても、「積極的な情報発信」が 2 番目に高く、区分による大きな差はみられない。

【現在の満足度（問9⑩）との関連】

現在の満足度	回答件数 (件)	県産品のブランド力向上	積極的な情報発信	フェア等への出店支援	コラボによる魅力発信	福岡メディアの活用	海外への販売促進	その他	無回答
全体	1,396	64.5%	51.3%	44.1%	30.2%	25.9%	22.9%	2.9%	2.5%
満足派	234	70.5%	53.8%	40.2%	33.8%	25.6%	22.2%	0.4%	2.6%
どちらともいえない	577	65.7%	52.9%	48.7%	24.8%	23.2%	20.8%	2.6%	2.3%
不満派	569	61.5%	49.6%	41.1%	34.4%	29.3%	25.8%	4.2%	1.6%

現在の満足度との関連をみると、＜満足派＞＜不満派＞ともに「県産品のブランド力向上」が最も高いが、その割合は＜満足派＞が＜不満派＞に比べて 9.0 ポイント高い。また、＜満足派＞では「積極的な情報発信」の割合も＜不満派＞に比べて 4.2 ポイント高くなっている。一方、＜不満派＞では「福岡メディアの活用」、「海外への販売促進」の割合が＜満足派＞に比べて約 4 ポイント高い。なお、＜どちらともいえない＞においても「県産品のブランド力向上」が 6 割半ばを占めて最も高くなっている。

属性別に分析すると、不満派が唯一過半数となって 6 割近くを占める＜20～29 歳＞では「県産品のブランド力向上」のほか、「積極的な情報発信」、「コラボによる魅力発信」がいずれも 5 割半ばと高い傾向がみられる。満足派は県平均レベルながら、不満派が最も少ない＜70 歳以上＞でも「県産品のブランド力向上」が約 7 割を占めている。また、県外居住年数別では、＜5～10 年未満＞で不満派の割合が唯一過半数を占めているが、必要だと思う取組みについては他の区分と大差なく、「フェア等への出店支援」、「コラボによる魅力発信」、「福岡メディアの活用」の 3 項目が全体に比べてやや高くなっている。

【選択肢『その他』に記載された意見】

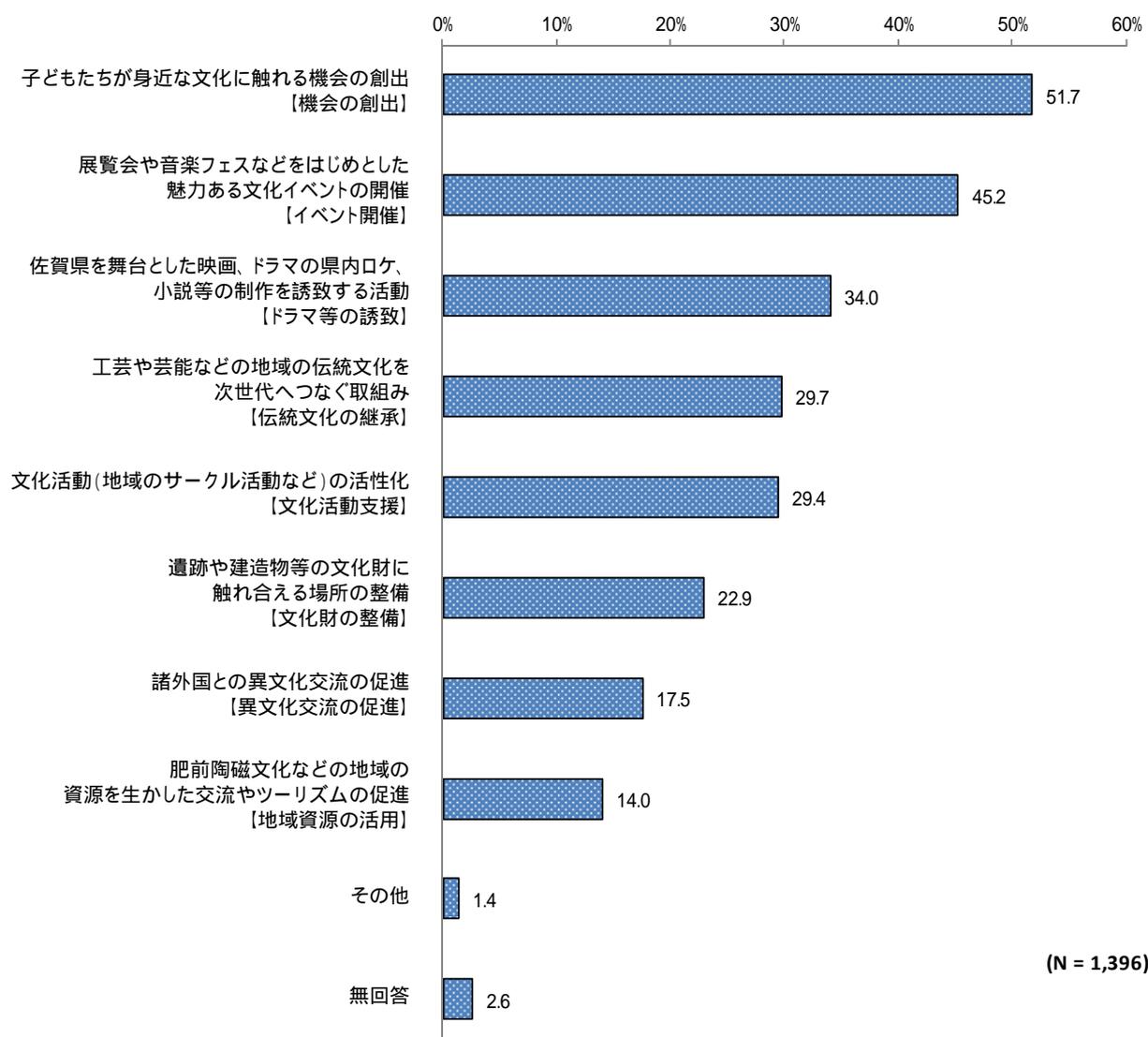
- ・また来たいと思える環境づくり（男性、20～29 歳、杵島・藤津地区）
- ・海外の人がまねしたいと思える文化・習慣（男性、30～39 歳、佐賀・小城地区）
- ・人が集まる商業施設を建てるなど、過疎化をまず改善（女性、30～39 歳、東・西松浦地区）
- ・メディア発信による効果は一時的なものが多い。実態と見合った住みややすい県としての PR を強化した方が、移住が進んで効果が高い（男性、30～39 歳、三養基・神埼地区）
- ・佐賀牛以外の新しいブランド制作（男性、30～39 歳、杵島・藤津地区）
- ・桜マラソンやさが最高フェスなどのイベント開催（女性、30～39 歳、杵島・藤津地区）
- ・交通機関の整備。他県からだアクセスしにくいのでは（女性、40～49 歳、佐賀・小城地区）
- ・本当に良い物を作る、見つける（女性、40～49 歳、佐賀・小城地区）
- ・他の地域のまねではなく独自のものづくり（男性、40～49 歳、東・西松浦地区）
- ・「これでいく」というスタイルをもつこと（女性、40～49 歳、東・西松浦地区）
- ・町をきれいに、おしゃれに（女性、40～49 歳、東・西松浦地区）
- ・サガン鳥栖の J 1 優勝（男性、40～49 歳、三養基・神埼地区、他 1 件）
- ・他県にない、Only One の発掘、発見（男性、40～49 歳、杵島・藤津地区）
- ・県内で暮らしている人が自信を持って誇れること（女性、50～59 歳、佐賀・小城地区）
- ・佐賀を舞台にした映画、ドラマ作り（男性、60～69 歳、佐賀・小城地区、他 2 件）
- ・まず、佐賀県に住んでいる人が贈答品に佐賀県産を送り、良さを伝える（女性、60～69 歳、佐賀・小城地区）
- ・これが佐賀県であるというインパクトのあるモノ、佐賀弁の発信等（男性、60～69 歳、佐賀・小城地区）
- ・美しく整備された道路。観光地が整っていなかったらイメージダウン（女性、60～69 歳、杵島・藤津地区）
- ・全国放送のマスメディアへの発信力（男性、60～69 歳、杵島・藤津地区）
- ・学力、体力とも No. 1 県を目指す（男性、70 歳以上、佐賀・小城地区）
- ・県民自身への PR、「何もなか」意識の改め（男性、70 歳以上、三養基・神埼地区）

【寄せられた自由意見】

- | |
|--|
| <p>・県外に住んだことで、佐賀の魅力に改めて気づきました。それまでは早く佐賀を出たいとばかり思っていたのですが、他の地域に住み、佐賀を誇れるようになり、今では友人にも佐賀県の自慢をしています。より多くの人に佐賀のことをもっと知ってもらえれば、今より多くの人を誘致できると思うので、これからも自慢し続けていこうと思います。（女性、18・19 歳、三養基・神埼地区）</p> |
| <p>・佐賀県に住んで 1 年弱で、福岡からの引越でした。住んでみると悪くない所なのに、他県からのイメージの悪さがとても残念です。これから少しずつ変わっていき、自分が住む場所が、誇りになればいいと願っています。（女性、30～39 歳、三養基・神埼地区）</p> |
| <p>・今、佐賀をアピールしているのは、佐賀県内にある企業や個人が話題になっているものに佐賀県が乗っかっているようにしか見えない。佐賀県が主体となって、そこに佐賀県内の企業や個人が乗ってくるような活動や支援をしてもよいのではないのでしょうか。（男性、30～39 歳、杵島・藤津地区）</p> |
| <p>・関東に住んでいたので、佐賀に来て、つまらないところだなあーと思いました。休みの日も行く所もなく、毎日、楽しくなかったです。もっと遊ぶ所、イベント、交通機関の利便性など、楽しくさせる町づくりをしてほしい。（女性、40～49 歳、佐賀・小城地区）</p> |
| <p>・佐賀県の何か発信する時は光を利用した物が多くワンパターン。国際大会であるバルーンでさえ知名度はいまいち。CM もはなわでワンパターン。ネットで話題になっても佐賀の人口のほとんどが 6 5 歳以上のお年寄りだから、県内でも広まらない。だから、県内から（県外に）発信する人がいないから全国に広まらないのでは？ それよりも、佐賀県の貴重な、希少な動植物を集めた日本の原風景みたいな企画がいいのではと、思います。（男性、40～49 歳、東・西松浦地区）</p> |
| <p>・佐賀が大河ドラマでの題材にならないものか。歴史的ストーリーで紹介できれば、すばらしい P R となる。その様な話が来た際には関連する物、人、すべてをすぐ P R 対応できる様に。（男性、50～59 歳、佐賀・小城地区）</p> |
| <p>・「コラボ県」などとして、外部のコンテンツ頼みなのには疑問を持っています。何をやるにも外部資源なのにはがっかり。（男性、50～59 歳、佐賀・小城地区）</p> |
| <p>・佐賀の魅力は沢山あるのに、バラバラでまとまりが無い様な気がします。まず「佐賀はこれだ！！」と言えるものを発信しそれからあれこれ紹介していく。これから成長していく子供達がどこに行っても大声で出身は“佐賀”と言える様になったらいいと思います。（女性、60～69 歳、三養基・神埼地区）</p> |

20. 文化や芸術に親しむために必要だと思うこと

問20 文化や芸術に親しむためにあなたが必要だと思うことを教えてください。(〇は3つまで)



全体では、「機会の創出」が 51.7%と最も高く、次いで「イベント開催」が 45.2%、「ドラマ等の誘致」が 34.0%となっている。

【エリア別】

エリア	回答件数 (件)	機会の創出	イベント開催	ドラマ等の 誘致	伝統文化の 継承	文化活動 支援	文化財の 整備	異文化交流 の促進	地域資源の 活用	その他	無回答
全体	1,396	51.7%	45.2%	34.0%	29.7%	29.4%	22.9%	17.5%	14.0%	1.4%	2.6%
佐賀・小城地区	494	50.4%	49.0%	31.4%	26.3%	28.7%	24.5%	16.4%	14.6%	2.2%	2.6%
東・西松浦地区	324	53.7%	41.0%	28.4%	36.1%	32.1%	23.8%	17.6%	13.6%	1.2%	2.8%
三養基・神埼地区	297	53.9%	44.4%	39.1%	27.3%	29.0%	21.5%	20.9%	14.5%	0.0%	1.3%
杵島・藤津地区	251	50.2%	44.6%	39.4%	31.1%	27.9%	20.3%	14.7%	13.9%	1.6%	2.8%

エリア別にみると、すべてのエリアで「機会の創出」が 5 割を超えて最も高い。また、すべてのエリアで「イベント開催」が 2 番目に高く、いずれも 4 割を超えている。

【性別】

性別	回答件数 (件)	機会の創出	イベント開催	ドラマ等の 誘致	伝統文化の 継承	文化活動 支援	文化財の 整備	異文化交流 の促進	地域資源の 活用	その他	無回答
全 体	1,396	51.7%	45.2%	34.0%	29.7%	29.4%	22.9%	17.5%	14.0%	1.4%	2.6%
男性	665	50.1%	41.8%	36.1%	26.8%	29.0%	25.3%	20.5%	15.2%	1.2%	2.7%
女性	707	53.3%	48.9%	31.4%	32.7%	29.8%	20.8%	14.7%	13.3%	1.6%	2.0%

性別にみると、＜男性＞＜女性＞ともに「機会の創出」が5割を超えて最も高く、次いで「イベント開催」となっている。

【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	機会の創出	イベント開催	ドラマ等の 誘致	伝統文化の 継承	文化活動 支援	文化財の 整備	異文化交流 の促進	地域資源の 活用	その他	無回答
全 体	1,396	51.7%	45.2%	34.0%	29.7%	29.4%	22.9%	17.5%	14.0%	1.4%	2.6%
18・19歳	17	29.4%	58.8%	41.2%	17.6%	11.8%	35.3%	35.3%	5.9%	0.0%	0.0%
20～29歳	45	35.6%	53.3%	46.7%	28.9%	28.9%	17.8%	15.6%	11.1%	0.0%	4.4%
30～39歳	116	62.9%	49.1%	33.6%	25.0%	20.7%	25.9%	20.7%	12.9%	0.0%	0.9%
40～49歳	230	59.6%	48.7%	33.5%	25.7%	20.9%	20.9%	19.1%	9.1%	3.0%	0.4%
50～59歳	321	48.6%	49.8%	34.9%	30.8%	25.5%	17.1%	19.3%	14.3%	1.6%	2.2%
60～69歳	399	52.1%	41.4%	34.8%	29.3%	34.6%	25.3%	16.3%	16.5%	0.8%	2.3%
70歳以上	243	46.9%	39.5%	27.6%	36.6%	39.5%	26.7%	13.2%	16.5%	1.2%	5.3%

年齢別にみると、＜18・19歳＞＜20～29歳＞＜50～59歳＞では「イベント開催」が最も高く、約5割～6割弱を占めている。そのほかの年齢層では「機会の創出」が最も高く、4割半ば～6割強となっている。

【県外居住年数別】

県外居住年数	回答件数 (件)	機会の創出	イベント開催	ドラマ等の 誘致	伝統文化の 継承	文化活動 支援	文化財の 整備	異文化交流 の促進	地域資源の 活用	その他	無回答
全 体	1,396	51.7%	45.2%	34.0%	29.7%	29.4%	22.9%	17.5%	14.0%	1.4%	2.6%
ずっと佐賀県に住んでいる(0年)	553	50.5%	45.2%	33.6%	28.2%	28.8%	20.3%	16.1%	12.8%	1.1%	2.7%
2年未満	94	58.5%	43.6%	37.2%	28.7%	33.0%	17.0%	18.1%	16.0%	3.2%	1.1%
2～5年未満	202	56.9%	48.0%	32.2%	33.7%	22.3%	22.3%	21.3%	12.9%	1.5%	2.0%
5～10年未満	152	47.4%	44.1%	37.5%	28.9%	28.9%	28.9%	20.4%	13.8%	1.3%	3.9%
10年以上	347	50.1%	45.5%	32.9%	31.4%	32.0%	26.2%	16.7%	17.3%	1.2%	2.0%

県外居住年数別にみると、すべての区分で「機会の創出」が最も高く、4割半ば～6割弱となっている。また、いずれの区分においても「イベント開催」が4割半ばを占めて2番目に高く、区分による大きな差はみられない。

【現在の満足度（問9⑪）との関連】

現在の満足度	回答件数 (件)	機会の創出	イベント開催	ドラマ等の 誘致	伝統文化の 継承	文化活動 支援	文化財の 整備	異文化交流 の促進	地域資源の 活用	その他	無回答
全体	1,396	51.7%	45.2%	34.0%	29.7%	29.4%	22.9%	17.5%	14.0%	1.4%	2.6%
満足派	286	51.0%	49.7%	35.3%	29.7%	33.6%	24.8%	18.2%	15.0%	0.7%	2.4%
どちらともいえない	602	50.2%	42.0%	34.1%	33.4%	30.6%	24.4%	15.3%	13.0%	1.7%	2.0%
不満派	485	54.2%	47.8%	33.8%	25.6%	26.2%	19.8%	20.4%	15.3%	1.4%	1.6%

現在の満足度との関連をみると、<満足派> <不満派>ともに「機会の創出」が最も高いが、その割合は<不満派>が<満足派>に比べて3.2ポイント高い。また、<満足派>では「伝統文化の継承」、「文化活動支援」、「文化財の整備」の割合が<不満派>に比べて約4~7ポイント高くなっている。なお、<どちらともいえない>においても、「機会の創出」が約5割を占めて最も高くなっている。

属性別に分析すると、不満派が約4割と他の年齢層に比べて多い<50~59歳>では「イベント開催」が最も高く、約5割を占めている。また、県外居住年数別にみると、不満派が4割前後を占めて県平均を5ポイント程度上回る<2~5年未満> <5~10年未満> <10年未満>の各区分においても、それら以外の区分と同様に「機会の創出」や「イベント開催」が4割半ば~5割半ばを占め、高くなっている。

【選択肢『その他』に記載された取組み】

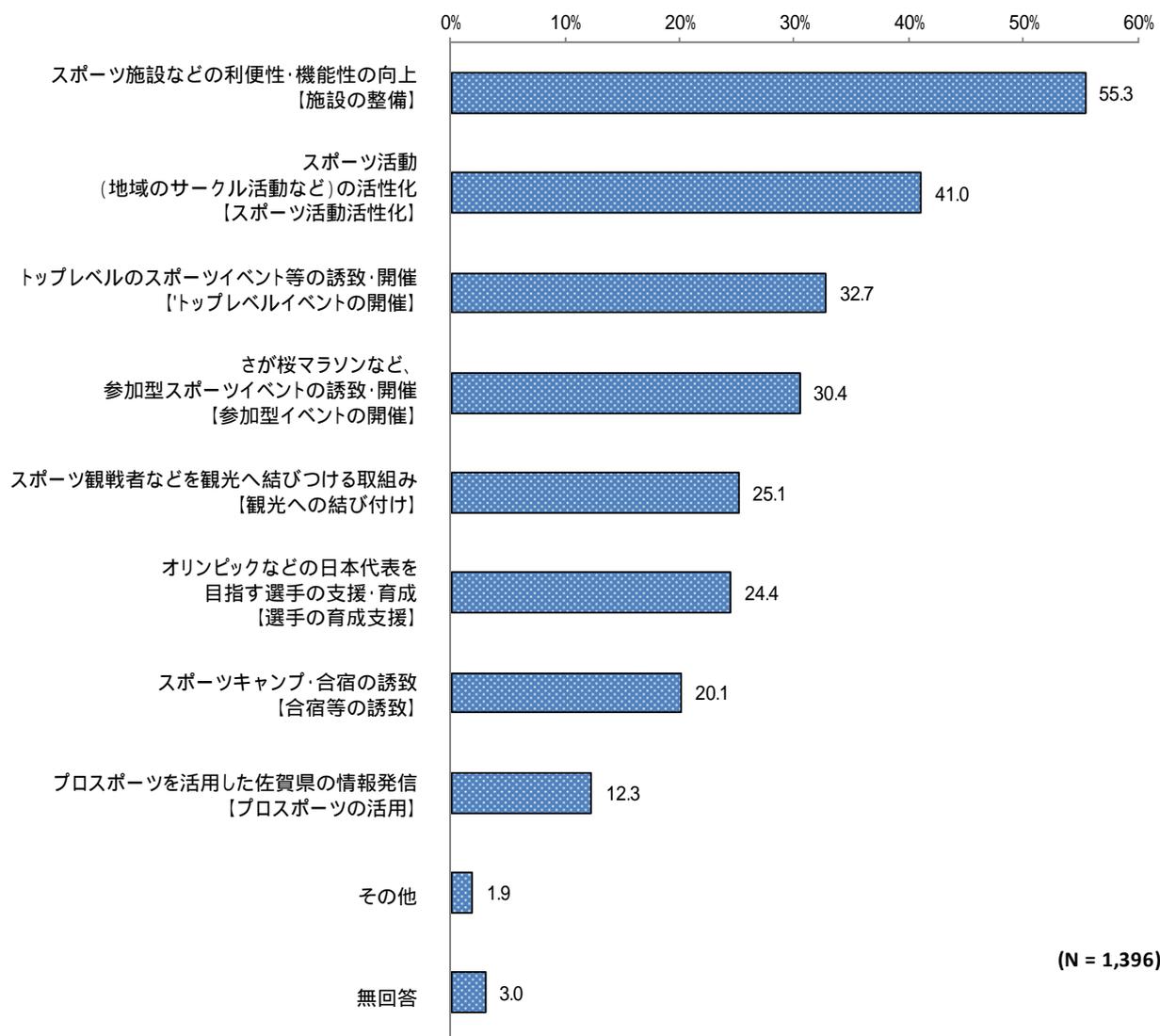
- ・SNS、インスタなどに親善大使になってくれたタレントさんにどんどん流してもらおう（女性、40~49歳、東・西松浦地区）
- ・サガテレビのカチカチPressでは「さがスポ」しか取り上げないので吹奏楽なども取り上げて欲しい（女性、40~49歳、佐賀・小城地区）
- ・気軽に素晴らしいモノを見る事ができる機会とPR（女性、40~49歳、佐賀・小城地区）
- ・東京・大阪・福岡に行かなくても本物の文化・芸術に触れる機会の創出（男性、40~49歳、杵島・藤津地区）
- ・人気のアーティストがライブをしてくれるようなコンサートホールの建設（女性、40~49歳、杵島・藤津地区）
- ・温故知新、良い資産資源（人、物、環境）に気付き活かす（男性、40~49歳、杵島・藤津地区）
- ・県内で催されるイベントや活動を知る機会の増加（女性、50~59歳、佐賀・小城地区）
- ・芸術教育（女性、50~59歳、佐賀・小城地区）
- ・住民が参加できる文化イベントの開催（女性、50~59歳、佐賀・小城地区）
- ・社会人の為の大学講義や講演会等（女性、50~59歳、東・西松浦地区）
- ・温泉でBEATLESの県全域展開（男性、60~69歳、杵島・藤津地区）
- ・チケット代が高い（女性、70歳以上、佐賀・小城地区）

【寄せられた自由意見】

・身近に子どもたちの喜ぶ施設が欲しい。それは小規模な動物園でも水族館でもいい。デパートも充実しておらず、県外に行かなければできないことが多い。（女性、40~49歳、佐賀・小城地区）
・箱物が無駄に増えるのは好ましくありませんが、思い切って全国規模で集客が出来るような施設を作ってはどうか。例えば、世界レベルのスポーツや、数万人キャパのライブやイベントができるようなものです。各業界のコアなファンが佐賀に来ると思います。佐賀空港の増便、路線増、観光の振興も見込めます。もちろん、弊害もあるでしょうが、広い土地を活用でき、あまり都会化する事なく、佐賀の良さを残せるのではないのでしょうか。県民も身近に接する事で、心豊かに刺激のある生活ができるのではないのでしょうか。（女性、40~49歳、三養基・神埼地区）
・文化機関、会館やホール、芸術にふれられる場所が少なくなって来た感じがする。佐賀の良さを他へ発信するには、県民一人一人の意識に寄るところが大だと思う。（女性、70歳以上、佐賀・小城地区）

2.1. スポーツを楽しむために必要だと思うこと

問 2.1 スポーツを楽しむためにあなたが必要だと思うことを教えてください。(〇は3つまで)



全体では、「施設の整備」が 55.3%と最も高く、次いで「スポーツ活動活性化」が 41.0%、「トップレベルイベントの開催」が 32.7%となっている。

【エリア別】

エリア	回答件数 (件)	施設の整備	スポーツ 活動活性化	トップレベル イベントの 開催	参加型イベン トの開催	観光への 結び付け	選手の育成 支援	合宿等の 誘致	プロスポーツ の活用	その他	無回答
全体	1,396	55.3%	41.0%	32.7%	30.4%	25.1%	24.4%	20.1%	12.3%	1.9%	3.0%
佐賀・小城地区	494	55.3%	42.3%	30.8%	36.6%	20.9%	26.5%	18.8%	11.9%	1.6%	3.2%
東・西松浦地区	324	56.8%	39.8%	32.4%	25.3%	26.9%	26.9%	19.8%	11.1%	2.2%	2.8%
三養基・神埼地区	297	53.9%	40.4%	35.4%	28.3%	30.0%	21.5%	21.9%	12.8%	2.4%	2.0%
杵島・藤津地区	251	56.2%	41.0%	33.1%	26.7%	26.7%	20.7%	20.3%	12.7%	1.6%	3.2%

エリア別にみると、すべてのエリアで「施設の整備」が最も高く、5割を超えている。また、いずれのエリアにおいても「スポーツ活動活性化」が4割前後を占めて2番目に高く、エリアによる大きな差はみられない。

【性別】

性別	回答件数 (件)	施設の整備	スポーツ 活動活性化	トップレベル イベントの 開催	参加型イベン トの開催	観光への 結び付け	選手の育成 支援	合宿等の 誘致	プロスポーツ の活用	その他	無回答
全 体	1,396	55.3%	41.0%	32.7%	30.4%	25.1%	24.4%	20.1%	12.3%	1.9%	3.0%
男性	665	52.9%	40.9%	37.9%	28.4%	24.1%	22.7%	22.1%	15.3%	2.0%	3.3%
女性	707	58.1%	41.3%	27.7%	32.1%	26.4%	26.3%	18.0%	9.1%	1.8%	2.3%

性別にみると、＜男性＞＜女性＞ともに「施設の整備」が 5 割を超えて最も高い。次いで「スポーツ活動活性化」が続いており、ともに 4 割を超えている。また、＜男性＞では「トップレベルイベントの開催」が 37.9%と、＜女性＞を約 10 ポイント上回っている。

【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	施設の整備	スポーツ 活動活性化	トップレベル イベントの 開催	参加型イベン トの開催	観光への 結び付け	選手の育成 支援	合宿等の 誘致	プロスポーツ の活用	その他	無回答
全 体	1,396	55.3%	41.0%	32.7%	30.4%	25.1%	24.4%	20.1%	12.3%	1.9%	3.0%
18・19歳	17	47.1%	35.3%	29.4%	35.3%	47.1%	29.4%	47.1%	5.9%	0.0%	0.0%
20～29歳	45	55.6%	44.4%	28.9%	37.8%	22.2%	20.0%	22.2%	15.6%	2.2%	2.2%
30～39歳	116	56.0%	35.3%	40.5%	28.4%	26.7%	33.6%	22.4%	15.5%	2.6%	0.9%
40～49歳	230	58.7%	31.3%	40.9%	27.0%	21.7%	28.7%	20.4%	12.6%	3.0%	0.9%
50～59歳	321	56.1%	37.7%	31.2%	27.4%	26.8%	21.5%	18.7%	12.8%	1.2%	3.1%
60～69歳	399	56.6%	45.6%	31.6%	34.6%	24.6%	20.8%	18.3%	11.5%	1.8%	2.8%
70歳以上	243	51.0%	50.2%	25.1%	30.0%	26.3%	26.7%	20.2%	9.5%	1.2%	5.8%

年齢別にみると、＜18・19 歳＞を除くすべての年齢層で「施設の整備」が最も高く、いずれも 5 割を超えている。また、＜18・19 歳＞では「施設の整備」、「観光への結び付け」および「合宿等の誘致」がいずれも 47.1%であり、同率で最も高い。

【県外居住年数別】

県外居住年数	回答件数 (件)	施設の整備	スポーツ 活動活性化	トップレベル イベントの 開催	参加型イベン トの開催	観光への 結び付け	選手の育成 支援	合宿等の 誘致	プロスポーツ の活用	その他	無回答
全 体	1,396	55.3%	41.0%	32.7%	30.4%	25.1%	24.4%	20.1%	12.3%	1.9%	3.0%
ずっと佐賀県に住んでいる(0年)	553	54.1%	40.3%	30.2%	28.6%	23.7%	24.8%	19.7%	12.8%	2.4%	3.3%
2年未満	94	51.1%	41.5%	31.9%	28.7%	31.9%	27.7%	22.3%	13.8%	1.1%	1.1%
2～5年未満	202	59.9%	38.6%	35.1%	36.6%	25.2%	22.3%	19.8%	10.4%	2.5%	2.5%
5～10年未満	152	61.8%	37.5%	38.2%	32.2%	24.3%	21.1%	20.4%	14.5%	0.7%	3.9%
10年以上	347	53.0%	44.7%	33.4%	28.0%	27.1%	26.2%	19.9%	11.2%	1.4%	2.6%

県外居住年数別にみると、すべての区分で「施設の整備」が最も高く、いずれも 5 割を超えている。また、＜5～10 年未満＞では「トップレベルイベントの開催」が、それ以外の区分では「スポーツ活動活性化」がそれぞれ 2 番目に高くなっている。

【現在の満足度（問9⑫）との関連】

現在の満足度	回答件数 (件)	施設の整備	スポーツ 活動活性化	トップレベル イベントの 開催	参加型イベ ントの開催	観光への 結び付け	選手の育成 支援	合宿等の 誘致	プロスポーツ の活用	その他	無回答
全 体	1,396	55.3%	41.0%	32.7%	30.4%	25.1%	24.4%	20.1%	12.3%	1.9%	3.0%
満足派	382	50.8%	49.2%	30.4%	34.0%	26.7%	22.3%	20.7%	12.0%	2.4%	2.4%
どちらともいえない	568	54.8%	38.7%	31.7%	33.3%	25.4%	25.0%	17.8%	13.4%	0.5%	2.5%
不満派	427	61.8%	37.7%	36.5%	24.1%	24.1%	26.5%	23.2%	11.5%	3.0%	2.6%

現在の満足度との関連をみると、＜満足派＞ ＜不満派＞ともに「施設の整備」が最も高いが、その割合は＜不満派＞が＜満足派＞に比べて 11.0 ポイント高い。また、＜不満派＞では「トップレベルイベントの開催」の割合も＜満足派＞に比べて 6.1 ポイント高くなっている。一方、＜満足派＞では「スポーツ活動活性化」、「参加型イベントの開催」の割合が＜不満派＞に比べて約 10～12 ポイント高くなっている。

属性別に分析すると、満足度が比較的低い、＜東・松浦地区＞ ＜杵島・藤津地区＞ ＜20～29 歳＞のいずれの区分においても「施設の整備」が 5 割半ば程度と高い割合を占めている。また、これに続く「スポーツ活動活性化」も各区分とも共通しており、割合的にも 4 割～4 割半ばとなっている。

【その他の意見】

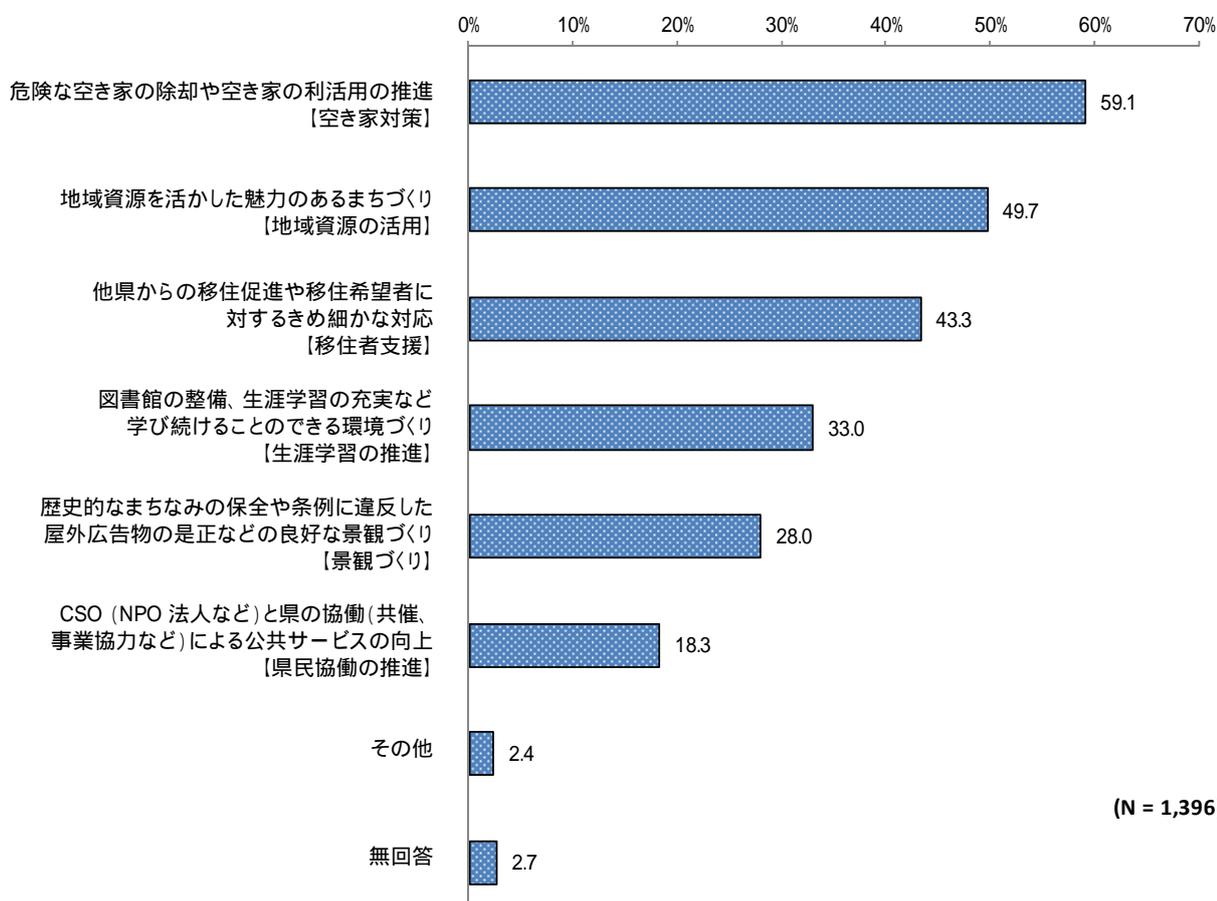
- ・サガン鳥栖への更なる支援（男性、20～29 歳、三養基・神埼地区 他 2 件）
- ・スケートリンクなど、今よりもっと多くのスポーツを楽しむための施設の導入（女性、30～39 歳、杵島・藤津地区）
- ・地域の活動を知る情報発信（女性、40～49 歳、佐賀・小城地区）
- ・スポーツができなくても楽しい運動（ストレッチなど）ができるサークルを作って欲しい（女性、40～49 歳、佐賀・小城地区）
- ・トップレベルの練習が出来る環境（男性、40～49 歳、東・西松浦地区）
- ・「親しむ」程度の活動が活性化すればよい（男性、40～49 歳、杵島・藤津地区）
- ・スポーツ施設等の増設（ちよとした公園など含む）（女性、40～49 歳、東・西松浦地区）
- ・今、流行しているスポーツの活性化（ズンバなど）（女性、50～59 歳、佐賀・小城地区）
- ・スポーツの指導者育成（勝ちにこだわらない）（女性、50～59 歳、三養基・神埼地区）
- ・2023年佐賀国体開催に向けての審判団員の確保と育成（男性、50～59 歳、三養基・神埼地区）
- ・小、中、高と各地域で社会人主導でスポーツ大会を進める（小さい頃から各世代一緒に活動する事で楽しみが増す）（男性、50～59 歳、三養基・神埼地区）
- ・苦手な人でも参加できそうなスポーツがあればよい（女性、60～69 歳、佐賀・小城地区）
- ・高齢者が使用できる環境の整備希望〔例：地域の公民館は好きな時に使用できない〕（男性、60～69 歳、佐賀・小城地区）
- ・時間にゆとり、スポーツを楽しむゆとり（男性、60～69 歳、佐賀・小城地区）
- ・自転車を使用する大会等を開催してほしい（男性、60～69 歳、東・西松浦地区）
- ・職場への自転車通勤補助金制度（男性、60～69 歳、杵島・藤津地区 他 1 件）
- ・個人のスポーツ支援（男性、70 歳以上、東・西松浦地区）
- ・神水川パークゴルフ場の県としての P R 強化（男性、70 歳以上、杵島・藤津地区）

【寄せられた自由意見】

- ・佐賀県の行政に望むことではないかもしれませんが、伊万里市では若者が遊べる場所（大型商業施設やスポーツ施設）が少ないです。だから、佐世保市、佐賀市、福岡県へ行くことになります。だぶん他の市町の若者も似たような意見だと思います。私の友達の多くが利便性の高さや遊ぶ場が多い福岡県や関東方面で就活しています。いろんな施設の騒音や治安悪化を心配されるかもしれませんが、佐賀市のような若者もお年寄りも共生している、それぞれに魅力ある市町づくりを推進して欲しいです。（男性、20～29 歳、東・西松浦地区）
- ・全国及び世界レベルのスポーツの指導者から教えてもらえる機会があればいいと思います。（男性、40～49 歳、東・西松浦地区）
- ・子供達が活用できる広い公園が少ないと思う。学校や運動公園はほとんど試合で使われているので使用できない。色々なスポーツや運動を体験し、利用しやすいような施設があったらいいと思う。（女性、40～49 歳、杵島・藤津地区）
- ・近くにゴルフの出来る河川敷があり、暇な時は一人で時間にとらわれずに初めての方と組になり、プレーを楽しんでいます。スポーツには色々な種類がありますが、老若男女が一緒に出来る、スポーツの場所を充実される事を望みます（競技大会等も含む）。（男性、60～69 歳、三養基・神埼地区）

2.2. 住みやすい地域のために必要だと思うこと

問 2.2 住みやすい地域づくりのためにあなたが必要だと思うことを教えてください。(〇は3つまで)



全体では、「空き家対策」が 59.1%と最も高く、次いで「地域資源の活用」が 49.7%、「移住者支援」が 43.3%となっている。

【エリア別】

エリア	回答件数 (件)	空き家対策	地域資源の活用	移住者支援	生涯学習の推進	景観づくり	県民協働の推進	その他	無回答
全体	1,396	59.1%	49.7%	43.3%	33.0%	28.0%	18.3%	2.4%	2.7%
佐賀・小城地区	494	59.9%	45.3%	42.5%	34.4%	32.2%	16.6%	2.0%	2.8%
東・西松浦地区	324	58.6%	56.5%	42.0%	29.9%	29.3%	19.1%	1.2%	2.8%
三養基・神埼地区	297	62.0%	50.2%	41.1%	35.4%	23.9%	20.9%	3.4%	0.7%
杵島・藤津地区	251	54.2%	49.4%	47.4%	32.7%	23.1%	17.5%	3.6%	3.6%

エリア別にみると、すべてのエリアで「空き家対策」が 5 割を超えて最も高い。また、すべてのエリアで「地域資源の活用」が 2 番目に高いが、特に<東・西松浦地区>では 56.5%と高い割合を占めている。

【性別】

性別	回答件数 (件)	空き家対策	地域資源の 活用	移住者支援	生涯学習の 推進	景観づくり	県民協働の 推進	その他	無回答
全 体	1,396	59.1%	49.7%	43.3%	33.0%	28.0%	18.3%	2.4%	2.7%
男性	665	55.0%	49.3%	48.3%	31.0%	28.9%	19.1%	2.6%	2.4%
女性	707	62.8%	50.2%	38.2%	35.1%	27.4%	17.7%	2.3%	2.4%

性別にみると、＜男性＞＜女性＞ともに「空き家対策」が最も高く、＜男性＞では 55.0%、＜女性＞では 62.8%となっている。また、＜男性＞＜女性＞ともに「地域資源の活用」が 2 番目に高く、ともに 5 割前後となっている。また、＜男性＞では「移住者支援」が 48.3%と＜女性＞を約 10 ポイント上回っている。

【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	空き家対策	地域資源の 活用	移住者支援	生涯学習の 推進	景観づくり	県民協働の 推進	その他	無回答
全 体	1,396	59.1%	49.7%	43.3%	33.0%	28.0%	18.3%	2.4%	2.7%
18・19歳	17	47.1%	52.9%	47.1%	47.1%	29.4%	5.9%	0.0%	0.0%
20～29歳	45	51.1%	46.7%	60.0%	31.1%	15.6%	35.6%	2.2%	2.2%
30～39歳	116	62.9%	43.1%	45.7%	38.8%	26.7%	15.5%	4.3%	0.9%
40～49歳	230	53.9%	50.4%	41.7%	39.1%	22.2%	20.4%	3.5%	0.4%
50～59歳	321	56.4%	51.7%	37.7%	32.4%	26.2%	22.7%	1.9%	3.4%
60～69歳	399	66.2%	46.9%	42.9%	30.1%	33.3%	14.8%	2.3%	2.3%
70歳以上	243	56.4%	54.7%	47.3%	29.6%	30.5%	15.6%	1.2%	4.5%

年齢別にみると、＜30～39 歳＞以上の年齢層では「空き家対策」が 5 割半ば～6 割半ばを占めて、最も高くなっている。また、＜18・19 歳＞では「地域資源の活用」が 5 割強と最も高く、＜20～29 歳＞では「移住者支援」が 6 割と最も高くなっている。

【家族構成別】

家族構成	回答件数 (件)	空き家対策	地域資源の 活用	移住者支援	生涯学習の 推進	景観づくり	県民協働の 推進	その他	無回答
全 体	1,396	59.1%	49.7%	43.3%	33.0%	28.0%	18.3%	2.4%	2.7%
1人世帯	94	59.6%	43.6%	44.7%	28.7%	16.0%	14.9%	5.3%	4.3%
夫婦だけ	308	64.3%	49.7%	45.5%	29.2%	34.7%	19.2%	3.2%	2.3%
2世代	634	58.0%	49.2%	41.0%	36.1%	27.3%	18.8%	1.7%	2.4%
3世代	260	55.8%	54.2%	45.8%	32.3%	27.7%	17.3%	1.5%	1.5%
その他	70	55.7%	50.0%	41.4%	28.6%	25.7%	20.0%	4.3%	5.7%

家族構成別にみると、すべての区分で「空き家対策」が 5 割半ば～6 割半ばと最も高く、＜夫婦だけ＞では 64.3%と特に高くなっている。また、2 番目に高い項目は、＜1 人世帯＞では「移住者支援」となり、それ以外の区分では「地域資源の活用」となっている。

【県外居住年数別】

県外居住年数	回答件数 (件)	空き家対策	地域資源の 活用	移住者支援	生涯学習の 推進	景観づくり	県民協働の 推進	その他	無回答
全 体	1,396	59.1%	49.7%	43.3%	33.0%	28.0%	18.3%	2.4%	2.7%
ずっと佐賀県に住んでいる(0年)	553	59.5%	51.2%	42.5%	29.7%	26.9%	14.8%	1.6%	3.3%
2年未満	94	56.4%	50.0%	51.1%	33.0%	24.5%	20.2%	0.0%	2.1%
2～5年未満	202	56.4%	50.0%	45.0%	34.2%	28.7%	24.3%	3.0%	0.5%
5～10年未満	152	60.5%	47.4%	45.4%	38.2%	27.6%	19.1%	2.0%	4.6%
10年以上	347	58.8%	48.7%	39.8%	36.0%	30.8%	20.2%	4.0%	2.0%

県外居住年数別にみると、すべての区分で「空き家対策」が 5 割半ば～約 6 割と最も高くなっている。また、＜2 年未満＞では「移住者支援」が 51.1%と 2 番目に高く、それ以外の区分では、「地域資源の活用」が概ね 5 割程度であり、2 番目に高くなっている。

【現在の満足度（問9⑬）との関連】

現在の満足度	回答件数 (件)	空き家対策	地域資源の 活用	移住者支援	生涯学習の 推進	景観づくり	県民協働の 推進	その他	無回答
全体	1,396	59.1%	49.7%	43.3%	33.0%	28.0%	18.3%	2.4%	2.7%
満足派	526	56.8%	54.0%	45.1%	34.6%	32.7%	19.4%	1.7%	1.5%
どちらともいえない	582	60.0%	49.0%	42.4%	32.8%	26.3%	16.0%	2.4%	2.4%
不満派	268	63.1%	44.0%	43.7%	30.2%	23.5%	22.0%	3.7%	2.6%

現在の満足度との関連をみると、〈満足派〉〈不満派〉ともに「空き家対策」が最も高いが、その割合は〈不満派〉が〈満足派〉に比べて 6.3 ポイント高い。また、〈満足派〉では「地域資源の活用」、「景観づくり」の割合が〈不満派〉に比べて約 9～10 ポイント高くなっている。なお、〈どちらともいえない〉においても「空き家対策」が 6 割を占めて最も高くなっている。

属性別に分析すると、満足度が比較的低い〈東・西松浦地区〉では他のエリアと同様に「空き家対策」が 6 割弱を占めて最も高い。次いで「地域資源の活用」が 5 割半ばを占めるが、割合的には他のエリアよりも高い傾向がみられる。家族構成別にみると、〈夫婦だけ〉〈3 世代〉の世帯では不満派がともに 2 割を超えており、いずれも「空き家対策」が最も高いが、〈夫婦だけ〉はすべての区分の中でも唯一 6 割を超え、特に高い。また、〈3 世代〉では「地域資源の活用」が 5 割半ばとなって、他の区分に比べて高い傾向がみられる。

【選択肢『その他』に記載された取組み】

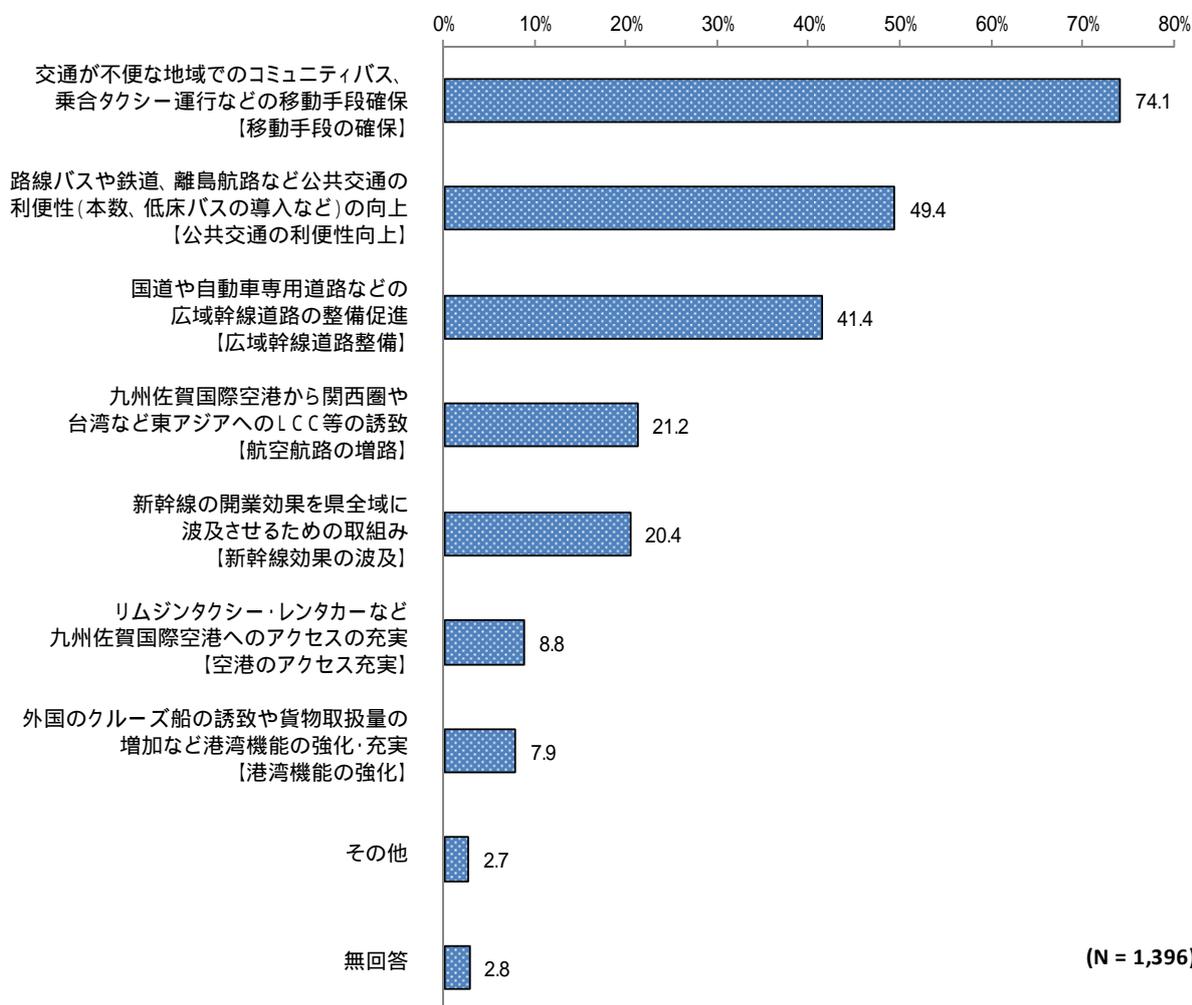
- ・交通インフラの整備（男性、20～29 歳、三養基・神埼地区）
- ・若者が住みやすい町をつくる（女性、30～39 歳、東・西松浦地区）
- ・公園の遊具の充実、子育て支援センターの充実、コンパクトシティ（男性、30～39 歳、三養基・神埼地区）
- ・子ども達の遊べる場所を増やす（女性、30～39 歳、杵島・藤津地区）
- ・子育て世代のくらしやすい環境（女性、40～49 歳、佐賀・小城地区、他 2 件）
- ・食料品含めた生活必需品が購入しやすい環境（例えば佐賀駅前再開発）（男性、40～49 歳、佐賀・小城地区、他 1 件）
- ・佐賀駅周辺の駐車場を無料にする（女性、40～49 歳、佐賀・小城地区）
- ・税率の引き下げ（女性、40～49 歳、三養基・神埼地区）
- ・時給、賃金 UP（女性、40～49 歳、杵島・藤津地区）
- ・地域ごとに特色を打ち出す（男性、40～49 歳、杵島・藤津地区）
- ・ゴミ出し等のルールの指導（女性、50～59 歳、佐賀・小城地区）
- ・交通の利便性向上（男性、50～59 歳、佐賀・小城地区）
- ・子どもが「誇れる佐賀」と思えること（女性、50～59 歳、三養基・神埼地区）・県内外への最短（距離、時間）で行けるよう高度な道路網の構築、佐賀は道路網が未熟で生活しづらい（男性、50～59 歳、杵島・藤津地区）
- ・収入源となる産業や企業を充実させる。安心して、子育ての出来る環境づくり（男性、50～59 歳、杵島・藤津地区）
- ・バリアフリーへの積極的な促進、道路や歩道の積極的な整備促進（女性、60～69 歳、三養基・神埼地区）・人口増につながる取組み（男性、60～69 歳、杵島・藤津地区）
- ・若い人の人数を増やす為に、大学、短大、専門学校等の創設（女性、60～69 歳、杵島・藤津地区）
- ・空家になっている町営住宅の撤去を進める（女性、70 歳以上、佐賀・小城地区）
- ・電線地中化をやめる、電線風景（男性、70 歳以上、東・西松浦地区）
- ・住みやすい地域とはの PR（男性、70 歳以上、三養基・神埼地区）

【寄せられた自由意見】

<p>・道路や上下水道の整備に力を入れてほしい。農業・畜産業従事者の環境に対するモラルの向上を図ってほしい。（男性、50～59 歳、東・西松浦地区）</p>
<p>・田舎になると、ボランティアといいつついろんな活動が強制的で、非常に住みづらい。私も10年弱県外に住みこちらに来た時は、引越しさえ考えた。周りの若者も、特に結婚を機に地元を出ていく人がほとんどである。下からだとなかなか変わらないので、県の方から地方の方へ助言、指示等していただければうれしいと思います。（女性、50～59 歳、三養基・神埼地区）</p>
<p>・環境整備等（植栽の手入れ、草むしり等）は県の施設等が見本になるように努めてほしい。（男性、60～69 歳、佐賀・小城地区）</p>
<p>・私は、里帰りする度に実家のある所と今住んでいる所の開発される速度の違いに驚いています。今住んでいる所は道路、水路、農地などが昔とほとんど変わっていません。自然が残っているという聞こえは良いですが、同じ県内なのに不公平な気がして、納得できません。（女性、60～69 歳、東・西松浦地区）</p>
<p>・佐賀県は、調整地域ばかりで発展はないと思います。都市計画地域を増やし市町村の活性化を図らないと、空き家と耕作放棄地のみとなり、佐賀県は消滅するのではないかと苦慮しています。（男性、70 歳以上、三養基・神埼地区）</p>
<p>・道路の立体交差点を希望します。交通の流れが悪い。（男性、70 歳以上、三養基・神埼地区）</p>

2 3 . 鉄道、バスなどの交通について必要だと思うこと

問 2 3 鉄道、バスなどの交通についてあなたが必要だと思うことを教えてください。(〇は3つまで)



全体では、「移動手段の確保」が 74.1%と突出しており、次いで「公共交通の利便性向上」が 49.4%、「広域幹線道路整備」が 41.4%となっている。

【エリア別】

エリア	回答件数 (件)	移動手段の確保	公共交通の利便性向上	広域幹線道路整備	航空航路の増路	新幹線効果の波及	空港のアクセス充実	港湾機能の強化	その他	無回答
全体	1,396	74.1%	49.4%	41.4%	21.2%	20.4%	8.8%	7.9%	2.7%	2.8%
佐賀・小城地区	494	72.1%	49.8%	39.1%	25.7%	18.2%	8.9%	6.9%	2.8%	3.2%
東・西松浦地区	324	77.5%	53.4%	42.9%	12.0%	15.1%	6.5%	14.8%	2.8%	3.1%
三養基・神埼地区	297	75.8%	49.5%	46.8%	17.8%	21.2%	8.8%	3.4%	2.7%	1.3%
杵島・藤津地区	251	73.7%	46.2%	39.4%	26.3%	28.7%	10.8%	5.6%	2.4%	2.4%

エリア別にみると、すべてのエリアで「移動手段の確保」が最も高く、いずれも 7 割を超えている。また、すべてのエリアで「公共交通の利便性向上」が 4 割半ば～5 割強となって 2 番目に高い。

【性別】

性別	回答件数 (件)	移動手段の 確保	公共交通の利 便性向上	広域幹線道路 整備	航空航路の 増路	新幹線効果の 波及	空港のアクセ ス充実	港湾機能の 強化	その他	無回答
全 体	1,396	74.1%	49.4%	41.4%	21.2%	20.4%	8.8%	7.9%	2.7%	2.8%
男性	665	68.9%	49.2%	45.9%	23.2%	22.6%	8.3%	9.8%	2.3%	2.7%
女性	707	79.5%	50.6%	37.3%	19.1%	18.1%	8.8%	6.1%	3.3%	2.4%

性別にみると、<男性> <女性>ともに「移動手段の確保」が最も高く、特に<女性>では約 8 割と高い割合を占めている。次いで、<男性> <女性>ともに「公共交通の利便性向上」が 5 割前後で続いている。

【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	移動手段の 確保	公共交通の利 便性向上	広域幹線道路 整備	航空航路の 増路	新幹線効果の 波及	空港のアクセ ス充実	港湾機能の 強化	その他	無回答
全 体	1,396	74.1%	49.4%	41.4%	21.2%	20.4%	8.8%	7.9%	2.7%	2.8%
18・19歳	17	47.1%	70.6%	58.8%	17.6%	23.5%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	45	62.2%	68.9%	44.4%	35.6%	15.6%	6.7%	8.9%	0.0%	4.4%
30～39歳	116	71.6%	52.6%	44.8%	31.0%	21.6%	6.9%	8.6%	4.3%	0.9%
40～49歳	230	68.7%	54.8%	37.0%	20.0%	23.0%	9.1%	6.1%	2.6%	0.9%
50～59歳	321	74.5%	49.2%	42.4%	19.6%	17.1%	8.7%	6.5%	3.1%	2.8%
60～69歳	399	77.9%	46.4%	45.4%	19.3%	18.3%	9.0%	8.3%	2.5%	2.5%
70歳以上	243	79.0%	45.3%	34.6%	19.8%	25.1%	8.2%	10.7%	2.5%	4.9%

年齢別にみると、<30～39 歳> 以上の年齢層では「移動手段の確保」が 7 割弱～8 割弱を占めて最も高い。また、<18・19 歳> <20～29 歳> では「公共交通の利便性向上」が 7 割前後と最も高い。

【家族構成別】

家族構成	回答件数 (件)	移動手段の 確保	公共交通の利 便性向上	広域幹線道路 整備	航空航路の 増路	新幹線効果の 波及	空港のアクセ ス充実	港湾機能の 強化	その他	無回答
全 体	1,396	74.1%	49.4%	41.4%	21.2%	20.4%	8.8%	7.9%	2.7%	2.8%
1人世帯	94	70.2%	42.6%	37.2%	22.3%	17.0%	7.4%	9.6%	7.4%	5.3%
夫婦だけ	308	83.8%	46.8%	40.9%	15.9%	23.1%	8.8%	10.1%	2.6%	2.3%
2世代	634	71.3%	52.2%	40.9%	24.1%	21.3%	9.5%	7.1%	2.7%	2.5%
3世代	260	71.5%	51.9%	45.4%	21.2%	17.3%	7.3%	7.7%	1.2%	1.5%
その他	70	80.0%	44.3%	42.9%	12.9%	12.9%	7.1%	4.3%	4.3%	5.7%

家族構成別にみると、すべての区分で「移動手段の確保」が約 7 割～8 割半ばを占めて最も高い。また、すべての区分で「公共交通の利便性向上」が 2 番目に高く、4 割強～5 割強を占めている。

【県外居住年数別】

県外居住年数	回答件数 (件)	移動手段の 確保	公共交通の利 便性向上	広域幹線道路 整備	航空航路の 増路	新幹線効果の 波及	空港のアクセ ス充実	港湾機能の 強化	その他	無回答
全 体	1,396	74.1%	49.4%	41.4%	21.2%	20.4%	8.8%	7.9%	2.7%	2.8%
ずっと佐賀県に住んでいる(0年)	553	74.5%	46.7%	39.6%	18.6%	19.7%	8.7%	8.1%	2.5%	3.4%
2年未満	94	62.8%	52.1%	51.1%	30.9%	16.0%	7.4%	7.4%	2.1%	1.1%
2～5年未満	202	76.7%	52.5%	43.1%	23.3%	18.3%	6.9%	7.4%	4.0%	0.5%
5～10年未満	152	73.7%	47.4%	43.4%	26.3%	22.4%	6.6%	11.8%	2.0%	3.9%
10年以上	347	74.6%	54.5%	41.2%	19.3%	22.8%	10.1%	6.3%	3.2%	2.6%

県外居住年数別にみると、すべての区分で「移動手段の確保」が 6 割強～7 割半ばと最も高い。また、すべての区分で「公共交通の利便性向上」が 2 番目に高く、4 割半ば～5 割半ばを占めている。

【現在の満足度（問9⑭）との関連】

現在の満足度	回答件数 (件)	移動手段の 確保	公共交通の利 便性向上	広域幹線道路 整備	航空航路の 増路	新幹線効果の 波及	空港のアクセ ス充実	港湾機能の 強化	その他	無回答
全体	1,396	74.1%	49.4%	41.4%	21.2%	20.4%	8.8%	7.9%	2.7%	2.8%
満足派	239	72.4%	40.6%	41.8%	21.3%	21.3%	9.2%	7.1%	2.1%	4.2%
どちらともいえない	311	80.4%	39.5%	40.5%	25.1%	19.6%	9.6%	10.0%	0.6%	1.3%
不満派	828	72.9%	56.2%	41.9%	20.2%	20.8%	8.5%	7.5%	3.7%	2.1%

現在の満足度との関連をみると、＜満足派＞＜不満派＞ともに「移動手段の確保」が7割強となって最も高い。また、＜不満派＞では「公共交通の利便性向上」の割合が＜満足派＞に比べて15.6ポイント高くなっている。一方、＜満足派＞の割合が＜不満派＞を大きく上回る項目はない。なお、＜どちらともいえない＞においても、「移動手段の確保」が最も高く、その割合は8割を超えるなど、特に高くなっている。

属性別に分析すると、満足度が特に低い＜杵島・藤津地区＞、逆に満足度が比較的高い＜三養基・神埼地区＞でも、すべてのエリアで「移動手段の確保」が7割を超えている。また、年齢別にみると、不満派が7割弱を占める＜50～59歳＞においても、「移動手段の確保」が74.5%と最も高いが、同じく不満派が7割弱を占める＜20～29歳＞では「公共交通の利便性向上」が68.9%と最も高い結果となっている。

【選択肢『その他』に記載された意見】

- ・佐賀－東京の増便（男性、30～39歳、佐賀・小城地区）
- ・鉄道とバスを組み合わせた時の無駄な時間の多さ（男性、30～39歳、佐賀・小城地区）
- ・JRがダイヤ改正で車両編成も少なくして、朝の鳥栖佐賀間の混雑が激しい。適切な車両にするよう要望してほしい。また、鳥栖佐賀間の快速電車を走らせてほしい（男性、30～39歳、三養基・神埼地区）
- ・運転免許を返納された方へのサービスを拡充すること（女性、30～39歳、杵島・藤津地区）
- ・リムジンタクシーは良い（男性、30～39歳、杵島・藤津地区）
- ・交通マナー（女性、40～49歳、佐賀・小城地区）
- ・有料道路の無料化（女性、佐賀・小城地区）
- ・佐賀駅への送迎の時に自動車で待機する所が少なく不便。タクシー乗場と待機する場所が一緒になっているので利用しづらく、交通機関を利用したくない原因となっている（女性、40～49歳、佐賀・小城地区）バス料金が高いと思う。また、鉄道は本数が少ないので、あまり利用しようと思わない。結局車利用になる。料金見直し（女性、40～49歳、東・西松浦地区）
- ・交通弱者に対する心遣い（男性、40～49歳、東・西松浦地区）
- ・九州佐賀国際空港を人→物を運ぶに方向転換（物流専用にする）（女性、40～49歳、三養基・神埼地区）
- ・九州佐賀国際空港の便数を増やしてください。羽田から佐賀への深夜便を増やしてください。福岡空港は深夜便がないので、羽田空港から佐賀空港への深夜便があれば福岡の人も佐賀空港を利用すると思います。羽田-佐賀を日帰り出来たら利用者は増えると思います（女性、40～49歳、杵島・藤津地区）
- ・佐賀市在住ですので市営バスについて触れますが、インターネットで路線や時刻を検索するのが難しいです。あれ以上やりようもないのかも知れませんが、せっかくの公共交通機関の利便性がスポイルされはしないでしょうか（男性、50～59歳、佐賀・小城地区）
- ・新幹線よりもニアとか次世代の乗り物を考え、線路の既存流用ではなく、新ルートの開拓をお願いしたい。線路沿線に住むものとしては、既存線路に新幹線が走ると考えただけで恐怖です（女性、50～59歳、佐賀・小城地区）
- ・土・日・祝日（休日）に鉄道やバス利用を促す宣伝（女性、50～59歳、東・西松浦地区）
- ・循環バスではなく、タクシーの地域への貢献（男性、50～59歳、三養基・神埼地区）
- ・新幹線開業によりかえって県民が不便になる事への対策強化（女性、50～59歳、三養基・神埼地区）
- ・公共交通が不便なのでせめて国道、道路の交通の整備を早急をお願いいたします（女性、50～59歳、杵島・藤津地区）
- ・老人や子供が利用しやすい、ゆったり座れる設備の整備（女性、60～69歳、佐賀・小城地区）
- ・駅の立体駐車場の整備（女性、60～69歳、東・西松浦地区）
- ・武雄長崎－新幹線は不要、今の特急で十分（女性、60～69歳、三養基・神埼地区）
- ・国道の歩道整備（自転車並走可）（男性、60～69歳、杵島・藤津地区）

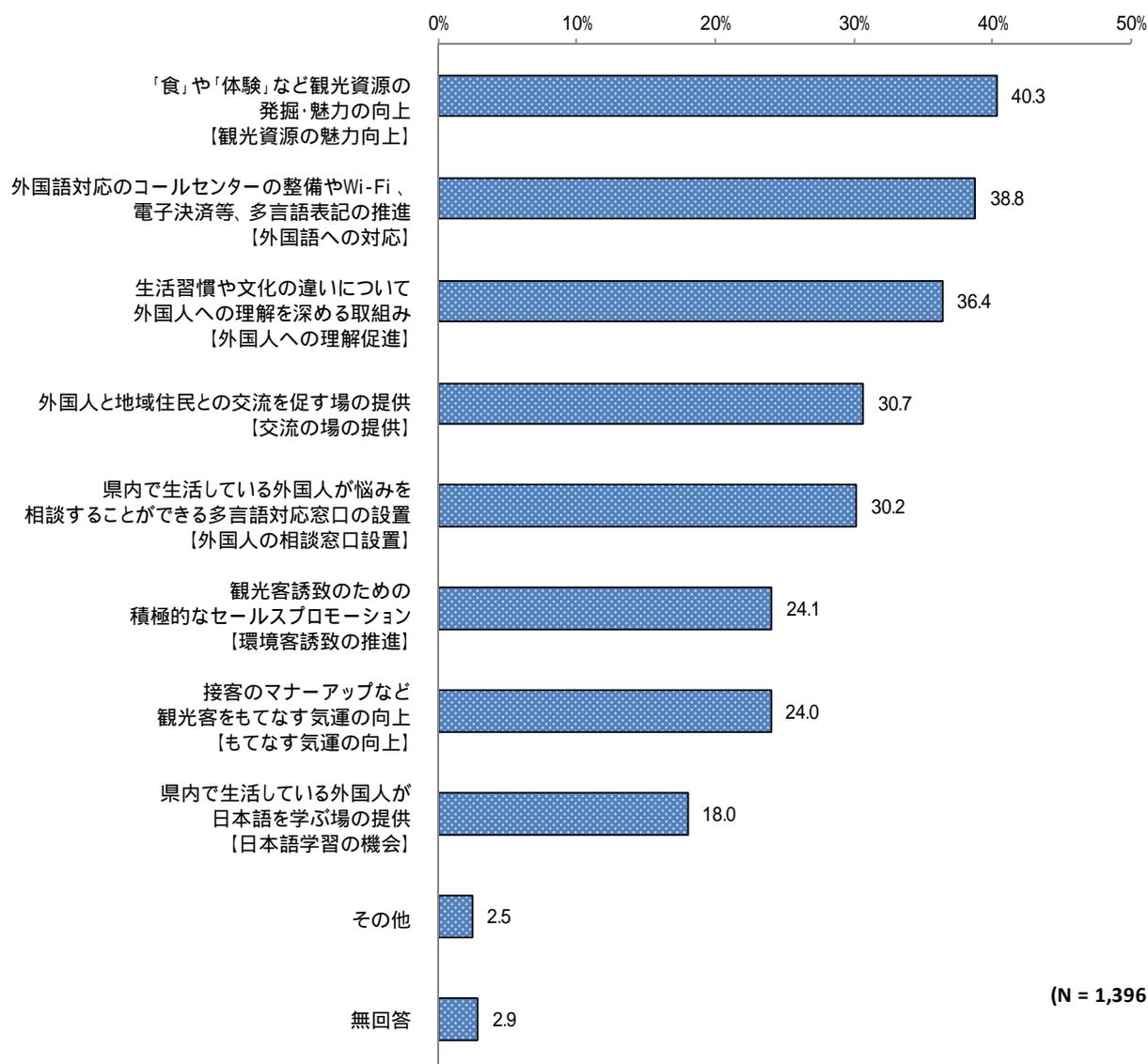
- ・コミュニティバスの台数や便を増やし、高齢者が免許返納した後でも不自由さを感じない町づくり日本一を目指して欲しい（女性、60～69 歳、杵島・藤津地区）
- ・コミュニティバスはほとんどが乗客 0 走行している。申請でタクシー券配布（男性、70 歳以上、佐賀・小城地区）
- ・広域幹線道路だけでなく、地方の生活道路を大事にしてほしい（女性、70 歳以上、東・西松浦地区）
- ・道路の利便性は裏返すと、都市集中となってしまいます。それによって県内より県外、福岡、長崎へ人は流れるようです（女性、70 歳以上、東・西松浦地区）
- ・日常使用の J R など、西唐津駅発が少ないので困る（女性、70 歳以上、東・西松浦地区）
- ・特急列車本数を増やす（男性、70 歳以上、東・西松浦地区）

【寄せられた自由意見】

- | |
|---|
| <p>・交通が不便なところでは近くにお店もなかったりで、買い物に困る高齢者が多い。コミュニティバスも通ってはいても、バスが通る場所までも遠くて利用ができない方も多い。移動販売などがあれば、自分の目で見て、選んで買い物できる方が増えると思う。（女性、30～39 歳、三養基・神埼地区）</p> |
| <p>・交通系電子マネーの普及をよりよくしてほしい。J R など S u G o c a など使えるようにしてほしい。（男性、40～49 歳、佐賀・小城地区）</p> |
| <p>・佐賀駅周辺の開発をしてほしい。西友跡地など、大分駅のようになればとても便利です。郊外型の大型店では、車の運転ができない人は不便です。駅周辺を便利にすれば、バスも駅に向かう路線を増やせばいい事なので、乗り換えなしに行ける方が多くなると思います。（女性、40～49 歳、佐賀・小城地区）</p> |
| <p>・交通の便を良くしてほしい、車がなくてもそれほど不便じゃないようにしてほしい。（女性、40～49 歳、東・西松浦地区）</p> |
| <p>・高齢者に近くなり、車の運転が出来なくなった時の事を考えると不安になります。バス停や駅に行くにも遠い地域もたくさんあります。乗合タクシーなどの移動手段を充実してもらいたいと思っています。（女性、60～69 歳、東・西松浦地区）</p> |

24. 国際化のために必要だと思うこと

問24 外国からの観光客、留学・実習生などの受入れを進めるうえであなたが必要だと思うことを教えてください。
(〇は3つまで)



全体では、「観光資源の魅力向上」が 40.3%と最も高く、次いで「外国語への対応」が 38.8%、「外国人への理解促進」が 36.4%となっている。

【エリア別】

エリア	回答件数 (件)	観光資源の 魅力向上	外国語への 対応	外国人への 理解促進	交流の場の 提供	外国人の相 談窓口設置	観光客誘致 の推進	もてなす気運 の向上	日本語学習 の機会	その他	無回答
全 体	1,396	40.3%	38.8%	36.4%	30.7%	30.2%	24.1%	24.0%	18.0%	2.5%	2.9%
佐賀・小城地区	494	40.5%	37.0%	37.2%	29.1%	33.0%	25.1%	22.1%	17.4%	2.2%	3.0%
東・西松浦地区	324	43.8%	38.3%	33.0%	30.2%	24.7%	26.2%	30.9%	16.7%	1.2%	3.7%
三養基・神埼地区	297	38.7%	41.4%	38.7%	33.0%	34.0%	22.6%	19.9%	19.9%	3.4%	1.0%
杵島・藤津地区	251	37.8%	39.8%	37.1%	33.1%	27.5%	20.7%	23.9%	16.7%	3.6%	3.2%

エリア別にみると、<佐賀・小城地区><東・西松浦地区>では「観光資源の魅力向上」が4割を超えて最も高く、<三養基・神埼地区><杵島・藤津地区>では「外国語への対応」が4割前後で最も高い。

【性別】

性別	回答件数 (件)	観光資源の 魅力向上	外国語への 対応	外国人への 理解促進	交流の場の 提供	外国人の相 談窓口設置	観光客誘致 の推進	もてなす気運 の向上	日本語学習 の機会	その他	無回答
全 体	1,396	40.3%	38.8%	36.4%	30.7%	30.2%	24.1%	24.0%	18.0%	2.5%	2.9%
男性	665	37.7%	42.4%	35.5%	29.6%	27.7%	28.7%	21.5%	18.5%	3.0%	2.4%
女性	707	42.9%	35.6%	37.2%	32.1%	32.7%	19.7%	26.3%	17.1%	2.1%	3.0%

性別にみると、<男性>では「外国語への対応」が42.4%と最も高く、<女性>では「観光資源の魅力向上」が42.9%と最も高い。また、<男性>では「観光客誘致の推進」が28.7%と<女性>を9ポイント上回っている。

【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	観光資源の 魅力向上	外国語への 対応	外国人への 理解促進	交流の場の 提供	外国人の相 談窓口設置	観光客誘致 の推進	もてなす気運 の向上	日本語学習 の機会	その他	無回答
全 体	1,396	40.3%	38.8%	36.4%	30.7%	30.2%	24.1%	24.0%	18.0%	2.5%	2.9%
18・19歳	17	41.2%	47.1%	41.2%	47.1%	5.9%	11.8%	35.3%	17.6%	5.9%	0.0%
20～29歳	45	42.2%	55.6%	28.9%	37.8%	37.8%	17.8%	24.4%	17.8%	2.2%	2.2%
30～39歳	116	50.9%	45.7%	28.4%	31.9%	25.9%	17.2%	21.6%	18.1%	3.4%	0.9%
40～49歳	230	37.8%	44.8%	29.1%	32.6%	32.6%	27.4%	21.7%	15.2%	3.5%	0.9%
50～59歳	321	37.4%	39.9%	36.1%	29.0%	33.6%	24.3%	21.5%	16.8%	3.4%	2.8%
60～69歳	399	38.3%	35.6%	42.4%	33.1%	29.1%	25.8%	21.1%	19.3%	1.8%	3.0%
70歳以上	243	44.4%	30.9%	38.3%	25.1%	28.0%	23.5%	33.3%	18.9%	1.2%	5.3%

年齢別にみると、<18・19歳>では「外国語への対応」および「交流の場の提供」がともに47.1%と同率で最も高い。<20～29歳><40～49歳><50～59歳>では「外国語への対応」が、<30～39歳><70歳以上>では「観光資源の魅力向上」が、<60～69歳>では「外国人への理解促進」がそれぞれ最も高くなっており、年代によって異なる傾向がみられた。

【県外居住年数別】

県外居住年数	回答件数 (件)	観光資源の 魅力向上	外国語への 対応	外国人への 理解促進	交流の場の 提供	外国人の相 談窓口設置	観光客誘致 の推進	もてなす気運 の向上	日本語学習 の機会	その他	無回答
全 体	1,396	40.3%	38.8%	36.4%	30.7%	30.2%	24.1%	24.0%	18.0%	2.5%	2.9%
ずっと佐賀県に住んでいる(0年)	553	44.1%	35.6%	33.6%	32.0%	27.3%	21.7%	27.1%	15.0%	3.6%	3.1%
2年未満	94	35.1%	44.7%	37.2%	35.1%	25.5%	24.5%	27.7%	24.5%	2.1%	1.1%
2～5年未満	202	41.6%	41.6%	34.2%	33.2%	30.7%	27.7%	20.8%	20.3%	0.5%	1.0%
5～10年未満	152	37.5%	42.8%	36.2%	27.6%	30.9%	28.3%	19.1%	22.4%	2.0%	4.6%
10年以上	347	35.7%	39.5%	42.1%	27.7%	35.7%	24.2%	21.6%	16.7%	2.3%	3.2%

県外居住年数別にみると、<ずっと佐賀県に住んでいる(0年)>では「観光資源の魅力向上」が最も高く、<2年未満><5～10年未満>では「外国語への対応」が、<10年以上>では「外国人への理解促進」が最も高くなっている。また、<2～5年未満>では「観光資源の魅力向上」および「外国語への対応」が同率で最も高くなっており、県外居住年数により異なる傾向がみられた。

【現在の満足度（問9⑮）との関連】

現在の満足度	回答件数 (件)	観光資源の 魅力向上	外国語への 対応	外国人への 理解促進	交流の場の 提供	外国人の相 談窓口設置	観光客誘致 の推進	もてなす気運 の向上	日本語学習 の機会	その他	無回答
全 体	1,396	40.3%	38.8%	36.4%	30.7%	30.2%	24.1%	24.0%	18.0%	2.5%	2.9%
満足派	186	42.5%	38.2%	48.4%	29.6%	34.4%	20.4%	22.0%	20.4%	0.5%	1.6%
どちらともいえない	649	39.6%	38.7%	37.4%	31.1%	29.6%	23.9%	26.0%	17.4%	2.5%	2.2%
不満派	541	40.7%	40.1%	31.4%	31.2%	29.6%	25.9%	22.6%	17.9%	3.3%	2.8%

現在の満足度との関連をみると、＜満足派＞では「外国人への理解促進」の割合が 5 割近くを占めて最も高く、その割合は＜不満派＞に比べて 17.0 ポイント高くなっている。一方、＜不満派＞では「観光資源の魅力向上」が最も高い。また、＜不満派＞では「観光客誘致の推進」の割合が＜満足派＞に比べて 5.5 ポイント高くなっている。なお、＜どちらともいえない＞においては、「観光資源の魅力向上」が約 4 割と最も高くなっている。

属性別に分析すると、満足度が低い＜東・西松浦地区＞では「観光資源の魅力向上」が 4 割半ばと最も高く、他のエリアに比べても高い。また、年齢別にみると、満足度が特に低い＜20～29 歳＞では「外国語への対応」が 5 割半ばを占めて最も高く、他の年齢層に比べても高い傾向がみられる。

【選択肢『その他』に記載された取組み】

- ・地域の人との交流会（男性、18・19 歳、三養基・神埼地区）
- ・外国からの観光客が増えると治安が悪くならないか気になる（女性、30～39 歳、佐賀・小城地区）
- ・地域住民の対応力の低さの改善（男性、30～39 歳、佐賀・小城地区）
- ・割り込みや自転車での横並び等、最近マナーの悪い外国の方が多いため、パンフ等で注意してほしい（女性、30～39 歳、三養基・神埼地区）
- ・外国人の悩みを理解する事も大事だが、そこに住む住民の生活を外国人に理解してもらう事も大事（女性、30～39 歳、杵島・藤津地区）
- ・外国人に頼らず、佐賀県の生徒がもっと勉強し地元企業へ就職するようにしてほしい（女性、40～49 歳、佐賀・小城地区）
- ・受け入れる側も文化の違いを理解しなければいけない（男性、40～49 歳、三養基・神埼地区）
- ・自転車のルールを教してほしい。マナーが悪い（女性、40～49 歳、三養基・神埼地区）
- ・英語力（女性、40～49 歳、三養基・神埼地区）
- ・外国人にも日本、佐賀を理解してもらう取組み（男性、40～49 歳、杵島・藤津地区）
- ・交通の便の良さ。特に佐賀空港（女性、40～49 歳、杵島・藤津地区）
- ・留学生、外国人就労者の優れた人材の確保、吟味（男性、50～59 歳、佐賀・小城地区）
- ・外国人が観光 + 医療検査を受けられる医療機関を充実させる（男性、50～59 歳、佐賀・小城地区）
- ・いざ交流の場に出かけても気後れしてなかなか話しかけづらかったり。サガテレビや CATV 局で留学生や佐賀に住む人をディープで紹介する番組とかないのでしょうか。理解が深まりやすいような気がします（男性、50～59 歳、佐賀・小城地区）
- ・民泊できる家を確保する（女性、50～59 歳、佐賀・小城地区）
- ・地域のマナーを正確に伝え教える人が必要（女性、50～59 歳、三養基・神埼地区）
- ・外国人留学生の働き口を奨励する事で県内若者の雇用がなくなっている。受け入れは、もうこれ以上いらない。本県若者人材の流出を止め、せつかく育てた若者を県内の力にしてほしい（男性、50～59 歳、三養基・神埼地区）
- ・外国人就労者の公的紹介所等の整備（男性、50～59 歳、杵島・藤津地区）
- ・受け入れる側の語学力向上の意識を高めること（女性、50～59 歳、杵島・藤津地区）
- ・近頃、佐賀県にも大量の外国人（アジア系）が流入しているがその空気が何か不審な空気があるように思われるため、自分達はあまり気をゆるせないところがあるとも思うので、身元の確かな外国人を来日させるようにしてほしい（男性、60～69 歳、佐賀・小城地区）
- ・外国語が話せなくても、話しかける勇氣（男性、70 歳以上、東・西松浦地区）
- ・生活習慣や文化の違いについて県内の理解を深める取組み（男性、60～69 歳、杵島・藤津地区）
- ・公共マナー、ごみ処理など、外国人にも日本に住む以上、わかまえるところはきちんとしてほしい（女性、70 歳以上、東・西松浦地区）

【寄せられた自由意見】

- | |
|---|
| <p>・佐賀は他の県と比べると忘れられやすく、田舎のイメージが強いので、もっと若い人の育成に取組んだり、他の県がしないような面白いアイデアを生み出すべきだと思う。また、買い物などにしても商業施設が少なすぎるし、すごく不便。もっと佐賀の魅力を生かして、佐賀に住んでくれる人を増やすべきだと思う。また、韓国以外のアメリカなどの国などから留学生を受け入れたりして、もっと佐賀を日本国内だけでなく世界中に知ってもらえるような取組みや企業を生み出していくべき。(女性、18・19歳、三養基・神埼地区)</p> |
| <p>・佐賀県東部に住んでいますが、県政の取組みに対して実感が湧きません。外国人労働者が多いので、支援も必要だとは思いますが、まずは地域住民を優先に考えて頂きたいです。子ども医療費を中学卒業まで延ばしてほしい。(女性、30～39歳、三養基・神埼地区)</p> |
| <p>・佐賀は田舎でなく、自然が豊かな県だと私は思ってます。だから、「タイ」や「インドネシア」等の途上国の方々には親近感が湧くそうです。この豊かな自然と、元来の景観を利用した観光と工芸が、発展できるようにして欲しいと思います。(女性、50～59歳、杵島・藤津地区)</p> |

自由意見

意見のカテゴリー ※問 1～5までは該当なし	件数
問 6 地域づくりの取組みを進める場合に必要だと思うこと	13 件
問 7 「さがデザイン」への取組み	16 件
問 8 県政運営に必要だと思うこと	15 件
問 10 地震や台風などへの災害対策について	9 件
問 11 治安や安全について	19 件
問 12 子育て環境について	51 件
問 13 教育環境について	36 件
問 14 高齢者や障害者福祉について	75 件
問 15 医療体制について	18 件
問 16 環境対策について	6 件
問 17 農林水産業の振興について	10 件
問 18 商工業・サービス業の振興について	41 件
問 19 佐賀県のイメージについて	48 件
問 20 文化・芸術について	8 件
問 21 スポーツ環境について	17 件
問 22 住みやすい地域づくりについて	21 件
問 23 公共交通機関、交通インフラについて	45 件
問 24 国際化について	4 件
原発について	14 件
新幹線整備について	15 件
自衛隊の空港使用要請について	14 件
職員・行政への評価	48 件
アンケートについて	29 件
駅前跡地整備・活用	6 件
野焼き・ゴミ焼きについて	6 件
その他	82 件

【その他の自由意見について】（一部抜粋）

- ・介護や医療に関する情報、また、税に関する情報などを分かりやすく説明してくれるような場を設けてほしい。（女性、20～29 歳、佐賀・小城地区）
- ・色々なイベントなどより、住みやすい地域に特化した方が移住者が増えるのではないかと。福岡県が隣にあるのにその都市を目指すというのではなく、それを利用するような環境を作れば佐賀らしいと言えるのではないかと。住居に特化するなど。（男性、20～29 歳、三養基・神埼地区）
- ・月 1 回くらいでもいいので、土・日・祝日で何かしなきゃいけない時に官公庁の窓口を開けて欲しい。平日 9 時～6 時まで仕事だと、有休をとってしか行くことができない。有休が取りにくいので土・日・祝日で動けるようにして欲しい。（女性、30～39 歳、三養基・神埼地区）

<p>・年寄りの意見ばかり重視され、若者の意見は軽視される傾向にあります。若者が気持ち良く住める様に県としても取り組んで頂きたい。 (男性、40～49 歳、佐賀・小城地区)</p>
<p>・市町村合併は何ひとつ良いことがあったと感じない。中心部は良くなるが、周辺部は過疎化が進んでいる。子供が減って老人が増えるだけ。民営化が進んでおらず何にしても遅れている、佐賀は時代の流れに取り残されているように感じる。(女性、40～49 歳、東・西松浦地区)</p>
<p>・税率が他県に比べ高すぎる。最高税率にもかかわらず、サービスなどが悪い、どこに使っているのだろう。(女性、40～49 歳、三養基・神埼地区)</p>
<p>・施策や事業を民間に委託した後、行政がタッチされないことが多すぎます。県の職員は、自分の関係している現場を本当に知っておりますか。担当になったら必ず全てをまわらすべきでないでしょうか、現状を維持するだけでなく課題をみつけて対応していくべきではないのか。現場を一度も見ることなく、現場のことを知らない職員にはあきれてしまいます。(女性、50～59 歳、三養基・神埼地区)</p>
<p>・県職員の接客態度は最低ですよ！！何様ですか？全く親切ではないし、自分の責任において解決しないでたらい回しにして、普通の会社員はお客様に対して「私におまかせ下さい」という態度で窓口になって色々調べてくれますが、県庁は全く仕事出来ない人間ばかりですね！！これを機に県職員の意識の向上に努めて頂きたいと思います。改善をお願いします！！(女性、50～59 歳、三養基・神埼地区)</p>
<p>・イベントや事業などで県と市町がもっと連携してほしい。(男性、50～59 歳、杵島・藤津地区)</p>
<p>・維持費が大変なので箱物等の建築はしないでほしい。自然、緑を生かした地域活性化、P Rをしてほしい。(男性、50～59 歳、杵島・藤津地区)</p>
<p>・アンケートを書いていて気づきましたが、佐賀の事を知らないや。(男性、60～69 歳、佐賀・小城地区)</p>
<p>・国が国民に嘘をついたり、重大で大切な公文書を捨てたり、勝手に改ざんしたりしている。県や市の単位では、しっかりと県民市民の為に行政を行ってほしい。全ての人に平等な県政を行ってほしい。口ききとか知り合いとかの「えこひいき」はないようにしてほしい。(男性・60～69 歳、佐賀・小城地区)</p>
<p>・オスプレイ反対です。危険です。このすばらしい佐賀のイメージがこわれてしまいます。のどかな佐賀平野が一番好きです。(女性 60～69 歳、佐賀・小城地区)</p>
<p>・県職員はプライドが高く、自分達が色々としてやっていると思っている方が多い。自分が反対の立場になって考える事が、大変必要である。 (女性・60～69 歳、東・西松浦地区)</p>
<p>・アンケートの結果が有効に活用されるように期待しています。県東部では、県政のメリットを感じる事ありません。他の人は、佐賀県人で良かったと何をもって感じるのかなと考えています。(男性、60～69 歳、三養基・神埼地区)</p>
<p>・オスプレイ早期配備。他県だけでなく、佐賀県も、その一端を担うようにしてほしい。沖縄の負担が大きすぎる。(男性、60～69 歳、杵島・藤津地区)</p>
<p>・県財政の健全化に十分取り組んでほしい。(男性、70 歳以上、東・西松浦地区)</p>